

令和2年2月

教育委員会定例会議案等

新潟市教育委員会

令和 2 年 2 月教育委員会定例会議事日程

新潟市教育委員会

日 時	令和 2 年 2 月 4 日（火） 午後 3 時 3 0 分 開会
場 所	新潟市役所白山浦庁舎 5 号棟 3 階 教育会議室 1
日 程	<p>第 1 会議録署名委員の指名</p> <p>第 2 付議事件</p> <p>議案第 2 8 号 令和 2 年 2 月議会定例会の議案について</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 令和元年度一般会計補正予算について…………… 1</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 令和 2 年度一般会計予算について…………… 5</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 新潟市教育職員の勤務時間、休暇等に関する条例の 一部改正について…………… 3 1</p> <p>議案第 2 9 号 陳情の処理経過及び結果について……………当日配布</p> <p>議案第 3 0 号 市立学校園の校園長の人事について……………当日配布</p> <p>第 3 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新通つばさ小学校校歌・校章について……………資料なし ・高等学校新学習指導要領について…………… 1 ・令和元年度 新潟市生活・学習意識調査について…………… 5 <p>第 4 次回日程</p> <p style="padding-left: 40px;">3 月定例会 令和 2 年 3 月 1 2 日（木）午後 2 時 3 0 分</p> <p>第 5 閉会</p> <p>第 6 協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市教育ビジョン第 4 期実施計画の策定について…………… 1

付議事件

議案第28号

令和2年2月議会定例会の議案について

令和2年2月議会定例会の議案について市長より意見を求められたため、その意見について議決を求める。

令和2年2月4日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

(1) 令和元年度新潟市一般会計補正予算について

【施設課】

○国の本年度予算追加内示に伴うもの

事業概要

国の本年度予算の追加内示に合わせ、次年度以降に予定している事業の財源を早期に確保するため増額補正を行う。また、年度内完了が困難なため、全額繰越明許費の設定を行う。

事業名	事業費（千円）	対象校
大規模改造	2,362,200 国 559,400 債 1,802,800	7校：木崎小，江南小，桜が丘小，内野小 東石山中，亀田中 東特別支援
トイレ改修	579,400 国 183,800 債 395,600	12校：岡方第一小，岡方第二小，浜浦小， 小須戸小，中之口東小，漆山小 山の下中，曾野木中，亀田西中， 新津第五中，坂井輪中，赤塚中
計	2,941,600	19校

○国の補正予算編成に伴うもの

事業概要

国の補正予算編成に合わせ、新規事業及び次年度以降に予定している事業の財源を早期に確保するために増額補正を行う。また、年度内完了が困難なため、全額繰越明許費の設定を行う。

事業名	事業費（千円）	対象校
校内通信ネットワーク整備	1,191,000 国 595,500 債 595,500	167校：すべての市立学校
老朽校舎整備	136,100 国 42,500 債 53,800 一 39,800	5校：上山小 屋外避難階段改修事業 曾野木小 建具改修事業 五十嵐小 建具改修事業 坂井輪小 グラウンド改修事業 上山中 空調設備更新事業
計	1,327,100	172校

○当初予算分の繰越明許費設定

事業概要

継続工事において、今年度出来高払いのなかったものについて、繰越明許費の設定を行う。

事業名	事業費（千円）	対象校
計画的な建替	542,972 国 132,406 債 409,900 一 666	2校：渦東小 移転改築・渦東中 一部改築事業 東特別支援 整備事業

【学務課】

○事業費の減少に伴う減額補正

事業名	減額の額（千円）	減額理由
教育ネットワーク構築事業	△100,000 一 △100,000	入札の結果、請負差額が生じたため

○国の補正予算編成に伴うもの

事業概要

国の補正予算編成に合わせ、新規事業及び次年度以降に予定している事業の財源を早期に確保するために増額補正を行う。また、年度内完了が困難なため、全額繰越明許費の設定を行う。

事業名	事業費（千円）	対象校
校内通信ネットワーク整備	1,191,000 国 595,500 債 595,500	167校：すべての市立学校 （閉校の笹山小、移転する湯東東小を除く）
老朽校舎整備	136,100 国 42,500 債 53,800 一 39,800	5校：上山小 屋外避難階段改修事業 曾野木小 建具改修事業 五十嵐小 建具改修事業 坂井輪小 グラウンド改修事業 上山中 空調設備更新事業
計	1,327,100	172校

○当初予算分の繰越明許費設定

事業概要

継続工事において、今年度出来高払いのなかったものについて、繰越明許費の設定を行う。

事業名	事業費（千円）	対象校
計画的な建替	542,972 国 132,406 債 409,900 一 666	2校：湯東小 移転改築・湯東中 一部改築 事業 東特別支援 整備事業

【学務課】

○事業費の減少に伴う減額補正

事業名	減額の額（千円）	減額理由
教育ネットワーク構築事業	△100,000 一 △100,000	入札の結果、請負差額が生じたため

「GIGAスクール構想の実現」について

令和元年12月5日に閣議決定された「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」において、「全学年の児童生徒一人一人がそれぞれ端末を持ち、十分に活用できる環境の実現を目指す」とともに、「事業を実施する地方公共団体に対し、国として継続的に財源を確保し、必要な支援を講ずる」ことが示された。

また、1人1台端末の整備及び高速大容量の通信ネットワーク整備等を包含した「GIGAスクール構想」の実現に向け、総額約2,318億円が計上された。

*GIGAスクール構想・・・Global and Innovation Gateway for ALL

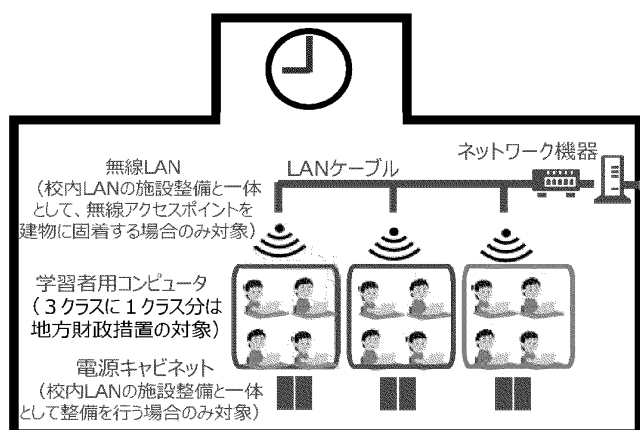
1 事業概要

(1) 校内通信ネットワークの整備事業（補助割合：1/2）

- ・全ての小・中学校、特別支援学校、高等学校等における校内LANの整備
- ・小・中学校、特別支援学校等に電源キャビネットを整備

(2) 児童生徒1人1台端末の整備事業 （補助割合：定額4.5万円）

- ・小・中学校、特別支援学校等の児童生徒が使用するPC端末を整備する



2 国庫補助金支給要件

- ・「1人1台環境」におけるICT活用計画の策定
- ・教員スキル向上などのフォローアップ計画
- ・国が提示する標準仕様書に基づく広域・大規模調達計画
- ・高速大容量回線の接続が可能な校内LAN整備計画
- ・現行の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018～2022年度)」に基づく、地方財政措置を活用した「端末3クラスに1クラス分の配備」計画

3 整備スケジュール

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
設備整備	無線LAN 電源キャビネット				
端末整備		小5、小6、中1 約21,000台	中2、中3 約13,300台	小3、小4 約13,800台	小1、小2 約13,300台
計画策定	ICT活用計画 フォローアップ計画				

* 機器台数は児童生徒用、指導者用、予備機

新潟市教育ネットワーク基盤の構築及び 統合型校務支援システム構築事業予算に係る減額補正について

1. 事業の概要

教育委員会と各学校間をネットワークで結ぶ教育ネットワーク基盤の構築及び、成績管理や出欠管理などの校務を効率化する統合型校務支援システムを導入する。

2. 令和元年度の実施

- ・通信回線敷設業務
- ・ネットワーク基盤構築業務・統合型校務支援システム開発業務
- ・セキュリティポリシー策定業務

3. 事業費

○令和元年度当初予算額

17,430千円

○令和元年度補正予算額（増額）

186,000千円 ※令和元年9月議会定例会議案

○令和元年度補正予算額（減額）

△100,000千円 ※令和2年2月議会定例会議案



今回補正

●減額補正の理由：事業に係る委託料について、入札の結果、請負差額が生じたため。

4. 今後のスケジュール

令和2年10月～ グループウェア運用開始

令和3年 4月～ 校務支援システム運用開始

(2) 令和2年度新潟市一般会計予算について

当初予算(案) 事業説明書

教育委員会

令和2年度当初予算(案) 総括表

金額は、今後、若干の変更が見込まれます。 教育委員会

1 歳 入

(単位 千円)

課 名	令 和 2 年 度 当 初 予 算 額 (A)	令 和 元 年 度 当 初 予 算 額 (B)	前 年 度 比 (A) / (B) %
教 育 総 務 課	96		皆増
学 務 課	267,985	308,864	86.8%
施 設 課	1,771,274	4,076,074	43.5%
保 健 給 食 課	86,863	31,407	276.6%
地 域 教 育 推 進 課	70,635	77,377	91.3%
学 校 人 事 課	9,233,508	9,303,609	99.2%
教 育 職 員 課	849	862	98.5%
総合教育センター			
学 校 支 援 課	54,046	51,149	105.7%
生 涯 学 習 セ ン タ ー	27,823	28,061	99.2%
中 央 公 民 館	35,006	35,236	99.3%
中 央 図 書 館	18,199	18,394	98.9%
計	11,566,284	13,931,033	83.0%

2 歳 出

(単位 千円)

課 名	令 和 2 年 度 当 初 予 算 額 (A)	令 和 元 年 度 当 初 予 算 額 (B)	前 年 度 比 (A) / (B) %
教 育 総 務 課	2,152,294	2,017,249	106.7%
学 務 課	3,681,141	4,450,887	82.7%
施 設 課	2,795,452	5,315,784	52.6%
保 健 給 食 課	2,538,304	2,464,749	103.0%
地 域 教 育 推 進 課	291,983	289,264	100.9%
学 校 人 事 課	42,834,541	43,027,396	99.6%
教 育 職 員 課	214,208	224,626	95.4%
総合教育センター	20,848	20,848	100.0%
学 校 支 援 課	1,134,855	973,549	116.6%
生 涯 学 習 セ ン タ ー	1,751,836	1,747,603	100.2%
中 央 公 民 館	327,771	327,230	100.2%
中 央 図 書 館	620,802	666,156	93.2%
計	58,364,035	61,525,341	94.9%

にいがた未来ビジョン

都市像 I 市民と地域が学び高め合う，安心協働都市
政策③ 「学・社・民の融合による教育を推進するまち」

令和2年度当初予算について

重点事業

・ **地域と学校パートナーシップ事業** 135,500千円 (R元年度比 △216千円)

【現状・課題】

学習指導要領改訂を受け，これまでの小・中学校の取り組みに加え，高等学校でも社会に開かれた教育課程の実現に向けた地域との連携・協働の取り組みが必要です。

【取組概要】

- (拡充) 市立高校に地域教育コーディネーターを配置し事業実施
- (効果) ・社会的自立の力や主体性を育むキャリア教育の推進
- ・地元への関心・愛着形成→進路選択における地元志向強化
→人口流出の歯止め

集中改革プランについて

・ **就学援助事業** 査定中

本市認定基準では対象者を幅広く認定していますが，一人当たりの支給額は県内でも最低レベルと低い状況にあるため，持続的でより良い制度となるよう抜本的な見直しが必要となっています。

認定基準を見直すとともに実態調査や意見聴取会議の内容を踏まえ制度の充実を図ります。

・ **公民館の管理運営方法等の見直し**

地域別実行計画にあわせて，社会教育の機能を確保しつつ，公共施設の多機能化・集約化の点から，公民館の管理運営方法を検討。

分館については，地域の実情を踏まえ，地域合意を得たところから廃止・地域移管等を検討。

・ **図書館・図書室の運営方法の見直し**

新たな窓口業務委託の導入図書館を検討。
利用の少ない図書館，図書室の運営等の検討や代替サービスによる機能補完を検討。

新潟市教育ビジョン 基本目標

- 学力・体力に自信をもち，世界とともに生きる心豊かな子ども
- 生涯を通じて学び育つ，創造力と人間力あふれる新潟市民
- 自立した学びと開かれた学びを支援する学習環境

主な事業

・ **コミュニティスクール推進事業** 1,800千円 (R元年度比 皆増)

【現状・課題】

これからの急速に変化する社会において子どもの豊かな育ちを確保するには地域と学校がより一体となる必要があります。

【取組概要】

保護者，地域，学校が一体となって子どもの成長を支える組織である「学校運営協議会」を設置し，「これからの社会をたくましく生き抜く力の育成」を目指した学校づくりを進めます。

・ **生徒指導上の諸課題への取り組み**

【現状・課題】

いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題に対して，専門的な知識や経験を有するスクールソーシャルワーカー (SSW) やスクールカウンセラー (SC) を活用することが不可欠となっています。

【取組概要】

- ・スクールソーシャルワーカー活用事業 16,261千円 (R元年度比 16千円)
- ・スクールカウンセラー配置事業 39,944千円 (R元年度比 1,238千円)

・ **多忙化解消の取り組み**

【現状・課題】

社会の変化とともに学校への期待や要望，役割が増加かつ多様化するなか，教職員の長時間労働の是正に取り組んできました。今後も，子どもたちへ質の高い教育を提供するため，さらに教職員の負担を軽減する必要があります。

【取組概要】

- ・学校事務支援員 17校→25校 23,578千円 (R元年度比 8,012千円)
- ・部活動指導員 8校→14校 11,536千円 (R元年度比 4,944千円)
- ・スクールロイヤー 1,317千円 (R元年度比 △183千円)
- ・教育ネットワーク構築事業 93,516千円 (R元年度比 △109,914千円※補正含む)
教育ネットワーク基盤の構築および統合型校務支援システムの導入

国経済対策の対応について

「端末はリースを予定」 事業費ベース (単位：億円)

GIGAスクール構想	R1~2	R3	R4	R5	合計
校内通信ネットワークの整備	11.9				11.9
児童生徒1人1台端末の整備	0.3	1.7	2.5	3.4	7.9

令和2年度 就学援助制度の見直しについて

1 現状と課題

(H30年度決算)

内 容	新潟市
① 1人当たりの平均支給額が低い⇒政令市14位、県内市18位	91,364円
② 認定基準額(ボーダーライン)が高い⇒政令市3位、県内市1位	582万円

※認定基準額は、4人世帯(30代夫婦、10歳と8歳の子、借家)の収入モデルの場合。



「真に援助が必要な人に、必要な金額を支援する制度」に、今後2か年かけて見直しを行う。

- ① 「1人当たりの平均支給額が低い」という項目について早急に解消を図る。
- ② 「認定基準額が高い」という項目については、R3年度に対応する。

2 見直し内容(拡充額0.6億円)

区分	拡充項目	拡充額	拡充理由
単価の増額	市独自制度奨励費 (小学校 @1200円→@4000円)	0.2億円	・学用品費や通学用品費に上乗せする市単事業。 ・ <u>実態調査では保護者の負担感が大きい費目</u>
	新入学学用品費	0.2億円	・ <u>国単価に合わせ段階的に増額</u> 。県内市の状況に合わせ、まずはR1年度単価へ増額。
費目の追加	生徒会費 (中学校 @5550円)	0.2億円	・諸校費として徴収され義務的性質が強い。また <u>県内では多くの自治体が採用する費目</u> である。

3 見直しの結果

区 分	新潟市	県内市(20市)	政令市(20市)
平均支給額	101,200円	18位→8位	14位→4位

※県内市平均98,111円/人

4 R3年度の予定

- (1) 認定基準の引き下げ
- (2) 支給水準のさらなる拡充

令和2年度当初予算事業説明書

No. 1

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
教育総務課	教育ビジョンの適正な推進	1,389		R2年度から5年間を計画期間とする教育ビジョン第4期実施計画に盛り込まれた施策の着実な実行を図るため、適切な施策評価を実施して、教育ビジョンの進行管理を行う。 ○外部委員会運営 「新潟市教育ビジョン推進委員会」 ・市民有識者等10人以内 ・年3回程度開催
		(一般)	1,389	
		【R1】		
		(一般)	1,420	
			1,420	
	【新規】 コミュニティ・スクール推進事業	1,800		市立小中学校、中等教育学校、特別支援学校に「学校運営協議会」を設置し、保護者や地域住民等が一定の責任と権限の下、学校運営に参画する。学校、保護者、地域が共通の目標をもち、互いの責任と役割を明らかにし、よりよい教育の実現に向けて連携・協働することにより、「地域とともにある学校」づくりを進める。 (導入スケジュール) R2年度モデル実施校12校 R3年度モデル実施校24校 R4年度全設置予定
		(特定)	96	
		(一般)	1,704	
		【R1】	—	
学務課 保健給食課	就学援助事業	査定中		経済的に就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費、給食費等小中学校での就学に必要な経費の一部を助成する。
		【R1】	1,042,763	
		(特定)	5,769	
		(一般)	1,036,994	

令和2年度当初予算事業説明書

No. 2

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
学務課 保健給食課	避難者就学援助事業		14,797	東日本大震災により本市に避難し小中学校に通う, 経済的に就学困難な児童生徒の保護者に対し, 就学に必要な経費の一部を助成する。 また, 市立幼稚園に通う避難園児の保護者に対し, 授業料の減免及び給食費の助成を行う。
		(特定)		
		県	14,546	
		(一般)	251	

【R1】	17,338			
	(特定)			
	県	16,951		
	(一般)	387		
学務課	特別支援教育就学奨励費		67,098	小中学校の特別支援学級及び特別支援学校に就学する児童生徒の保護者に対し, 学用品費, 給食費, 通級費等就学に必要な経費の一部を助成する。
		(特定)		
		国	23,423	
		(一般)	43,675	

【R1】	61,237			
	(特定)			
	国	20,677		
	(一般)	40,560		

令和2年度当初予算事業説明書

No. 3

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
学務課	奨学金貸付事業		123,585	○高等学校から大学院までを対象とした奨学金制度 ・無利子貸付 ・対象校種：高等学校等，専門学校，短期大学，大学，大学院（海外の大学，大学院含む） ・返還にあたって，返還特別免除制度あり（高等学校等除く）
		(特定)		
		他	95,252	○社会人を対象とした奨学金制度 ・無利子貸付 ・対象校種：専門学校，短期大学，大学，大学院 ・対象者：満23歳以上で満50歳までに修学期間が終了する者
		(一般)	28,333	
		【R1】	137,791	
		(特定)		
		他	91,326	
		(一般)	46,465	
	入学準備金貸付事業		5,036	経済的理由により高等学校等への入学時の費用の負担が困難な者を支援するため，必要な学資（入学準備金）を貸付ける。 ・無利子貸付 ・対象者：高等学校等，高等専門学校，専修学校高等課程に進学を希望する生徒の保護者で，新潟市に住所を有し，市が定める所得基準以下の者
		(特定)		
		他	4,950	
		(一般)	86	
		【R1】	6,236	
		(特定)		
		他	5,760	
		(一般)	476	

令和2年度当初予算事業説明書

No. 4

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費	事業の概要
		財源内訳	
学務課 学校支援課	学校ICT環境整備	827,916	市立学校園における児童生徒及び教職員等へコンピュータを整備する。 ○教育用コンピュータ整備事業 586,056 ・デスクトップ型コンピュータ, タブレット型コンピュータの整備 ・整備台数8,655台 (R2.3.31現在) [内訳]パソコン 6,210台 タブレット 2,455台 ○校内LAN用コンピュータ整備事業 52,774 ・主に図書館システムで利用する特別教室用デスクトップ型コンピュータ, 普通教室用タブレット型コンピュータの整備 ・整備台数1,376台 (R2.3.31現在) [内訳]パソコン 557台 タブレット 819台 ○教職員用コンピュータ整備事業 189,086 ・教職員が校務で使用するコンピュータの整備 ・整備台数4,341台 (R2.3.31現在)
		(一般)	
		827,916	
		【R1】	
		873,740	
		(一般)	
		873,740	

令和2年度当初予算事業説明書

No. 5

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
学務課 学校支援課	教育ネットワーク構築事業		93,516	教育委員会と各学校を結ぶネットワークを構築し、情報セキュリティの向上と情報共有の推進を図る。併せて、校務処理を効率化・省力化することで、教職員の多忙化解消を図ることが可能な統合型校務支援システムを導入する。
		(一般)	93,516	
		【R1】	203,430	
		(一般)	203,430	
学務課 施設課	【新規】 GIGAスクール		32,722	高速大容量の通信ネットワークと児童生徒1人1台のPC端末の一体的な整備を目指す「GIGAスクール構想の実現」に向け、「校内通信ネットワークの整備事業」として、小・中・特支・高等学校等の校内LANを整備するほか、小・中・特支学校等に電源キャビネットを整備するとともに、「児童生徒1人1台端末の整備事業」として、小・中・特支学校等の児童生徒が使用する端末を整備する。
		(一般)	32,722	
		【R1】	1,191,000	
		※R2年2月補正 施設課 ネットワーク 整備分 (特定)	国 595,500 債 595,500	

令和2年度当初予算事業説明書

No. 6

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要		
		財源内訳				
施設課	学校改築事業	1,445,000		○潟東小学校移転改築・潟東中学校一部改築事業 潟東小学校の統合に伴い、潟東中学校敷地に小学校を移転改築する。 [全体事業] ・校舎 鉄筋コンクリート造 4階建 5,053 m ² ・屋内体育館 鉄骨鉄筋コンクリート造 1階建 718 m ² ・グラウンド, 外構整備 <table border="1" data-bbox="911 920 1270 958"> <tr> <td>総事業費</td> <td>2,540,161</td> </tr> </table>	総事業費	2,540,161
		総事業費	2,540,161			
(特定)						
国	380,853					
債	937,100					
(一般)						
	127,047					
	【R1】					
	747,500					
(特定)						
国	149,190					
債	571,100					
(一般)						
	27,210					
		114,000				
(特定)						
国	37,300					
債	74,900					
(一般)						
	1,800					
	【R1】					
	—					
			○上山中学校整備事業 生徒の増加に伴い、不足している教室を増築する。 [全体事業] (増築) ・校舎, 渡り廊下 軽量鉄骨造 1階建て 435 m ² (既存解体) ・渡り廊下 木造, 鉄骨造 80 m ²			

令和2年度当初予算事業説明書

No. 7

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
施設課	学校改築事業(続き)	161,000		○東特別支援学校整備事業 児童,生徒の増加に伴い,不足している教室を増築する。 [全体事業] ・校舎 鉄筋コンクリート造2階建 1,151㎡
		(特定)		
		国 70,497 債 83,900 (一般)		
		6,603		

		【R1】		総事業費 402,800
		241,800		
		(特定)		
		国 35,868 債 196,100 (一般)		
		9,832		
	大規模改造事業	120,100		○大規模改造事業 (実施設計) ・小学校 7校 ・中学校 3校 ・特別支援学校 1校
		(特定)		
		債 120,100		

		【R1】		
		1,356,900		
		(特定)		
		国 250,167 債 1,099,100 (一般)		
		7,633		
	学校施設エコスクール化推進事業	14,600		○トイレ改修 (実施設計) ・小学校 5校 ・中学校 2校
		(特定)		
		債 14,600		

		【R1】		
		13,400		
		(特定)		
		13,400		

令和2年度当初予算事業説明書

No. 8

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
保健給食課	学校医の配置・各種健康診断事業	175,552	(一般)	市立学校・幼稚園の児童生徒・幼児の健康を保持するため、学校医を配置し各種健康診断を行う。
		175,552	【R1】	
		175,076	(一般)	○学校医の配置 [内科校医・専門校医(耳鼻科・眼科)・歯科校医] 小学校106校・中学校56校・中等教育学校1校・高等学校2校・特別支援学校2校・幼稚園10園に1人配置 [精神科校医] 特別支援学校に1人配置
		175,076	(一般)	○各種健康診断 学校保健安全法に基づく定期及び就学時の健康診断 [定期健康診断] 1 内科健診 2 眼科健診 3 耳鼻科健診 4 歯科健診 5 尿検査 6 結核検診 7 腎臓病検診 8 心臓検診 9 糖尿病検診 10 運動器検診 (幼児は、6から9を除く) [就学時健康診断] 内科、歯科、聴力、視力等
	児童生徒の生活習慣病予防対策事業	8,151	(一般)	児童生徒自身が体の状態を客観的に知り、より健全な生活習慣を身につけるため、啓発活動を行うとともに、小4と中1の希望者に対して健診(血液検査、血圧・脈拍測定、身長・体重・腹囲測定)を実施する。
		8,151	【R1】	
		7,041	(一般)	
		7,041	(一般)	

令和2年度当初予算事業説明書

No. 9

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
保健給食課	食物アレルギー対策事業	77	(一般)	アレルギー疾患に対する健康管理及び緊急時の対応について研修会を開催する。
		77		
		【R1】	(一般)	
		77		
		77		
		77		
食育推進事業	食育推進事業	384	(一般)	スクールランチ実施校に栄養士資格を有する指導者を派遣し、食の指導を行う。 また、食育の研究推進校を指定し、学校における食育を推進する。 (推進校 豊栄南小、光晴中、黒埼南小、黒埼中)
		384		
		【R1】	(一般)	
		383		
		383		
		383		
学校給食管理費(調理委託)	学校給食管理費(調理委託)	297,905	(一般)	市立小学校の調理業務を民間委託することにより、効率的な運営を図り、安心安全な学校給食の提供を行う。
		297,905		
		【R1】	(一般)	
		244,443		
		244,443		
		244,443		

令和2年度当初予算事業説明書

No. 10

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
地域教育推進課	【拡充】 地域と学校パートナーシップ事業		135,550	「学・社・民の融合」による教育を進めるため、学校に地域教育コーディネーターを配置して、学校教育活動の充実を図るとともに、社会教育施設（公民館・図書館など）や地域活動を結ぶネットワークづくり、協働事業を推進する。
		(特定)		
		国	45,183	
		(一般)		
			90,367	

	【R1】	135,766	実施校 167校 ・小学校 106校 ・中学校 56校 ・中等教育学校 1校 ・特別支援学校 2校 ・高等学校 2校	
	(特定)			
	国	45,255		
	(一般)			
		90,511		

ふれあいスクール事業			30,291	子どもの健全育成と地域の教育力向上を図るため、小学校の余裕教室や体育館を活用し、地域の協力を得て、平日の放課後や土曜日の午前中などに子どもたちに安心安全な居場所を提供するとともに、異年齢交流や地域の大人との交流を図る。
		(特定)		
		国	9,411	
		(一般)		
			20,880	

【R1】	30,423	実施校 67校		
(特定)		ふれあいスクールとひまわりクラブの連携強化のための取り組みを、モデル校で実施する。		
国	9,432			
(一般)				
	20,991			

学校開放事業				30,176
		(特定)		
		他	12,238	
		(一般)		
			17,938	

【R1】	30,147	実施校 164校 ・小学校 106校 ・中学校 56校 ・特別支援学校 1校 ・高等学校 1校		
(特定)				
他	12,667			
(一般)				
	17,480			

令和2年度当初予算事業説明書

No. 1 1

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要		
		財源内訳				
地域教育推進課	街頭育成活動		1,963	青少年の健全育成と非行の未然防止を図るため、青少年育成員による繁華街などの巡回や青少年への声かけ活動を実施する。 ・青少年育成員 34人		
		(一般)	1,963			
		【R1】	2,016			
	(一般)	2,016				
	若者支援事業	(一般)			5,647	若者支援センターにおいて、相談業務や若者の自立、社会参加を支援する事業を行うほか、若者支援センターの居場所にユースアドバイザーを常駐させ、若者の見守りを行う。 ○相談業務 ○若者支援事業 ○居場所の運営 ○若者支援協議会の運営 ・ユースアドバイザー 26人
					5,647	
【R1】		5,668				
(一般)		5,668				
「成人の日」のつどい開催	(特定)		6,541	20歳の新成人を対象に式典を開催する。 R2年度成人式 ・R3年1月10日(日) ・朱鷺メッセ 展示ホール ・H12年4月2日～H13年4月1日生まれの方 約7,300人 ※成年年齢引き下げ後のR4年度以降も、20歳を対象に式典を開催		
		他	150			
	(一般)	6,391				
	【R1】	6,615				
	(特定)	100				
	(一般)	6,515				

令和2年度当初予算事業説明書

No. 1 2

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
地域教育推進課	芸術創造村・国際青少年センター管理運営費		68,134	文化芸術活動の支援、青少年の体験活動及び国際交流活動の支援を行うとともに、文化芸術活動を行う者、青少年及び市民相互の交流を推進するため、芸術創造村・国際青少年センターを指定管理者制度により運営する。
		(特定)		
		他	3,443	
		(一般)		
			64,691	
		【R1】	67,693	指定管理者 環境をサポートする株式会社きらめき (指定管理期間：H30年度～R2年度)
(特定)				
他	9,332			
(一般)				
			58,361	

令和2年度当初予算事業説明書

No. 1 3

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
学校人事課	多忙化解消対策推進事業		67	H23年度に多忙化解消のための行動計画を、H29年度には第2次多忙化解消行動計画を策定し、学校現場においてその行動計画を推進してきた。 R2年においては、第2次多忙化解消行動計画の実行とR3年度からの「第3次多忙化解消行動計画」の策定を行う。
		(一般)	67	
		【R1】	128	
		(一般)	128	
	【拡充】 学校事務支援員配置事業	(特定)	25,936	教員の多忙化解消、働き方改革を進めるため、国のスクール・サポート・スタッフ配置事業を活用して小学校学級担任の負担を軽減し、教員の本来の業務に専念できるようにするため人的環境整備を図る。 配置数を17校から25校に増やす。
		国	8,440	
		(一般)	17,496	
		【R1】	15,566	
		(特定)	5,049	
		(一般)	10,517	
スクールロイヤー配置事業	(一般)	1,317	法律の専門家である弁護士に、法的側面から学校における問題解決に関わってもらうことで、効率的な解決を図り、学校運営の適正化、校務の効率化や教職員の負担軽減を図る。 昨年度までは国の受託事業である「学校現場における業務改善加速事業」の中でスクールロイヤーを配置してきたが、国の事業が終了したため、新潟市の事業として継続していく。	
		1,317		
	【R1】	1,500		
	(特定)	1,500		

令和2年度当初予算事業説明書

No. 1 4

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
学校人事課	教職員採用等事業		3,040	市立学校の教員採用選考検査及び管理職選考検査を実施する。
		(一般)	3,040	
		【R1】	3,608	
		(一般)	3,608	
教育職員課	学校等教職員の健康管理	(特定)	39,929	教職員の健康管理のため、ストレスチェックや定期健康診断、各種がん検診を実施するとともに、健康相談などを通して、心と体の健康づくりに努める。 ・ストレスチェック ・定期健康診断 ・がん検診 ・人間ドック助成
		他	839	
		(一般)	39,090	
		【R1】	45,770	
		(特定)	862	
		(一般)	44,908	
総合教育センター 学校支援課	マイスター養成塾等 教育関係職員研修	(一般)	8,055	学校現場のニーズに沿った研修、並びに教職員のキャリアに応じた研修を実施し、「組織マネジメント力」、「授業力・実践力」、および「人間力」の向上を図り、「市民感覚に富んだ教職員」の育成を目指します。 ・キャリアステージ研修（マイスター養成塾等） ・専門研修
		【R1】	8,589	
		(一般)	8,589	
		(一般)	8,589	

令和2年度当初予算事業説明書

No. 15

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
学校支援課	アフタースクール学習支援事業	6,117		市立中学校において放課後の時間等を活用した学習支援の場を設け,その取組みを支援する。
		(特定) 国 (一般)	2,039	
		4,078		
		-----	【R1】	
		6,182		
		(特定) 国 (一般)	2,060	
		4,122		
	学力向上対策事業	11,422		子どもの学力実態を的確に把握し,個に応じたきめ細かな指導・支援を行う。 ・全国的な学力調査等を活用し,市の学力実態を把握する。 ・学習支援員の活用 ・学力向上研修等の実施 ・中学校授業改革の強化推進
		(特定) 国 (一般)	1,600	
		9,822		
		-----	【R1】	
		10,300		
		(特定) 国 (一般)	963	
		9,337		

令和2年度当初予算事業説明書

No. 1 6

(一般会計)

(単位 千円)

課 名	事 業 名	事 業 費		事 業 の 概 要
		財 源 内 訳		
学校支援課	カウンセラー等活用事業	56,205		専門的な知識と経験を有するスクールカウンセラー等を学校へ派遣し、いじめ・非行等問題行動や不登校の解消を図る。 ・スクールカウンセラーの学校配置 ・スクールソーシャルワーカーの学校派遣
	(特定) 国	18,590		
			37,615	
			【R1】	
			54,951	
		(特定) 国	18,173	
		(一般)	36,778	
	体力づくりの推進費	1,662		運動の大切さを知り、楽しさを味わうことのできる環境を整え、子どもの健やかな体を育む。 ・体力向上・運動教育の推進 ・オリンピックパラリンピックムーブメント全国展開事業
		(特定) 国	1,476	
		(一般)	186	
			【R1】	
			1,677	
		(特定) 国	1,476	
		(一般)	201	

令和2年度当初予算事業説明書

No. 17

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
学校支援課	【拡充】 部活動の支援		15,009	教員の負担を軽減し中学校における部活動指導体制の充実を促進するための支援を行うとともに、部活動の質的向上を図る。 ・部活動指導員配置事業 8人→14人に拡充 ・中学校部活動エキスパート・サポーター活用事業
		(特定)		
		国	3,845	
		(一般)		
			11,164	
		【R1】		
			10,468	
		(特定)		
		国	2,197	
(一般)				
	8,271			
国際交流推進事業	国際交流推進事業		2,632	姉妹・友好都市と市内小・中・高等学校の児童生徒の派遣による相互交流を実施し、国際理解教育を推進する。
		(一般)		
			2,632	
		【R1】		
			2,629	
		(一般)		
	2,629			
【拡充】 外国語指導助手配置事業	外国語指導助手配置事業		50,094	国際理解教育を推進する学習の一環として、各校に外国語指導助手(ALT)を配置し、外国語教育に積極的に取り組む学校を支援する。 ALT 41人→44人
		(特定)		
		他	7,062	
		(一般)		
			43,032	
		【R1】		
			49,263	
		(特定)		
他	7,113			
(一般)				
	42,150			

令和2年度当初予算事業説明書

No. 18

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
学校支援課	特別支援教育の充実	605,600		小・中学校の特別支援学級及び通常学級に支援員を配置し、障がいのある児童生徒の学校生活を支援する。
		(特定) 国 3,468 (一般)		
		602,132		
		【R1】		
		464,674		
		(特定) 国 2,209 (一般)		
		462,465		
	防災教育・防災管理推進事業	300		各校が行ってきた防災教育の内容が、より一層家庭や地域と連携した実践的な取組みとなるよう支援する。 R2～6年度で市内の全小・中・中等教育・特別支援学校の自校化プログラムの見直しを図り、各校が地域の特性に応じた防災管理ができるよう支援する。
(一般)				
300				
		【R1】		
		9,477		
		(特定) 県 9,477		
	スクールガードリーダー配置事業	2,108		警察官OBを各区に配置し、子ども見守り隊等と連携しながら、児童生徒の安全安心な登下校を確保する。
(特定) 国 702 (一般)				
1,406				
		【R1】		
		2,016		
		(特定) 国 672 (一般)		
		1,344		

令和2年度当初予算事業説明書

No. 19

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
学校支援課	【新規】 全国高等学校総合体育大会開催事業		3,800	R3年度に福井県を中心に北信越ブロックで開催される「全国高等学校総合体育大会」の開催準備を行う(新潟市では2競技開催)。
		(一般)	3,800	
		【R1】	—	

令和2年度当初予算事業説明書

No. 20

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要	
		財源内訳			
生涯学習センター	にいがた市民大学開設事業		5,605	時代や社会の変化, 市民の学習ニーズ並びに新潟の地域性や課題等に応じた講座や「高等教育コンソーシアムにいがた」と連携した講座を開設する。開設講座5講座。 このほか, 特別講座を実施する。	
		(特定)			
		他	5,605		
		【R1】			
			5,900		
			5,880		
			20		
	生涯学習推進事業		237		市民が学んだ知識や成果を教育活動や地域に活かすために, 生涯学習ボランティアを育成するとともに, ボランティアバンク登録者の活動の場を支援する。 市民の学習相談に応じる生涯学習相談ボランティアを養成し, 学習活動に関する相談窓口を開設する。 パソコン支援ボランティアや学生との協働で, パソコン初心者向け講習会など, 市民の生涯学習活動を支援する。
		(一般)			
			237		
【R1】					
(一般)		203			
		203			

令和2年度当初予算事業説明書

No. 2 1

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
中央公民館	家庭教育振興事業		10,078	<p>○家庭教育学級 子育て期の親等に子育てに関する学習機会を提供し、親同士の仲間づくりを推進する。</p> <p>また、出産前から思春期までの子どもの成長にあわせた家庭教育学級を開催し、子育てに関する情報交換の場を設置するなど、子育て支援事業を実施して家庭の教育力向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児期、幼児期、児童期（小学生）、思春期（中学生）等の家庭教育学級の実施 ・プレママ学級の実施 ・父親学級の実施 ・子育てサロン等子育て支援事業の実施 <p>○子育て学習出前講座 小中学校での就学時健診や新入生学校説明会等において専門の講師を派遣し、多くの保護者に家庭教育のあり方を見つめ直す機会を提供するとともに、家庭教育への意識啓発と家庭の教育力の向上を図る。</p>
		(一般)	10,078	
		【R1】	10,510	
		(一般)	10,510	
	地域コミュニティ活動活性化支援事業		2,071	<p>地域コミュニティ活動の活性化を支援するために、コミュニティ協議会等の地域団体と連携しながら地域課題解決のために必要な事業を実施し、地域活動を担う人材の育成を支援する。</p> <p>また、地域課題に取り組む人材や団体のつなぎ役となるコミュニティ・コーディネーターの育成講座を実施する。</p>
		(一般)	2,071	
		【R1】	3,107	
		(一般)	3,107	

令和2年度当初予算事業説明書

No. 2 2

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
中央公民館	子ども体験活動・ボランティア活動推進事業		1,868	土日や長期休業期間に子どもたちに様々な野外活動やものづくり等の体験型事業を実施する。事業を通じて自立心や協調性、他人に対する思いやりの心を育み、子どもたちの健全育成を図る。
		(一般)	1,868	
		【R1】	1,983	
		(一般)	1,983	
中央図書館	読書普及事業	(特定)	102,439	「新潟市立図書館ビジョン」に基づき、「市民の身近な学びと情報の拠点」を目指した資料収集と事業を行う。 ・市民の多様なニーズに対応する資料収集 ・ハンディキャップサービス 障がい等により来館困難な市民に対して宅配貸出 ・その他、講演会等の開催
		他	970	
		(一般)	101,469	
		【R1】	107,373	
		(特定)	870	
		(一般)	106,503	

令和2年度当初予算事業説明書

No. 23

(一般会計)

(単位 千円)

課名	事業名	事業費		事業の概要
		財源内訳		
中央図書館	子どもの読書環境の整備	6,396	(一般)	「第三次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちが本に親しみ読書習慣を身に付けることを目指して、ボランティアや庁内関係課等と連携して事業を行う。
		6,396	【R1】	
		6,433	(一般)	
	ビジネス情報提供事業	6,433	(一般)	・ブックスタート事業 ・学校貸出図書搬送事業 ・学校図書館支援センターの運営 ・絵本の読み聞かせボランティアの養成
		1,199	(一般)	市民の仕事を支援するため、資料や情報の提供及び関連機関と連携した事業を行う。
		1,199	【R1】	
	1,187	(一般)		
	図書館サービス向上事業	1,187	(一般)	・オンラインデータベースによる情報提供 ・ビジネス支援セミナー等の開催
		111,432	(一般)	図書館間のネットワークを活かした図書館サービスの提供を行う。
111,432		【R1】		
163,825	(一般)			
		163,825	(一般)	・図書館情報システムの運用 ・図書館・地区図書室へ配本車の運行 ・郷土資料デジタルアーカイブの充実 ・市民向けレファレンス(調査相談)データベースの提供

新潟市教育職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について（案）
（2月定例会提案議案）

1 改正理由

公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部改正に伴い、教育職員の業務量の適切な管理等を図るための措置を教育委員会において定めるため、所要の改正を行うもの

2 改正内容

教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員の健康及び福祉の確保を図るための措置について、法第7条に規定する指針に基づき、教育委員会の定めるところにより行うものとする規定を設ける

3 施行期日

令和2年4月1日

<参考>

1 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部改正の概要

(1) 業務量の適切な管理等に関する指針の策定 ～第7条関係【R2.4.1 施行】

公立学校の教師が所定の勤務時間外に行う業務の多くが、超過勤務命令によらないものであること等を踏まえ、文部科学大臣は、公立学校の教師の健康及び福祉の確保を図ることにより学校教育の水準の維持向上に資するため、教育職員の業務量の適切な管理等に関する指針を定めるものとする。

(2) 1年単位の変形労働時間制の適用（休日のまとめ取り）～第5条関係【R3.4.1 施行】
（略）

2 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法第7条に規定する指針の概要（R2.1.17 告示）【R2.4.1 適用】

(1) 業務を行う時間の上限

- ・ 教育職員が学校教育活動に関する業務を行っている時間として外形的に把握することができる時間を「在校等時間」とし、勤務時間を管理
- ・ 1か月の時間外在校等時間について、45時間以内
- ・ 1年間の時間外在校等時間について、360時間以内 等

(2) 教育職員のサービスを監督する教育委員会が講ずべき措置

- ・ 本指針を参考にしながら、その所管に属する学校の教育職員の在校等時間の上限等に関する方針（「上限方針」）を教育委員会規則等において定める。 等

議案第 号

新潟市教育職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

新潟市教育職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例を次のように制定するものとする。

令和2年2月 日提出

新潟市長 中原 八一

新潟市教育職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

新潟市教育職員の勤務時間、休暇等に関する条例（平成28年新潟市条例第58号）の一部を次のように改正する。

第11条を第12条とし、第10条の次に次の1条を加える。

（業務量の適切な管理等を図るための措置）

第11条 教育職員の健康及び福祉の確保を図ることにより学校教育の水準の維持向上に資するため、教育職員が正規の勤務時間及びそれ以外の時間において行う業務の量の適切な管理その他教育職員の健康及び福祉の確保を図るための措置については、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（昭和46年法律第77号）第7条に規定する指針に基づき、教育委員会規則の定めるところにより行うものとする。

附 則

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

新潟市教育職員の勤務時間、休暇等に関する条例(平成28年新潟市条例第58号)新旧対照表

改正後(案)	現行	備考
<p><u>(業務量の適切な管理等を図るための措置)</u></p> <p><u>第11条</u> 教育職員の健康及び福祉の確保を図ることにより学校教育の水準の維持向上に資するため、教育職員が正規の勤務時間及びそれ以外の時間において行う業務の量の適切な管理その他教育職員の健康及び福祉の確保を図るための措置については、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法(昭和46年法律第77号)第7条に規定する指針に基づき、教育委員会規則の定めるところにより行うものとする。</p> <p>(委任)</p> <p><u>第12条</u> この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。</p>	<p>(委任)</p> <p><u>第11条</u> この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。</p>	<p>(新設)</p>

議案第29号

陳情の処理経過及び結果について

陳情の処理経過及び結果について、次のとおりとしたため議決を求める。

令和2年2月4日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

陳情の処理経過及び結果について

1 報告内容

別紙のとおり

採択年月日	平成31年3月22日
請願・陳情 番号	陳情第220号
所管課	教育委員会教育総務課（第3項） 教育委員会学務課（第4項） 教育委員会学校人事課（第1項，第2項）
件名	<p>子どもたちに行き届いた教育を，30人以下学級実現，教職員定数増，教育予算増額を求めることについて</p> <p>第1項 小学校・中学校・高等学校全学年における32人以下学級の拡大，1クラス23人以上（小学校3・4年生），25人以上（小学校5年生から中学校3年生）の下限設定を緩和すること。</p> <p>第2項 子どもたち一人ひとりに行き届いた教育を実現するため，教職員増等を可能とする教育予算の増額を図ること。特に，養護教員，栄養教員や学校栄養職員，学校事務職員の全校配置，特別支援にかかわる教職員を増員すること。</p> <p>第3項 高校再編について，子どもたちの就学機会が保障される，市民・県民合意の高校再編となるように進めること。</p> <p>第4項 教育費の保護者負担を軽減するために，教育予算等を増額すること。</p>
処理状況	<p>第1項 本市では，権限移譲に伴い学級編制基準を定められるようになったことにより，平成29年4月から，32人以下学級を小学校3，4年生まで拡大し，1クラスの下限を23人に緩和しました。</p> <p>下限設定の緩和，少人数学級の高等学校への拡大については，学級編制及び教職員定数の改善を国に要望していきます。</p> <p>第2項 養護教諭，栄養教諭，学校栄養職員，学校事務職員の配置は，「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」で配置基準が定められており，養護教諭と学校事務職員は既に全校に配置されています。</p> <p>栄養教諭と学校栄養職員については，この基準により，全校に配置することはできませんが，本市では基準を上回る栄養士を配置しています。</p> <p>特別支援に係る教職員の増員についても，定数改善を国に要望しています。</p> <p>今後も子どもたち一人ひとりに行き届いた教育を実現するため，教育予算の確保に努めていきます。</p> <p>第3項 本市では，新潟市立高志中等教育学校と万代・明鏡高等学校に</p>

において、これからの社会における学習ニーズに応えられるように、今後も設置理念を踏まえ、特色ある教育の推進に努めていきます。再編については現段階では市としての具体的な計画はありませんが、今後の中学校卒業生数の推移や県立高等学校再編整備計画等を踏まえ、機会を捉えて新潟県教育委員会との情報交換を行っていきたいと考えています。

第4項 今後も安定した学校運営に必要な予算の確保に努めるとともに、学校現場においても節約による経費の削減と保護者負担の軽減につながる工夫をお願いしていきます。



新議事第635号
平成31年3月22日

新潟市教育委員会教育長
前田秀子様

新潟市議会議長
永井武弘



陳情の送付並びに処理の経過及び結果の報告請求について

標記のことについて、地方自治法第125条並びに新潟市議会会議規則第139条及び第140条の規定により、別紙のとおり送付します。

なお、処理の経過及び結果の報告を請求したものについては、文書をもって請求の日から1年以内の定例会までに報告を願います。

平成31年3月22日（2月定例会）の本会議で採択された陳情

陳情番号	件名	処理経過及び結果の報告請求の有無	所管課
陳情第220号	<p>子どもたちに行き届いた教育を、30人以下学級実現，教職員定数増，教育予算増額を求めることについて</p>		
	<p>第1項 小学校・中学校・高等学校全学年における32人以下学級の拡大，1クラス23人以上（小学校3・4年生），25人以上（小学校5年生から中学校3年生）の下限設定を緩和すること。</p> <p>第2項 子どもたち一人ひとりに行き届いた教育を実現するため，教職員増等を可能とする教育予算の増額を図ること。特に，養護教員，栄養教員や学校栄養職員，学校事務職員の全校配置，特別支援にかかわる教職員を増員すること。</p>	請求する	学校人事課
	<p>第3項 高校再編について，子どもたちの就学機会が保障される，市民・県民合意の高校再編となるように進めること。</p>	請求する	教育総務課
	<p>第4項 教育費の保護者負担を軽減するために，教育予算等を増額すること。</p>	請求する	学務課

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 2 2 0 号
件 名	子どもたちに行き届いた教育を，30人以下学級実現，教職員定数増，教育予算増額を求めることについて
提 出 者	新潟市中央区新光町7-4 教育をよくする新潟県民会議 代表 横山由美子 外1名
要 旨	<p>いじめや不登校，子どもの貧困等が大きな社会的問題となる中，私たちは，教職員が子どもたち一人ひとりに目を行き届かせ，じっくりと寄り添う時間の確保が必要だと考えています。そのためには，多くの保護者が望む30人以下学級を，教職員定数を確保した上で実現することが望まれます。</p> <p>新潟県では，2001年に全国に先駆けて小学校1・2年生の32人以下学級が実現しました。2015年度からは，小学校3年生から小学校6年生と中学校全学年で35人以下学級が，2017年の新潟市への権限移譲からは小学校3・4年生において32人以下学級が実現しています。しかし，小学校3・4年生（下限23人）と，小学校5年生から中学校3年生（下限25人）に下限設定があります。1クラス23人以上（小学校3・4年生）と，1クラス25人以上（小学校5年生から中学校3年生）の下限設定により，全ての小学校3・4年生で32人以下学級，小学校5年生から中学校3年生で35人以下学級になっているわけではありません。また，高等学校は40人以下学級となっています。市内全ての学校で子どもたち一人ひとりに行き届いた教育を実現するために，32人以下学級をさらに拡充していくことが求められます。</p> <p>さらに，年々増加する多様な子どもたちの心のケアや保護者のニーズにきめ細やかに対応するためには，養護教員，栄養教員や学校栄養職員，学校事務職員の全校配置と，特別支援にかかわる教職員の増員も不可欠です。</p> <p>これらを具現化するため，下記の事項について陳情いたします。 (裏面につづく)</p>
付 託 年月日 委員会	第1項 } 平成31年3月7日 } 第4項 } 文教経済常任委員会
受 理	平成31年2月22日 第584号

記

- 1 小学校・中学校・高等学校全学年における 32 人以下学級の拡大，1 クラス 23 人以上（小学校 3・4 年生），25 人以上（小学校 5 年生から中学校 3 年生）の下限設定を緩和すること。
- 2 子どもたち一人ひとりに行き届いた教育を実現するため，教職員増等を可能とする教育予算の増額を図ること。特に，養護教員，栄養教員や学校栄養職員，学校事務職員の全校配置，特別支援にかかわる教職員を増員すること。
- 3 高校再編について，子どもたちの就学機会が保障される，市民・県民合意の高校再編となるように進めること。
- 4 教育費の保護者負担を軽減するために，教育予算等を増額すること。

報 告

新潟市立高等学校及び新潟市立中等教育学校後期課程における
「主として専門学科において開設される各教科・科目の標準単
位数」及び「学校設定科目」、「学校設定教科」に関する取扱いに
ついて

高等学校学習指導要領（平成 30 年文部科学省告示第 68 号）総則第 2 款の 3
の規定に基づき、「主として専門学科において開設される各教科・科目の標準単
位数」及び「学校設定科目」、「学校設定教科」について下記のとおり定めたので、
報告します。

記

- 1 総則第 2 款 3（1）ウの表に掲げる「主として専門学科において開設される
各教科・科目の標準単位数」を別表のとおりとしました。
- 2 総則第 2 款 3（1）エ，オに定める「学校設定科目」、「学校設定教科」を設定
する場合には、その教科・科目の名称、目標、内容、単位数等について、
学校支援課と協議するものとします。

別表

教科	科目	標準 単位数	教科	科目	標準 単位数
商業	ビジネス基礎	2～4	福祉	社会福祉基礎	2～6
	課題研究	2～4		介護福祉基礎	2～6
	総合実践	2～4		コミュニケーション技術	2～4
	ビジネス・コミュニケーション	2～4		生活支援技術	2～12
	マーケティング	2～6		介護過程	2～6
	商品開発と流通	2～4		介護総合演習	2～6
	観光ビジネス	2～4		介護実習	2～16
	ビジネス・マネジメント	2～4		こころとからだの理解	2～12
	グローバル経済	2～4		福祉情報	2～4
	ビジネス法規	2～4		理数	理数数学Ⅰ
	簿記	2～6	理数数学Ⅱ		8～15
	財務会計Ⅰ	2～6	理数数学特論		2～6
	財務会計Ⅱ	2～4	理数物理		3～10
	原価計算	2～4	理数化学		3～10
	管理会計	2～4	理数生物		3～10
	情報処理	2～4	理数地学	3～10	
ソフトウェア活用	2～6	体育	スポーツ概論	3～6	
プログラミング	2～6		スポーツⅠ	2～12	
ネットワーク活用	2～4		スポーツⅡ	2～12	
ネットワーク管理	2～4		スポーツⅢ	2～12	
家庭	生活産業基礎		2～4	スポーツⅣ	2～12
	課題研究		2～4	スポーツⅤ	2～18
	生活産業情報	2～4	スポーツⅥ	3～9	
	消費生活	2～4	スポーツ総合演習	3～18	
	保育基礎	2～6	音楽	音楽理論	2～6
	保育実践	2～8		音楽史	2～4
	生活と福祉	2～4		演奏研究	2～4
	住生活デザイン	2～6		ソルフェージュ	2～8
	服飾文化	2～4		声楽	2～14
	ファッション造形基礎	2～6		器楽	2～17
	ファッション造形	2～10	作曲	2～8	
	ファッションデザイン	2～14	鑑賞研究	2～6	
	服飾手芸	2～4	美術	美術概論	2～4
	フードデザイン	2～6		美術史	2～4
	食文化	2		鑑賞研究	2～6
	調理	2～18		素描	2～12
栄養	2～4	構成		2～12	
食品	2～4	絵画		2～12	
食品衛生	2～6	版画		2～12	
公衆衛生	2～4	彫刻		2～12	
総合調理実習	2～4	ビジュアルデザイン		2～12	
情報	情報産業と社会	2～4		クラフトデザイン	2～12
	課題研究	2～4	情報メディアデザイン	2～12	
	情報の表現と管理	2～4	映像表現	2～12	
	情報テクノロジー	2～4	環境造形	2～12	
	情報セキュリティ	2～6	英語	総合英語Ⅰ	4～6
	情報システムのプログラミング	2～6		総合英語Ⅱ	4～6
	ネットワークシステム	2～4		総合英語Ⅲ	4～6
	データベース	2～6		ディベート・ディスカッションⅠ	2～4
	情報デザイン	2～6		ディベート・ディスカッションⅡ	2～4
	コンテンツの制作と発信	2～6		エッセイライティングⅠ	2～4
	メディアとサービス	2～4	エッセイライティングⅡ	2～4	
	情報実習	4～8			

新潟市立高等学校及び新潟市立中等教育学校後期課程における
主として専門学科において開設される各教科・科目の標準単位
数についての留意事項

- 1 高等学校学習指導要領総則第2款の3の表に掲げる主として専門学科において開設される各教科・科目については、原則として、別表に掲げる標準単位数の範囲内で教育課程を編成するものとする。
- 2 学校においては、生徒や学校、地域の実態及び学科の特色等に応じ、特色ある教育課程の編成に資するよう、各学科に共通する各教科・科目並びに主として専門学科において開設される各教科・科目以外の教科・科目を履修させることができる。
この場合、その科目の名称、目標、内容、単位数等について、学校支援課と協議するものとする。

令和元年度 新潟市生活・学習意識調査

R1.2.4
総合教育センター

1 実施時期

令和元年 11月14日(木)～11月22日(金)

2 調査対象数(有効実数)

- (1) 小学校 1年生 3,942人(80校) 2年生 4,332人(83校) 3年生 6,354人(107校)
4年生 6,335人(107校) 5年生 6,408人(107校) 6年生 6,419人(107校)
合計 33,790人
- (2) 中・中等教育学校
1年生 6,023人(58校) 2年生 5,990人(58校) 3年生 5,998人(58校)
合計 18,011人

3 昨年度の調査結果から肯定的回答「1・2」の割合が増加した項目数

小学校 18/46項目

中学校 28/46項目 その内、3pt以上増加した項目は、小学校も中学校も0項目であった。

4 新潟市の授業づくりに関する項目

「1 あてはまる」「2 ややあてはまる」の回答の推移

質問内容	学年	R1	H30	H29	H28	H27	H26
		1+2	1+2	1+2	1+2	1+2	1+2
39 授業で、自分の考えを進んで発表しています。(H30～伝えて)	小学校	70.8%	70.5%	66.1%	63.7%	61.5%	60.5%
	中学校	52.4%	51.0%	44.5%	43.6%	42.8%	41.1%
40 授業で、ペアやグループで話し合う活動は好きです。	小学校	86.7%	86.6%	87.0%	84.6%	83.6%	83.3%
	中学校	80.9%	80.8%	80.9%	76.1%	73.7%	71.9%
41 ふだんの授業では、学習課題が示されている。	小学校	95.9%	96.0%	94.3%	93.1%	93.1%	91.8%
	中学校	96.7%	96.7%	95.9%	93.4%	91.4%	84.6%
42 ふだんの授業では、学習内容のまとめを行っている。「最後に学習内容をふり返る活動(まとめ)」(H30まで)	小学校	94.9%	95.7%	95.5%	94.7%	94.0%	93.0%
	中学校	94.5%	93.6%	92.1%	88.4%	84.8%	73.1%
43 ふだんの授業では、授業の終末に学習内容をふり返る活動を行っている。(R1から追加)	小学校	84.0%	95.7%	95.5%	94.7%	94.0%	93.0%
	中学校	75.4%	93.6%	92.1%	88.4%	84.8%	73.1%

複数年で経年比較した場合、市で特に力を入れている左記の項目は、小学校も中学校も回答「1 あてはまる」と「2 ややあてはまる」の合計数値が向上している。

今年度から、「まとめ」と「ふり返る活動」を分けて調査しているため、「まとめ」と「振り返り」について、より正確な数値が把握できるようになっている。

5 各教科の勉強は好きですか

「1 好き」「2 どちらかという好き」の回答の推移

質問内容	学年	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
		1+2	1+2	1+2	1+2	1+2	1+2	1+2
29 国語の勉強は好きですか。	小学校	74.9%	74.6%	75.5%	73.6%	72.4%	70.8%	68.0%
	中学校	66.1%	65.5%	63.9%	62.2%	61.0%	60.1%	59.7%
30 社会の勉強は好きですか。	小学校	72.0%	71.9%	71.9%	69.8%	68.8%	67.1%	65.0%
	中学校	68.5%	67.1%	67.1%	62.3%	63.0%	61.9%	62.1%
31 算数[数学]の勉強は好きですか。	小学校	73.6%	74.6%	75.5%	73.6%	72.1%	71.1%	68.8%
	中学校	60.3%	60.2%	59.5%	55.5%	54.6%	54.6%	57.2%
32 理科の勉強は好きですか。	小学校	84.1%	84.6%	86.2%	84.2%	84.6%	83.2%	80.9%
	中学校	69.6%	68.5%	66.9%	63.7%	63.9%	64.1%	63.9%
33 外国語活動[外国語]の勉強は好きですか。	小学校	80.0%	82.7%	82.1%	78.0%	78.4%	78.3%	78.4%
	中学校	62.3%	61.8%	61.7%	56.7%	57.3%	57.6%	60.1%

「各教科の勉強は好きですか」「各教科の授業はよく分かりますか」の結果が向上していることは、新潟市の授業づくりが浸透してきた成果と考えられる。

6 各教科の授業はよく分かりますか

「1 よく分かる」「2 だいたい分かる」の回答の推移

質問内容	学年	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
		1+2	1+2	1+2	1+2	1+2	1+2	1+2
34 国語の授業はよく分かりますか。	小学校	93.9%	93.7%	93.7%	93.4%	92.9%	92.3%	91.7%
	中学校	86.6%	87.4%	86.9%	86.7%	85.5%	84.1%	85.8%
35 社会の授業はよく分かりますか。	小学校	91.3%	91.7%	91.7%	89.9%	88.9%	87.6%	86.4%
	中学校	82.1%	81.8%	81.8%	78.2%	78.4%	77.2%	77.0%
36 算数[数学]の授業はよく分かりますか。	小学校	88.9%	89.1%	89.1%	87.9%	86.9%	86.8%	85.8%
	中学校	77.9%	77.9%	77.9%	74.2%	74.9%	72.7%	75.8%
37 理科の授業はよく分かりますか。	小学校	94.0%	94.1%	94.3%	93.7%	93.6%	92.5%	91.4%
	中学校	81.4%	81.6%	80.5%	77.3%	77.2%	76.2%	76.9%
38 外国語の授業はよく分かりますか。(H30～小学5・6年生追加)	小学校	83.1%	85.2%	85.2%	85.2%	85.2%	85.2%	85.2%
	中学校	75.7%	75.8%	75.9%	71.5%	71.8%	70.9%	72.2%

7 心配な項目

(9)ふだん（月～金曜日）、携帯電話などの通信機器で通話やメールなどを1日にどれくらいしていますか。

「1 していない」「2 30分より少ない」の回答の推移

	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
	1+2	1+2	1+2	1+2	1+2	1+2	1+2
小学校	92.1%	92.6%	94.3%	94.0%	94.5%	95.1%	94.4%
中学校	65.7%	68.8%	71.2%	71.0%	72.2%	72.4%	74.2%

回答選択肢				
1	2	3	4	5
していない	30分より少ない	30分以上1時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	2時間以上

	R1					H30				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
小学校1年生	85.0%	11.7%	1.6%	0.9%	0.9%	85.9%	10.2%	2.2%	1.0%	0.7%
小学校2年生	82.3%	15.1%	1.3%	0.9%	0.4%	80.1%	15.8%	2.6%	0.7%	0.8%
小学校3年生	73.3%	21.3%	3.0%	1.3%	1.1%	75.0%	19.7%	3.1%	1.3%	0.9%
小学校4年生	66.9%	26.1%	3.7%	1.7%	1.6%	69.5%	24.7%	3.1%	1.4%	1.3%
小学校5年生	60.0%	29.3%	5.7%	2.8%	2.1%	63.3%	27.8%	5.2%	2.1%	1.6%
小学校6年生	55.0%	30.0%	7.6%	4.5%	2.9%	57.9%	28.5%	7.6%	3.5%	2.5%
中学校1年生	38.5%	31.1%	15.5%	9.3%	5.5%	43.7%	29.2%	15.2%	7.5%	4.4%
中学校2年生	30.8%	34.4%	17.4%	10.3%	7.1%	36.3%	32.8%	15.4%	8.9%	6.6%
中学校3年生	28.6%	33.6%	18.3%	10.9%	8.5%	32.6%	31.9%	17.2%	10.4%	7.9%

通信機器の普及に伴い、通話やメールの使用時間が確実に増えている。小学校の早い段階から、家庭と連携して、使い方を考える必要がある。子どもたち自信がルールを考える機会を設けることは、とても大切である。

8 家庭での学習時間

(14)ふだん（月～金曜日）、家では、1日にどれくらい勉強していますか。
 (宿題・家庭教師・学習塾の学習はふくめます。ピアノ・習字・水泳などの「習いごと」はのぞきます。)
 (15)休日(土・日・祝日など)に、家では、1日にどれくらい勉強していますか。
 (宿題・家庭教師・学習塾の学習はふくめます。ピアノ・習字・水泳などの「習いごと」はのぞきます。)

今年度調査から、「新潟市の家庭学習」リーフレットに示されている家庭学習時間の目安に基づいて、回答選択肢を増やした。これにより、各学年の家庭学習時間の目安に応じた家庭での学習時間が確保されているかどうかを概ね確認できるようになっている。

家庭学習時間の目安	
小学校	「10分×学年」以上
中学校	1年生 80分以上 2年生 100分以上 3年生 120分以上
高等学校	「(学年+1)時間」以上

■ 目安時間を達成している項
 ■ 目安時間を達成していない項
 ■ 目安時間またはそれに準ずる項

リーフレット「新潟市の家庭学習」より

回答選択肢	1	2	3	4	5	6	7
	120分以上	100分以上 120分より少ない	80分以上 100分より少ない	60分以上 80分より少ない	40分以上 60分より少ない	20分以上 40分より少ない	20分より少ない

14 普段(月～金曜日)

	1	2	3	4	5	6	7
小1	11.4%	6.7%	5.5%	9.4%	12.5%	26.1%	28.4%
小2	10.0%	8.9%	10.1%	13.9%	18.0%	29.4%	9.7%
小3	11.0%	9.8%	11.2%	17.1%	26.1%	19.8%	4.9%
小4	8.8%	8.7%	11.5%	19.8%	38.8%	8.2%	4.2%
小5	8.2%	8.2%	11.7%	28.2%	33.9%	6.1%	3.7%
小6	9.5%	8.0%	14.5%	44.7%	14.9%	5.3%	3.2%
中1	9.7%	11.3%	22.4%	26.3%	15.2%	8.8%	6.2%
中2	8.9%	11.1%	20.3%	22.8%	16.5%	10.7%	9.6%
中3	30.0%	17.3%	18.9%	16.7%	7.6%	4.5%	5.0%

	+	
小1	71.6%	—
小2	90.3%	9.7%
小3	75.3%	4.9%
小4	87.6%	12.4%
小5	56.3%	9.8%
小6	76.6%	23.4%
中1	43.4%	56.6%
中2	20.1%	79.9%
中3	30.0%	70.0%

15 休日(土・日・祝日など)

	1	2	3	4	5	6	7
小1	9.8%	5.4%	5.7%	9.2%	11.5%	22.7%	35.8%
小2	7.4%	7.4%	8.9%	13.6%	17.6%	27.3%	17.8%
小3	8.7%	8.2%	10.4%	17.0%	24.1%	20.4%	11.2%
小4	7.2%	7.5%	11.1%	18.3%	33.0%	13.3%	9.6%
小5	7.0%	5.9%	11.9%	24.4%	30.6%	12.1%	8.2%
小6	9.5%	6.6%	12.8%	35.0%	18.6%	10.0%	7.6%
中1	16.9%	11.7%	19.9%	21.9%	12.6%	8.4%	8.6%
中2	14.7%	10.5%	16.7%	19.9%	15.8%	10.0%	12.5%
中3	41.4%	14.5%	14.5%	12.8%	6.5%	3.9%	6.4%

	+	
小1	64.2%	—
小2	82.2%	17.8%
小3	68.4%	11.2%
小4	77.1%	22.9%
小5	49.1%	20.2%
小6	63.8%	36.2%
中1	48.5%	51.5%
中2	25.2%	74.8%
中3	41.4%	58.6%

各学年で目安とされている学習時間を確保したい。今年度の調査により、小学校でも中学校でも、まだまだ目安の時間に達していない子どもが少なからずいることが分かった。また、小学生は休日はゆったりと過ごし、中学生は休日に、普段できない学習を家庭で行っている傾向にあることも分かった。

新潟市生活・学習意識調査(R1, H30比較表)

	質問内容		R1新潟市							R1	H30新潟市						H30
			1	2	3	4	5	6	7	1+2	1	2	3	4	5	6	1+2
生	1 朝食を食べています。	小学校	94.0%	3.5%	1.4%	1.2%				97.4%	93.8%	3.6%	1.5%	1.1%			97.4%
		中学校	90.2%	5.1%	2.3%	2.4%				95.3%	91.1%	4.7%	2.2%	2.0%			95.8%
生	2 この1週間をふりかえると、朝食では、黄・赤・緑の食品を毎日バランスよく食べています。	小学校	50.0%	36.6%	10.3%	3.1%				86.6%	50.9%	35.9%	10.0%	3.2%			86.8%
		中学校	46.0%	36.3%	13.2%	4.5%				82.3%	45.5%	36.1%	13.8%	4.5%			81.7%
生	3 地域の大人とあいさつしたり、言葉をかわしたりしています。	小学校	53.9%	34.3%	9.6%	2.2%				88.2%	55.7%	33.0%	8.9%	2.3%			88.8%
		中学校	47.9%	36.2%	12.4%	3.6%				84.1%	47.4%	36.0%	13.1%	3.5%			83.4%
生	4 家で手伝い(そうじ、食事の準備など)をしています。	小学校	48.2%	33.9%	14.0%	3.9%				82.1%	50.0%	32.8%	13.3%	3.9%			82.8%
		中学校	43.0%	37.0%	15.8%	4.1%				80.0%	42.3%	36.7%	17.0%	4.0%			79.0%
生	5 体を動かして遊んだり、運動・スポーツをしたりしています。	小学校	66.8%	21.7%	9.0%	2.4%				88.5%	67.8%	20.7%	9.1%	2.4%			88.5%
		中学校	60.0%	20.0%	15.4%	4.6%				80.0%	60.6%	19.6%	14.9%	4.9%			80.2%
活	6 すいみん時間はだいたいどれくらいですか。(学校へ行く日)	小学校	42.7%	42.2%	11.2%	2.8%	1.0%			84.9%	42.3%	42.3%	11.5%	2.8%	1.1%		84.6%
		中学校	5.8%	25.2%	42.1%	21.4%	5.5%			31.1%	5.7%	23.9%	43.2%	21.5%	5.8%		29.6%
活	7 ふだん(月～金曜日)、テレビやDVD・ビデオを1日にどれくらい見えていますか。	小学校	17.3%	26.2%	29.6%	14.7%	12.3%			43.4%	17.1%	26.3%	30.4%	14.2%	12.0%		43.4%
		中学校	13.8%	24.1%	34.7%	15.8%	11.5%			37.9%	13.5%	23.6%	35.5%	15.6%	11.9%		37.0%
活	8 ふだん(月～金曜日)、電子ゲーム(インターネットゲームをふくむ)を1日にどれくらいしていますか。	小学校	28.2%	19.7%	21.8%	17.1%	13.1%			47.9%	29.4%	21.2%	21.6%	16.1%	11.6%		50.6%
		中学校	22.7%	16.4%	22.8%	20.3%	17.9%			39.1%	22.6%	16.7%	22.1%	20.8%	17.8%		39.3%
の	9 ふだん(月～金曜日)、携帯電話などの通信機器で通話やメールなどを1日にどれくらいしていますか。	小学校	68.6%	23.5%	4.1%	2.2%	1.6%			92.1%	70.2%	22.4%	4.2%	1.8%	1.4%		92.6%
		中学校	32.7%	33.0%	17.1%	10.2%	7.1%			65.7%	37.5%	31.3%	16.0%	8.9%	6.3%		68.8%
の	10 本を読むことが好きです。	小学校	50.0%	30.3%	13.2%	6.4%				80.3%	50.5%	30.0%	13.3%	6.2%			80.5%
		中学校	40.5%	29.1%	18.1%	12.3%				69.6%	41.7%	28.9%	17.6%	11.8%			70.6%
の	11 学校や家で1か月に本をどれくらい読みましたか。(教科書、参考書、マンガ本、雑誌をのぞきます。)	小学校	45.5%	18.3%	18.6%	14.8%	2.9%			63.7%	45.8%	18.6%	18.8%	14.1%	2.7%		64.4%
		中学校	8.6%	6.5%	20.2%	51.9%	12.8%			15.2%	9.0%	6.9%	20.9%	50.8%	12.3%		16.0%
の	12 宿題をきちんとやっています。	小学校	76.4%	18.2%	4.2%	1.2%				94.6%	77.1%	17.6%	4.1%	1.2%			94.7%
		中学校	57.6%	31.0%	8.9%	2.5%				88.6%	57.0%	31.6%	9.1%	2.3%			88.5%
の	13 宿題以外にも自主的に家で勉強しています。	小学校	47.3%	28.9%	16.1%	7.7%				76.2%	49.2%	27.9%	15.7%	7.2%			77.1%
		中学校	35.9%	33.0%	22.7%	8.4%				68.9%	35.5%	33.6%	22.5%	8.4%			69.1%
様	14 ふだん(月～金曜日)、家では、1日にどれくらい勉強していますか。(宿題・家庭教師・学習塾の学習はふくめます。ピアノ・習字・水泳などの「習いごと」はのぞきます。)(R1～回答選択肢変更)	小学校	9.7%	8.5%	11.2%	23.7%	25.2%	14.2%	7.6%	18.2%	8.3%	13.3%	37.1%	31.3%	10.0%		21.6%
		中学校	16.2%	13.2%	20.5%	22.0%	13.1%	8.0%	6.9%	29.5%	9.1%	21.1%	43.8%	17.6%	8.4%		30.2%
様	15 休日(土・日・祝日など)、家では、1日にどれくらい勉強していますか。(宿題・家庭教師・学習塾の学習はふくめます。ピアノ・習字・水泳などの「習いごと」はのぞきます。)(R1～回答選択肢変更)	小学校	8.2%	6.9%	10.5%	20.7%	23.6%	16.7%	13.4%	15.1%	8.2%	11.8%	31.5%	31.3%	17.1%		20.1%
		中学校	24.3%	12.2%	17.0%	18.2%	11.6%	7.4%	9.1%	36.6%	18.5%	21.9%	32.0%	16.3%	11.4%		40.3%
子	16 学習塾に通ったり、家庭教師に教えてもらったりしています。	小学校	4.4%	5.5%	24.6%	65.5%				9.8%	4.9%	5.6%	24.2%	65.4%			10.5%
		中学校	6.5%	11.5%	39.4%	42.6%				18.0%	8.2%	12.8%	38.2%	40.7%			21.0%
子	17 学校で学んだことをふだんの生活の中で役立てています。	小学校	40.7%	43.4%	13.1%	2.8%				84.1%	41.1%	42.4%	13.6%	2.9%			83.5%
		中学校	33.3%	44.0%	18.1%	4.6%				77.3%	31.6%	44.6%	19.0%	4.8%			76.3%
子	18 将来の夢やつきたい仕事があります。	小学校	69.6%	15.6%	7.5%	7.3%				85.3%	71.3%	14.7%	7.3%	6.7%			85.9%
		中学校	42.5%	25.0%	19.0%	13.5%				67.5%	41.4%	26.0%	19.3%	13.4%			67.4%
子	19 学習や生活のめあてをもって、毎日を過ごしています。	小学校	42.2%	39.1%	14.3%	4.4%				81.3%	43.1%	38.1%	14.4%	4.4%			81.2%
		中学校	30.0%	39.4%	23.2%	7.3%				69.4%	28.2%	39.5%	24.9%	7.4%			67.7%
子	20 学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしています。	小学校	36.1%	47.3%	14.2%	2.3%				83.5%	37.2%	46.3%	14.2%	2.3%			83.5%
		中学校	40.1%	45.5%	12.2%	2.1%				85.7%	38.3%	46.6%	12.8%	2.4%			84.9%
子	21 自分にはよいところがあります。	小学校	54.4%	31.2%	10.3%	4.1%				85.6%	54.2%	31.1%	10.5%	4.2%			85.2%
		中学校	36.9%	39.7%	16.8%	6.6%				76.6%	34.1%	41.4%	18.2%	6.3%			75.4%
学	22 学校生活は楽しい。	小学校	64.8%	26.5%	6.3%	2.5%				91.2%	66.4%	25.0%	6.3%	2.3%			91.4%
		中学校	62.3%	28.5%	6.6%	2.6%				90.7%	62.4%	28.9%	6.5%	2.2%			91.3%
学	23 やっていることを先生や友達に認められて、うれしいと感じることがよくあります。	小学校	55.7%	31.9%	9.4%	3.0%				87.6%	55.7%	31.8%	9.6%	2.9%			87.4%
		中学校	53.4%	34.5%	9.3%	2.8%				87.9%	51.5%	35.4%	10.4%	2.7%			86.9%
学	24 地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがよくあります。	小学校	47.8%	31.7%	14.2%	6.3%				79.5%	48.1%	31.3%	14.7%	6.0%			79.4%
		中学校	41.9%	34.1%	17.8%	6.1%				76.1%	39.8%	34.6%	19.5%	6.2%			74.3%
学	25 友達のよいところを見つけたり、友達が落ちこんでいるとき、はげましたりしています。	小学校	55.1%	33.6%	8.8%	2.5%				88.6%	56.1%	32.4%	9.1%	2.4%			88.5%
		中学校	56.5%	34.4%	7.2%	2.0%				90.8%	55.0%	35.3%	7.7%	2.0%			90.3%
学	26 学校生活で、友達と力を合わせて学習したり、活動したりしています。	小学校	64.8%	27.9%	5.8%	1.5%				92.7%	65.8%	26.9%	5.8%	1.6%			92.7%
		中学校	62.3%	30.0%	6.0%	1.7%				92.3%	61.4%	30.9%	6.2%	1.5%			92.3%
学	27 地域のこと(自然・歴史・産業など)にふれたり、調べたりする学習は好きです。	小学校	53.2%	28.5%	13.3%	5.0%				81.7%	54.2%	27.9%	13.0%	4.8%			82.2%
		中学校	29.8%	36.6%	24.5%	9.0%				66.4%	27.9%	36.2%	26.5%	9.4%			64.1%
学	28 地域の大人から話やアドバイスを聞いて、分かたり、できたりすることがよくあります。	小学校	41.3%	35.3%	16.4%	7.0%				76.6%	42.1%	34.1%	16.7%	7.1%			76.2%
		中学校	29.1%	35.8%	24.6%	10.5%				64.9%	27.4%	36.0%	25.5%	11.1%			63.3%
学	29 国語の勉強は好きですか。	小学校	40.8%	34.1%	18.2%	7.0%				74.9%	41.6%	32.9%	18.4%	7.1%			74.6%
		中学校	27.2%	38.9%	25.7%	8.2%				66.1%	26.2%	39.3%	26.6%	7.9%			65.5%
学	30 社会の勉強は好きですか。	小学校	41.9%	30.1%	19.5%	8.6%				72.0%	42.0%	29.9%	19.8%	8.3%			71.9%
		中学校	34.4%	34.0%	22.7%	8.8%				68.5%	32.6%	34.5%	24.1%	8.8%			67.1%
で	31 算数[数学]の勉強は好きですか。	小学校	49.1%	24.6%	17.0%	9.3%				73.6%	50.4%	24.2%	16.3%	9.1%			74.6%
		中学校	30.4%	29.9%	26.5%	13.3%				60.3%	29.7%	30.5%	26.9%	12.9%			60.2%
で	32 理科の勉強は好きですか。	小学校	57.9%	26.2%	11.5%	4.4%				84.1%	59.3%	25.3%	11.1%	4.3%			84.6%
		中学校	34.1%	35.5%	22.3%	8.1%				69.6%	32.9%	35.7%	23.3%	8.2%			68.5%
で	33 外国語活動[外国語]の勉強は好きですか。	小学校	51.0%	29.0%	14.0%	6.1%				80.0%	55.7%	27.0%	12.3%	5.0%			82.7%
		中学校	31.1%	31.1%	24.5%	13.2%				62.3%	31.4%	30.5%	25.1%	13.1%			61.8%
の	34 国語の授業はよく分かりますか。	小学校	58.8%	35.1%	4.7%	1.4%				93.9%	59.8%	33.8%	4.8%	1.5%			93.7%
		中学校	40.1%	46.4%	10.5%	3.0%				86.6%	40.1%	47.2%	10.0%	2.6%			87.4%
の	35 社会の授業はよく分かりますか。	小学校	57.9%	33.3%	7.1%	1.7%				91.3%	59.5%	32.2%	6.7%	1.6%			91.7%
		中学校	40.4%	41.7%	14.0%	3.9%				82.1%	39.9%	41.9%	14.3%	3.9%			81.8%
の	36 算数[数学]の授業はよく分かりますか。	小学校	58.0%	30.9%	8.6%	2.4%				88.9%	59.7%	29.4%	8.7%	2.3%			89.1%
		中学校	38.8%	39.1%	16.9%	5.2%				77.9%	39.3%	38.7%	17.0%	5.0%			77.9%
の	37 理科の授業はよく分かりますか。	小学校	66.4%	27.7%	4.7%	1.2%				94.0%	68.3%						

ねん くみ しめい

1 (1)から(21)では、あなたのせいかつのおすすめについてしつもんします。
マークシートかいたようしのあてはまるマークらん(すうじ)をくろくぬりつぶしてください。

No	しょうがっこう(1・2ねんせい) ちょうさこうもく	1	2	3	4	5	6	7
(1)	あさごはんをたべています。	ほぼ毎日	しゅうに4, 5日	しゅうに2, 3日	ほとんどたべていない			
(2)	2ばんのしつもんは、ありません。							
(3)	ちいきのおとなとあいさつしたり、はなしをしたりしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(4)	いえでてつだい(そうじ, しょくじのてつだいなど)をしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(5)	からだをうごかしてあそんだり, うんどう・スポーツをしたりしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(6)	ねているじかんは, だいたいどれくらいですか。(がっこうへいく日)	9じかんより多い	8じかんいじょう9じかんより少ない	7じかんいじょう8じかんより少ない	6じかんいじょう7じかんより少ない	6じかんより少ない		
(7)	月よう日から金よう日, テレビやDVD・ビデオを1日にどれくらいみえていますか。	30ぶんより少ない	30分いじょう1じかんより少ない	1じかんいじょう2じかんより少ない	2じかんいじょう3じかんより少ない	3じかんいじょう		
(8)	月よう日から金よう日, でんしゲームを1日にどれくらいしていますか。	していない	30ぶんより少ない	30ぶんいじょう1じかんより少ない	1じかんいじょう2じかんより少ない	2じかんいじょう		
(9)	月よう日から金よう日, けいたいでんわなどでつうわやメールなどを1日にどれくらいしていますか。	していない	30ぶんより少ない	30ぶんいじょう1じかんより少ない	1じかんいじょう2じかんより少ない	2じかんいじょう		
(10)	本をよむことが好きです。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(11)	1か月にがっこうやいえで本をどれくらいよみましたか。(きょうかしょ, さんこうしょ, マンガ本, ざっしはいれませんが)	10さついじょう	7~9さつ	4~6さつ	1~3さつ	0さつ		
(12)	しゅくだいをきちんとやっています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(13)	しゅくだいのほかにすすんでいえてべんきょうしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(14)	月よう日から金よう日, いえでは, 1日にどれくらいべんきょうをしていますか。(しゅくだい・かていきょうし・がくしゅうじゅくのがくしゅうはいれます。ピアノ・しゅうじ・水えいなどの「ならいごと」はいれませんが)	120ぶんいじょう	100ぶんいじょう120ぶんより少ない	80ぶんいじょう100ぶんより少ない	60ぶんいじょう80ぶんより少ない	40ぶんいじょう60ぶんより少ない	20ぶんいじょう40ぶんより少ない	20ぶんより少ない
(15)	土よう日や日よう日・しゅくじつには, いえでは, 1日にどれくらいべんきょうをしていますか。(しゅくだい・かていきょうし・がくしゅうじゅくのがくしゅうはいれます。ピアノ・しゅうじ・水えいなどの「ならいごと」はいれませんが)	120ぶんいじょう	100ぶんいじょう120ぶんより少ない	80ぶんいじょう100ぶんより少ない	60ぶんいじょう80ぶんより少ない	40ぶんいじょう60ぶんより少ない	20ぶんいじょう40ぶんより少ない	20ぶんより少ない
(16)	がくしゅうじゅくにかよったり, かていきょうしにおしえてもらったりしています。	しゅうに5日いじょう	しゅうに3, 4日	しゅうに1, 2日	していない			
(17)	17ばんのしつもんは、ありません。							
(18)	しょうらいのゆめやなりたいたいごとがあります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(19)	がくしゅうやせいかつのためあてをもつて, まい日をすごしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(20)	20ばんのしつもんは、ありません。							
(21)	じぶんにはよいところがあります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			

2 (22)から(46)では、がっこうでのおすすめについてしつもんします。
マークシートかいたようしのあてはまるマークらん(すうじ)をくろくぬりつぶしてください。

No	しょうがっこう(1・2ねんせい) ちょうさこうもく	1	2	3	4	5	6	7
(22)	がっこうせいかつはたのしい。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(23)	せんせいやともだちにほめられたりして, うれしいとおもうことがよくあります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(24)	ちいきやがっこうでせんせいがいのおとなからほめられたりして, うれしいとおもうことがよくあります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(25)	ともだちのよいところをみつけたり, はげましたりしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(26)	がっこうで, ともだちと力をあわせてがくしゅうしたり, かつどうしたりしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(27)	まちたんけんをして, いろいろなひとにあたり, おみせやこうえんのおすすめをしらべたりするがくしゅうは好きです。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(28)	ちいきのおとなからおはなしをきいて, わかったり, できたりすることがよくあります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(29)	こくごのべんきょうは好きですか。	好き	どちらかというとき	あまり好きではない	好きではない			
(30)	30ばんのしつもんは、ありません。							

(31)	さんすうのべんきょうはすきですか。	すき	どちらかという とすき	あまりすきでは ない	すきではない			
(32)	32ばんのしつもんは、ありません。							
(33)	33ばんのしつもんは、ありません。							
(34)	こくごのべんきょうはよくわかりますか。	よくわかる	だいたいわかる	わからないこと がおおい	ほとんどわから ない			
(35)	35ばんのしつもんは、ありません。							
(36)	さんすうのべんきょうはよくわかりますか。	よくわかる	だいたいわかる	わからないこと がおおい	ほとんどわから ない			
(37)	37ばんのしつもんは、ありません。							
(38)	38ばんのしつもんは、ありません。							
(39)	じゅぎょうで、じぶんのかんがえをすすんでつたえています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
(40)	じゅぎょうで、となりやちかくのともだちとはなしあうかつどうはすきです。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
(41)	いつものじゅぎょうでは、がくしゅうかだいがしめされている。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
(42)	いつものじゅぎょうでは、がくしゅうないようのまとめをおこなっている。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
(43)	いつものじゅぎょうでは、じゅぎょうのおわりのがくしゅうないようをふりかえるかつどうをおこなっている。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
(44)	いつものじゅぎょうでは、ともだちどうしてはなしあうかつどうをおこなっている。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
(45)	いつものじゅぎょうでは、じぶんのかんがえをはっぴょうするきかいがあります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
(46)	じゅぎょうのなかでわからないことがあったらどうすることがおおいですか。	じゅぎょうがお わってから、せ んせいにきく	そのばでせんせ いにきく	ともだちにきく	いえのひとにき く	じぶんでしらべ る	そのままにして おく	

3 (47)～(66)は、がっこうどくじのしつもんです。マークシートかいつようしのあてはまるマークらん(すうじ)をくろくぬりつぶしてください。

No	しょうがっこう(1・2ねんせい) ちょうさこうもく	1	2	3	4	5	6	7
(47)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(48)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(49)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(50)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(51)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(52)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(53)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(54)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(55)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(56)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(57)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(58)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(59)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(60)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(61)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(62)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(63)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(64)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(65)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(66)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7

いじょうでしつもんはおわりです。ありがとうございました。

年 組 氏名

1 (1)から(21)では、あなたの生活の様子について質問します。
マークシート回答用紙のあてはまるマーク欄(数字)を黒くぬりつぶしてください。

No	小学校(3～6年生)調査項目	1	2	3	4	5	6	7						
(1)	朝食を食べています。	ほぼ毎日	週に4, 5日	週に2, 3日	ほとんど食べていない									
(2)	下の<いろいろな食品の分類表>を見て答えてください。 この1週間をふりかえると、朝食では、黄・赤・緑の食品を毎日バランスよく食べています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
<いろいろな食品の分類表> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">① 黄の食品 (おもにエネルギーのもとになる食品)</td> <td>ごはん パン めん類 いも類 など</td> </tr> <tr> <td>② 赤の食品 (おもに体をつくる食品)</td> <td>たまご ハム 肉 魚 かまぼこ とうふ なつとう のり わかめ 牛乳など</td> </tr> <tr> <td>③ 緑の食品 (おもに体の調子を整える食品)</td> <td>キャベツ レタス 玉ねぎ もやし ねぎ ほうれん草 にんじん ピーマン などの野菜類 くだもの など</td> </tr> </table>		① 黄の食品 (おもにエネルギーのもとになる食品)	ごはん パン めん類 いも類 など	② 赤の食品 (おもに体をつくる食品)	たまご ハム 肉 魚 かまぼこ とうふ なつとう のり わかめ 牛乳など	③ 緑の食品 (おもに体の調子を整える食品)	キャベツ レタス 玉ねぎ もやし ねぎ ほうれん草 にんじん ピーマン などの野菜類 くだもの など							
① 黄の食品 (おもにエネルギーのもとになる食品)	ごはん パン めん類 いも類 など													
② 赤の食品 (おもに体をつくる食品)	たまご ハム 肉 魚 かまぼこ とうふ なつとう のり わかめ 牛乳など													
③ 緑の食品 (おもに体の調子を整える食品)	キャベツ レタス 玉ねぎ もやし ねぎ ほうれん草 にんじん ピーマン などの野菜類 くだもの など													
(3)	地域の大人とあいさつしたり、言葉をかわしたりしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(4)	家で手洗い(そうじ、食事の準備など)をしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(5)	体を動かして遊んだり、運動・スポーツをしたりしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(6)	すいみん時間はだいたいどれくらいですか。(学校へ行く日)	9時間より多い	8時間以上9時間より少ない	7時間以上8時間より少ない	6時間以上7時間より少ない	6時間より少ない								
(7)	ふだん(月～金曜日)、テレビやDVD・ビデオを1日にどれくらい見えていますか。	30分より少ない	30分以上1時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	2時間以上3時間より少ない	3時間以上								
(8)	ふだん(月～金曜日)、電子ゲーム(インターネットゲームをふくむ)を1日にどれくらいしていますか。	していない	30分より少ない	30分以上1時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	2時間以上								
(9)	ふだん(月～金曜日)、携帯電話などの通信機器で通話やメールなどを1日にどれくらいしていますか。	していない	30分より少ない	30分以上1時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	2時間以上								
(10)	本を読むことが好きです。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(11)	学校や家でこの1か月に本をどれくらい読みましたか。(教科書、参考書、マンガ本、雑誌をのぞきます。)	10冊以上	7～9冊	4～6冊	1～3冊	0冊								
(12)	宿題をきちんとやっています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(13)	宿題以外にも自主的に家で勉強しています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(14)	ふだん(月～金曜日)、家では、1日にどれくらい勉強していますか。(宿題・家庭教師・学習塾の学習はふくめます。ピアノ・習字・水泳などの「習いごと」はのぞきます。)	120分以上	100分以上120分より少ない	80分以上100分より少ない	60分以上80分より少ない	40分以上60分より少ない	20分以上40分より少ない	20分より少ない						
(15)	休日(土・日・祝日など)に、家では、1日にどれくらい勉強していますか。(宿題・家庭教師・学習塾の学習はふくめます。ピアノ・習字・水泳などの「習いごと」はのぞきます。)	120分以上	100分以上120分より少ない	80分以上100分より少ない	60分以上80分より少ない	40分以上60分より少ない	20分以上40分より少ない	20分より少ない						
(16)	学習塾に通ったり、家庭教師に教えてもらったりしています。	週に5日以上	週に3, 4日	週に1, 2日	していない									
(17)	学校で学んだことをふだんの生活の中で役立てています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(18)	将来の夢やつきたい仕事があります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(19)	学習や生活のめあてをもって、毎日を過ごしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(20)	学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(21)	自分にはよいところがあります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									

2 (22)から(46)では、学校での様子について質問します。
マークシート回答用紙のあてはまるマーク欄(数字)を黒くぬりつぶしてください。

No	小学校(3～6年生)調査項目	1	2	3	4	5	6	7
(22)	学校生活は楽しい。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(23)	やっていることを先生や友達に認められて、うれしいと感じることがよくあります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(24)	地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがよくあります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(25)	友達のよいところを見つかったり、友達が落ちこんでいるとき、はげましたりしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(26)	学校生活で、友達と力を合わせて学習したり、活動したりしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(27)	地域のこと(自然・歴史・産業など)にふれたり、調べたりする学習は好きです。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(28)	地域の大人から話やアドバイスを聞いて、分かったり、できたりすることがよくあります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(29)	国語の勉強は好きですか。	好き	どちらかという と好き	あまり好きではない	好きではない			
(30)	社会の勉強は好きですか。	好き	どちらかという と好き	あまり好きではない	好きではない			

学校での様子	(31) 算数の勉強は好きですか。	好き	どちらかという と好き	あまり好きでは ない	好きではない			
	(32) 理科の勉強は好きですか。	好き	どちらかという と好き	あまり好きでは ない	好きではない			
	(33) 外国語活動の勉強は好きですか。(小学3・4年生のみ) 外国語の勉強は好きですか。(小学5・6年生のみ)	好き	どちらかという と好き	あまり好きでは ない	好きではない			
	(34) 国語の授業はよく分かりますか。	よく分かる	だいたい分かる	分からないこと が多い	ほとんど分から ない			
	(35) 社会の授業はよく分かりますか。	よく分かる	だいたい分かる	分からないこと が多い	ほとんど分から ない			
	(36) 算数の授業はよく分かりますか。	よく分かる	だいたい分かる	分からないこと が多い	ほとんど分から ない			
	(37) 理科の授業はよく分かりますか。	よく分かる	だいたい分かる	分からないこと が多い	ほとんど分から ない			
	(38) 外国語の授業はよく分かりますか。(小学5・6年生のみ)	よく分かる	だいたい分かる	分からないこと が多い	ほとんど分から ない			
	(39) 授業で、自分の考えを進んで伝えていきます。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
	(40) 授業で、ペアやグループで話し合う活動は好きです。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
	(41) ふだんの授業では、学習課題が示されている。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
	(42) ふだんの授業では、学習内容のまとめを行っている。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
	(43) ふだんの授業では、授業の終末に学習内容をふり返る活動を行っている。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
	(44) ふだんの授業では、友達同士で話し合う活動を行っている。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
	(45) ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会があります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
	(46) 授業の中で分からないことがあったらどうすることが多いですか。	授業が終わって から、先生にき く	その場で先生に きく	友達にきく	家の人にきく	自分で調べる	そのままに しておく	

3 (47)から(66)は、学校独自の質問です。
マークシート回答用紙のあてはまるマーク欄(数字)を黒くぬりつぶしてください。

No	小学校(3~6年生)調査項目	1	2	3	4	5	6	7
(47)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(48)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(49)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(50)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(51)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(52)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(53)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(54)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(55)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(56)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(57)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(58)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(59)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(60)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(61)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(62)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(63)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(64)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(65)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(66)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7

以上で質問は終わりです。ありがとうございました。

年 組 氏名

1 (1)から(21)では、あなたの生活の様子について質問します。
マークシート回答用紙のあてはまるマーク欄(数字)を黒くぬりつぶしてください。

No	中学校調査項目	1	2	3	4	5	6	7						
(1)	朝食を食べています。	ほぼ毎日	週に4, 5日	週に2, 3日	ほとんど食べていない									
(2)	下の<いろいろな食品の分類表>を見て答えてください。 この1週間をふりかえると、朝食では、黄・赤・緑の食品を毎日バランスよく食べています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
<いろいろな食品の分類表> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>① 黄の食品 (おもにエネルギーのもとになる食品)</td> <td>ごはん パン めん類 いも類 など</td> </tr> <tr> <td>② 赤の食品 (おもに体をつくる食品)</td> <td>たまご ハム 肉 魚 かまぼこ とうふ なつとう のり わかめ 牛乳など</td> </tr> <tr> <td>③ 緑の食品 (おもに体の調子を整える食品)</td> <td>キャベツ レタス 玉ねぎ もやし ねぎ ほうれん草 にんじん ピーマン などの野菜類 くだもの など</td> </tr> </table>		① 黄の食品 (おもにエネルギーのもとになる食品)	ごはん パン めん類 いも類 など	② 赤の食品 (おもに体をつくる食品)	たまご ハム 肉 魚 かまぼこ とうふ なつとう のり わかめ 牛乳など	③ 緑の食品 (おもに体の調子を整える食品)	キャベツ レタス 玉ねぎ もやし ねぎ ほうれん草 にんじん ピーマン などの野菜類 くだもの など							
① 黄の食品 (おもにエネルギーのもとになる食品)	ごはん パン めん類 いも類 など													
② 赤の食品 (おもに体をつくる食品)	たまご ハム 肉 魚 かまぼこ とうふ なつとう のり わかめ 牛乳など													
③ 緑の食品 (おもに体の調子を整える食品)	キャベツ レタス 玉ねぎ もやし ねぎ ほうれん草 にんじん ピーマン などの野菜類 くだもの など													
(3)	地域の大人とあいさつしたり、言葉をかわしたりしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(4)	家で手伝い(そうじ、食事の準備など)をしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(5)	体を動かして遊んだり、運動・スポーツをしたりしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(6)	すいみん時間はだいたいどれくらいですか。(学校へ行く日)	9時間より多い	8時間以上9時間より少ない	7時間以上8時間より少ない	6時間以上7時間より少ない	6時間より少ない								
(7)	ふだん(月～金曜日)、テレビやDVD・ビデオを1日にどれくらい見えていますか。	30分より少ない	30分以上1時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	2時間以上3時間より少ない	3時間以上								
(8)	ふだん(月～金曜日)、電子ゲーム(インターネットゲームをふくむ)を1日にどれくらいしていますか。	していない	30分より少ない	30分以上1時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	2時間以上								
(9)	ふだん(月～金曜日)、携帯電話などの通信機器で通話やメールなどを1日にどれくらいしていますか。	していない	30分より少ない	30分以上1時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	2時間以上								
(10)	本を読むことが好きです。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(11)	学校や家でこの1か月に本をどれくらい読みましたか。(教科書、参考書、マンガ本、雑誌をのぞきます。)	10冊以上	7～9冊	4～6冊	1～3冊	0冊								
(12)	宿題をきちんとやっています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(13)	宿題以外にも自主的に家で勉強しています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(14)	ふだん(月～金曜日)、家では、1日にどれくらい勉強していますか。(宿題・家庭教師・学習塾の学習はふくめます。ピアノ・習字・水泳などの「習いごと」はのぞきます。)	120分以上	100分以上120分より少ない	80分以上100分より少ない	60分以上80分より少ない	40分以上60分より少ない	20分以上40分より少ない	20分より少ない						
(15)	休日(土・日・祝日など)に、家では、1日にどれくらい勉強していますか。(宿題・家庭教師・学習塾の学習はふくめます。ピアノ・習字・水泳などの「習いごと」はのぞきます。)	120分以上	100分以上120分より少ない	80分以上100分より少ない	60分以上80分より少ない	40分以上60分より少ない	20分以上40分より少ない	20分より少ない						
(16)	学習塾に通ったり、家庭教師に教えてもらったりしています。	週に5日以上	週に3, 4日	週に1, 2日	していない									
(17)	学校で学んだことをふだんの生活の中で役立てています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(18)	将来の夢やつきたい仕事があります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(19)	学習や生活のめあてをもって、毎日を過ごしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(20)	学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									
(21)	自分にはよいところがあります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない									

2 (22)から(46)では、学校での様子について質問します。
マークシート回答用紙のあてはまるマーク欄(数字)を黒くぬりつぶしてください。

No	中学校調査項目	1	2	3	4	5	6	7
(22)	学校生活は楽しい。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(23)	やっていることを先生や友達に認められて、うれしいと感じることがよくあります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(24)	地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがよくあります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(25)	友達のよいところを見ついたり、友達が落ちこんでいるとき、はげましたりしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(26)	学校生活で、友達と力を合わせて学習したり、活動したりしています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(27)	地域のこと(自然・歴史・産業など)にふれたり、調べたりする学習は好きです。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(28)	地域の大人から話やアドバイスを聞いて、分かったり、できたりすることがよくあります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			
(29)	国語の勉強は好きですか。	好き	どちらかという と好き	あまり好きではない	好きではない			
(30)	社会の勉強は好きですか。	好き	どちらかという と好き	あまり好きではない	好きではない			

学校での様子	(31) 数学の勉強は好きですか。	好き	どちらかという と好き	あまり好きでは ない	好きではない			
	(32) 理科の勉強は好きですか。	好き	どちらかという と好き	あまり好きでは ない	好きではない			
	(33) 外国語の勉強は好きですか。	好き	どちらかという と好き	あまり好きでは ない	好きではない			
	(34) 国語の授業はよく分かりますか。	よく分かる	だいたい分かる	分からないこと が多い	ほとんど分から ない			
	(35) 社会の授業はよく分かりますか。	よく分かる	だいたい分かる	分からないこと が多い	ほとんど分から ない			
	(36) 数学の授業はよく分かりますか。	よく分かる	だいたい分かる	分からないこと が多い	ほとんど分から ない			
	(37) 理科の授業はよく分かりますか。	よく分かる	だいたい分かる	分からないこと が多い	ほとんど分から ない			
	(38) 外国語の授業はよく分かりますか。	よく分かる	だいたい分かる	分からないこと が多い	ほとんど分から ない			
	(39) 授業で、自分の考えを進んで伝えています。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
	(40) 授業で、ペアやグループで話し合う活動は好きです。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
	(41) ふだんの授業では、学習課題が示されている。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
	(42) ふだんの授業では、学習内容のまとめを行っている。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
	(43) ふだんの授業では、授業の終末に学習内容をふり返る活動を行っている。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
	(44) ふだんの授業では、友達同士で話し合う活動を行っている。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
	(45) ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会があります。	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはま らない	あてはまらない			
	(46) 授業の中で分からないことがあったらどうすることが多いですか。	授業が終わって から、先生にき く	その場で先生に きく	友達にきく	家の人にきく	自分で調べる	そのままに しておく	

3 (47)から(66)は、学校独自の質問です。
マークシート回答用紙のあてはまるマーク欄(数字)を黒くぬりつぶしてください。

No	中学校調査項目	1	2	3	4	5	6	7
(47)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(48)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(49)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(50)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(51)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(52)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(53)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(54)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(55)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(56)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(57)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(58)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(59)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(60)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(61)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(62)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(63)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(64)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(65)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7
(66)	各学校で入力してください。入力する際は、ダブルクリックかF2ボタンを押します。	1	2	3	4	5	6	7

以上で質問は終わりです。ありがとうございました。

センターだより

第 204 号

新潟市立総合教育センター

〒959-0492 新潟市西蒲区旗屋 585 番地 1

TEL0256-88-7444 Fax0256-88-7517

<http://www.netin.niigata.niigata.jp/>

第 204 号 2020 (令和 2 年) 1. 17

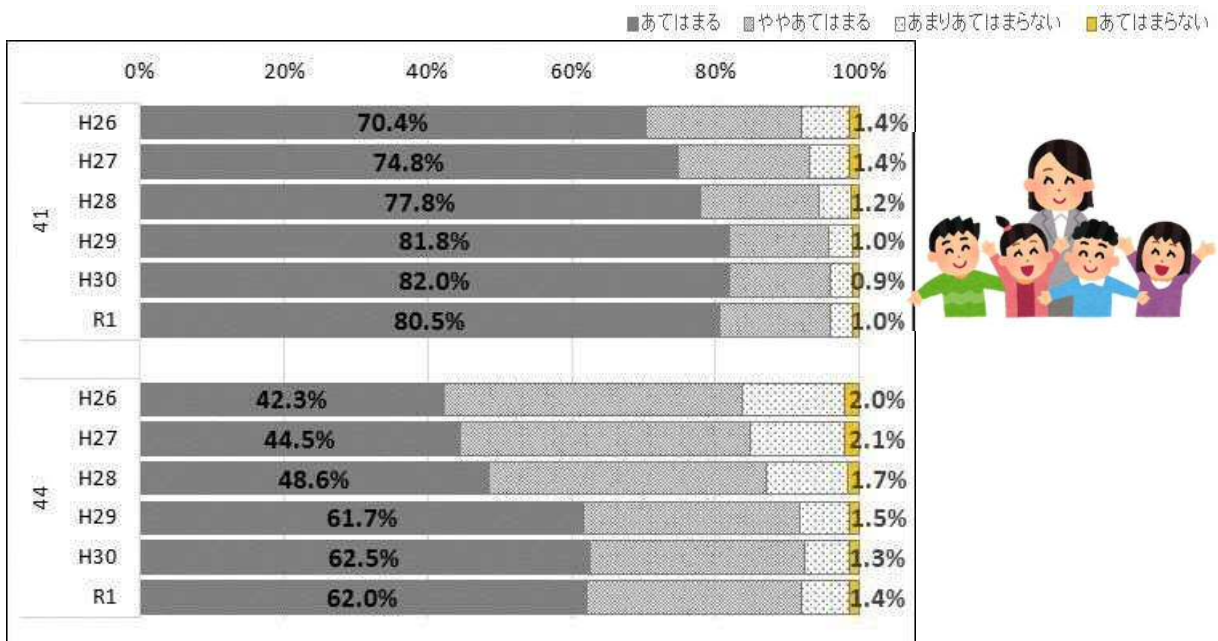
生活・学習意識調査

【実施時期】令和元年 11 月 14 日(木)~11 月 22 日(金)
 【調査対象数(有効実数)】小学生 33,790 人 中学生 18,011 人

11 月に実施した生活・学習意識調査の集計結果から、新潟市小中学校の児童生徒全体の傾向が見えてきました。

1 6 年間の推移 (小学校)

質問 41 ふだんの授業では、学習課題が示されている。
 質問 44 ふだんの授業では、友達同士で話し合う活動を行っている。



質問 42 ふだんの授業では、最後に学習内容を ふり返る活動 (まとめ) を行っている。(～H30)

質問 42 ふだんの授業では、学習内容の まとめ を行っている。

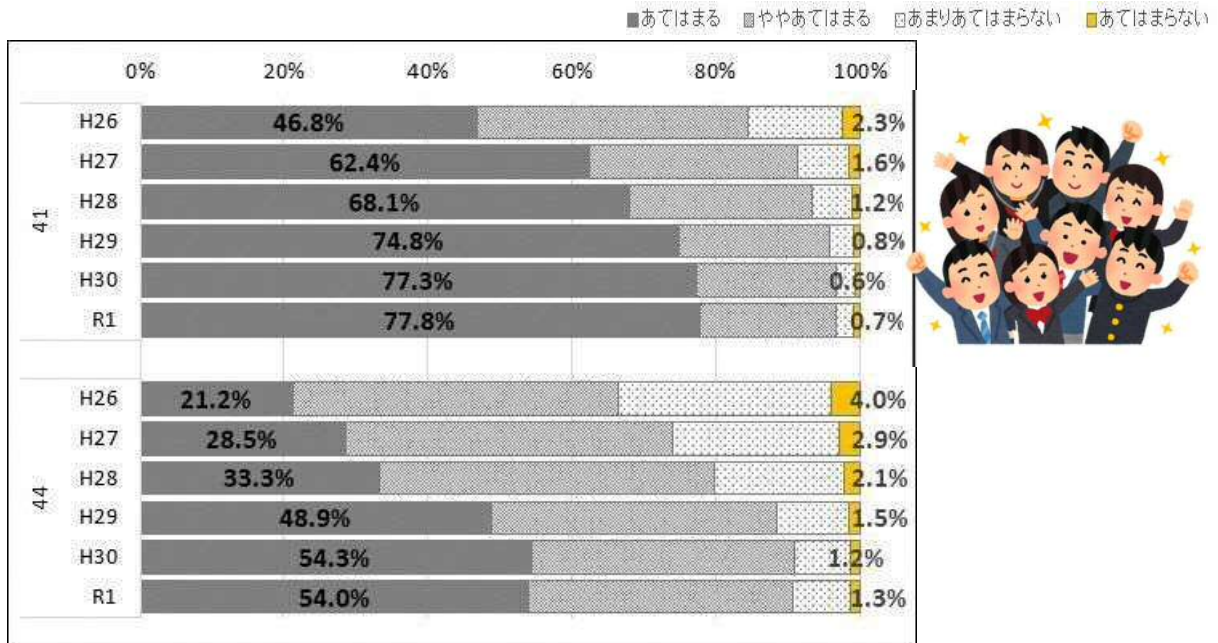
質問 43 ふだんの授業では、授業の終末に学習内容を ふり返る活動 を行っている。(R1～)



小学校では、早くから「新潟市の授業づくり」に基づいた授業が実践されてきました。今年度から、「まとめ」と「ふり返る活動」を分けて調査しています。「まとめ」に比べて「ふり返る活動」については、子どもたちに振り返りの良さを実感してもらえるよう、工夫・改善の余地があることが分かります。

2 6年間の推移（中学校）

質問 41 ふだんの授業では、学習課題が示されている。
 質問 44 ふだんの授業では、友達同士で話し合う活動を行っている。

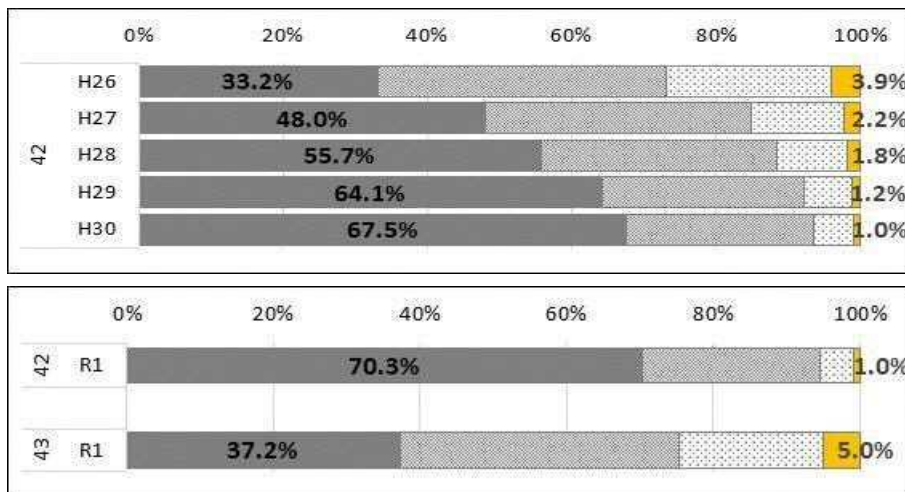


質問 42 ふだんの授業では、最後に学習内容をふり返る活動（まとめ）を行っている。（～H30）



質問 42 ふだんの授業では、学習内容のまとめを行っている。

質問 43 ふだんの授業では、授業の終末に学習内容をふり返る活動を行っている。（R1～）



中学校では、ここ数年で、急速に「新潟市の授業づくり」が浸透してきたことが分かります。

今後も、小学校で身に付けた「学び方」を、中学校でも確実に引き継いでいくことが重要です。

この6年間の推移を見ると、小学校でも中学校でも、「新潟市の授業づくり」を基に、主体的・協働的な学びを実現する「学習課題とまとめ・振り返り」のある授業が着実に進んできたことが分かります。

児童生徒に、「主体的・対話的で深い学び」を促していくためにも、優れた学習課題を示すこと、学習内容を整理するまとめを行うこと、自らの学びの振り返り場面を設定することが重要です。

子どもたちの輝く瞳を目指し、これからも授業改善に取り組んでいきましょう！



協 議 会

教育ビジョン第4期実施計画案の事業・指標の設定方法について

1 事業の設定について

- 次の3つの視点から事業を設定する。

- ・ 施策の説明と整合が取れている事業か。
- ・ 教育委員会として市民に伝えたい事業か。
- ・ 教育ビジョンのPDCAに位置付けて向上を図りたい事業か。

【補足】

- (1) 市民や子どもにとってのメリットが伝わるとよい。教育委員会内部だけの取組となっていないか、市民にとって必要な情報なのかを踏まえて設定する。
- (2) 複数の事業で、同じねらいの達成を目指す場合は、各事業に枝番を付けて表記する。この場合、目指す姿の指標は、最後の事業にあればよい。「～の実施回数」等の指標はあり得る。

例：「3（3）情報教育の充実とICTを活用した教育の推進」の事業を同じねらいの達成を目指す一連の事業としてとらえると・・・。

現表記	新表記	事業名	指標
事業1	事業1①	学校教育情報化推進事業	計画策定等
事業2	事業1②	タブレット等ICT活用に係る教職員研修	研修会の回数
事業3	事業1③	プログラミング教育に係る教職員研修	研修の実施回数
事業4	事業1④	ICT機器を活用した学習活動の充実	目指す子どもの姿

最後の事業に目指す姿があればよい。↑

2 指標の設定について

○ 次の2つの視点から設定する。

- ・事業のねらいと整合が取れていること。
- ・(可能な限り) 目指す市民や子どもの姿で設定すること。

【補足】

(1) 事業のねらいが複数ある場合は、中心となるねらいに対する指標とする。

(2) (可能な限り) 事業で目指す市民や子どもの姿を指標で記述する。

ア 事業の対象者の成長や向上を図る指標とする。(目標指標)

- * 対象者は、子ども、市民、教育関係職員…
- * アンケート等を用いたい。(理解度と活用度等)

イ アについて、可能な限り数値目標として示す。

- ×の例 事業 … 研修会を開催し、職員の意識・技能を高める。
指標 … 研修会を年3回開催する。
- の例 事業 … 研修会を開催し、職員の意識・技能を高める。
指標 … 児童アンケートで「PCを使って、より伝わりやすい説明ができた」と答える児童の割合が80%

ウ アでない場合は、事業推進の対象者を指導支援する教育職員の成長 or 向上を図る指標とする。(方策の指標)

- * 対象者は、教職員…
- * アンケート等を用いたい。

エ その他

- * 年により実績数値が上下する場合、過去5年程度の平均数値に基づき、現状や指標を設定してもよい。
- * 「前年度を上回る」「前年度の実績を踏まえて毎年度設定」という指標の場合でも、最終年度(2024年度)は達成目標として数値を明記する。

(3) 数値目標として示すことがむずかしい場合、文章表記も可能である。

- * 例、「開催」「実施」「設置」など
- * 但し、その場合は注釈を付し、どのような「開催」「実施」「設置」であるかを説明する。

(4) 到達目標として、毎年、「100, 100, 100…」が続く場合、注釈を付し、なぜ、到達目標として表記する必要があるのかを説明する。

令和2年2月4日

新潟市 教育ビジョン

第4期実施計画(案)

(令和2～6年度)

【第4期実施計画の中心的な考え方のテーマ】

これからの社会をたくましく生き抜く力の育成
～学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり～

令和2年3月

新潟市教育委員会

教育長卷頭言

目 次

I	第4期実施計画の策定に当たって	1
1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置づけ	1
3	計画の期間	1
4	計画の対象事業	1
II	施策体系	2
III	基本構想	2
1	基本目標	2
2	目指す方向	2
IV	基本構想の構造図	3
V	基本計画	4
1	中心的な考え方	4
2	12の基本施策と34の施策	8
3	これからの社会をたくましく生き抜く力を育成する 5つの視点と重点施策	9
VI	実施計画	11
1	第4期実施計画体系図	11
2	施策別計画	15
基本施策 1	確かな学力の向上	16
基本施策 2	豊かな心と健やかな身体の育成	21
基本施策 3	創造性に富み、世界と共に生きる力の育成	26
基本施策 4	共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進	31
基本施策 5	校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり	32
基本施策 6	人権を守り共に支え合う社会の推進	33
基本施策 7	家庭教育の充実と子育て支援	35
基本施策 8	人生100年時代を見据えた循環型生涯学習の推進	37
基本施策 9	地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進	39
基本施策 10	学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進	42
基本施策 11	学校教育・生涯学習環境の基盤づくり	44
基本施策 12	市民に信頼される教育関係職員の育成	46

資 料

(1)	語句説明	49
(2)	新潟市教育ビジョン推進体制	55
(3)	新潟市教育ビジョン推進本部設置要綱	56
(4)	新潟市教育ビジョン推進委員会開催要綱	57

I 第4期実施計画の策定に当たって

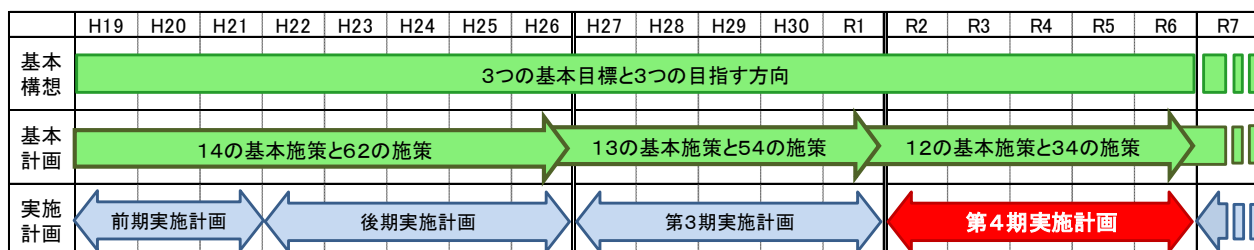
1 計画策定の趣旨

本市は、政令指定都市移行を翌年に控えた平成18年度に「新潟市教育ビジョン 基本構想・基本計画」（以下、「教育ビジョン」）を策定しました。この教育ビジョンでは、「政令市新潟」が目指すべき将来像を描く中で、次代の新潟を支え、世界に羽ばたく心豊かな子どもを育み、市民が学び育つ社会づくりのための、本市の教育の方向とあり方を明確にしました。

また、前期実施計画（平成19～21年度）、後期実施計画（平成22～26年度）、第3期実施計画（平成27～令和元年度）を定め、「教育ビジョン」に沿った取組を着実に進めてきました。

特に、「教育ビジョン」で示した「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり」は、13か年に渡る施策事業の推進を通し、学校と地域が協働する取組として注目されるものとなりました。

この度、第3期実施計画の計画期間が終了するに当たり、これまでの計画の実施状況に加え、子どもが置かれた生活状況や社会情勢の変化などを踏まえて、基本計画において新たに「中心的な考え方」を設定し、その実現に向けて施策を整理しました。第4期実施計画は、基本計画を受け、実施する事業計画を示したもので、次代の新潟市を担う人づくりを推進する指針とします。



2 計画の位置づけ

この「教育ビジョン」の第4期実施計画は、教育基本法第17条第2項に規定される、地方公共団体が策定する教育の振興のための施策に関する基本的な計画として策定します。

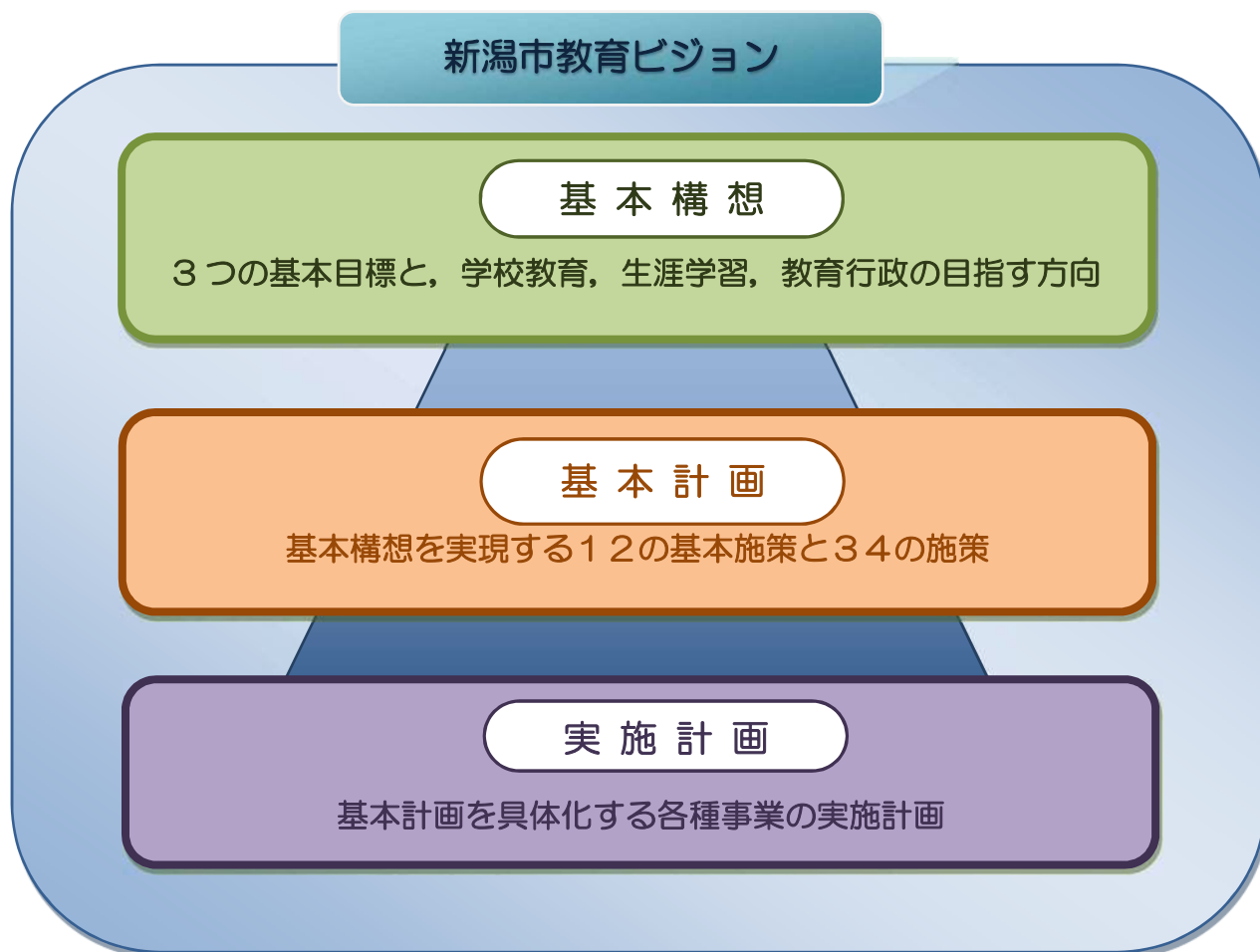
3 計画の期間

実施計画の期間は、令和2年度から令和6年度までの5か年とし、教育ビジョン基本構想・基本計画に基づいて実施します。

4 計画の対象事業

教育委員会が現在所管している、市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校における教育と、幼児から高齢者までの生涯学習全般において、「教育ビジョン」の基本施策に基づいて取り組む事業を対象にしています。

Ⅱ 施策体系



Ⅲ 基本構想

1 基本目標

- 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子ども
- 生涯を通じて学び育つ、創造力と人間力あふれる新潟市民
- 自立した学びと開かれた学びを支援する学習環境

2 目指す方向

(1) 学校教育の方向

- ・自分の力に自信をもち、地域を誇れる子ども
- ・「授業力」「組織マネジメント力」「人間力」を備え、市民感覚に富んだ教師
- ・校種間、学校間連携と外部の力を活かした学校づくり
- ・地域・保護者・学校が共に学校教育を考える参画型システムの深化

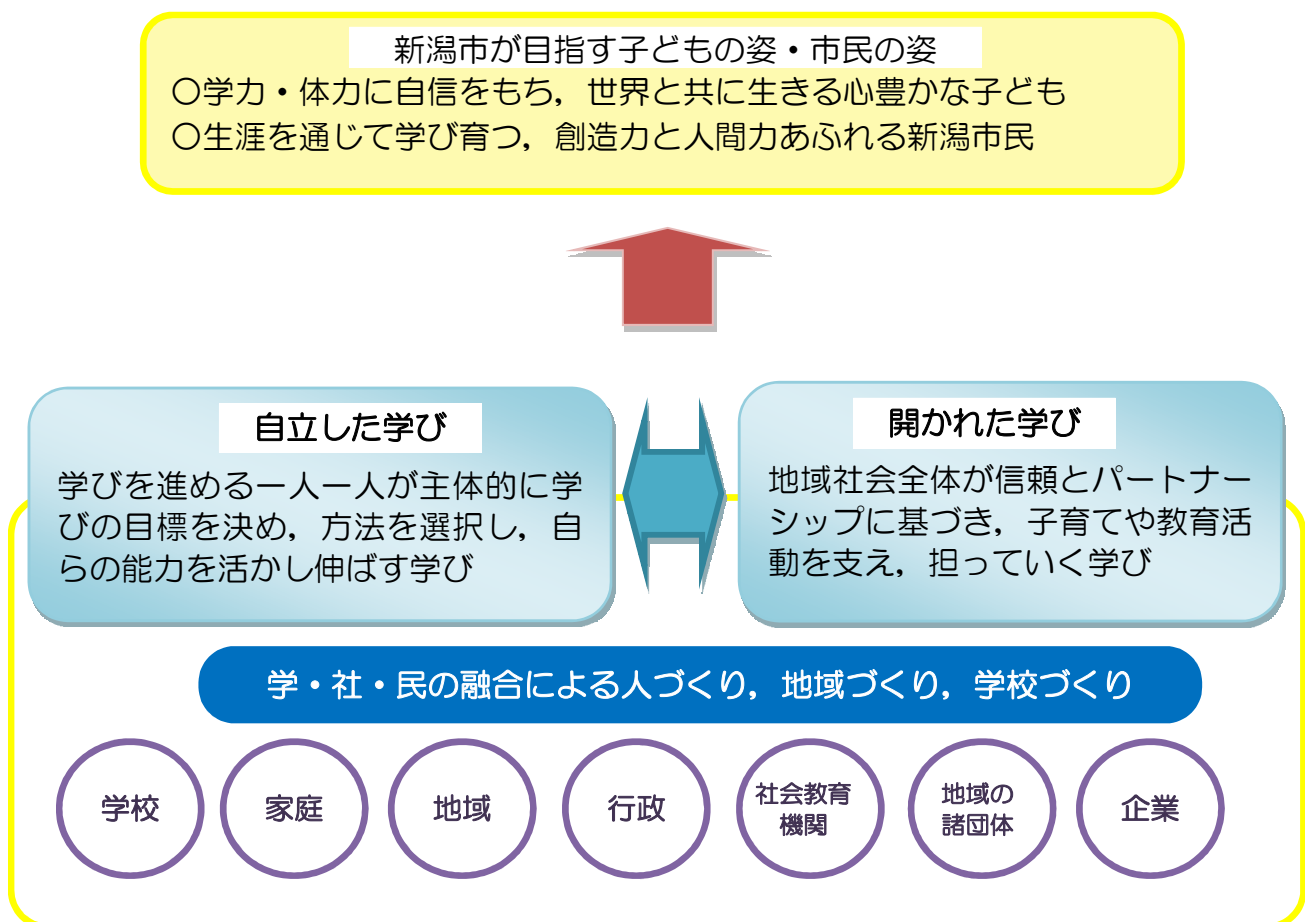
(2)生涯学習の方向

- ・公民館や図書館などの学びの場を核とした、絆づくりと活力あるコミュニティの形成
- ・現代的・社会的課題やライフステージなど、一人一人の多様なニーズに応じた学習機会の充実
- ・学校での地域活動拠点づくりや職員の資質向上など、生涯学習・社会教育の推進を支える基盤整備

(3)教育行政の方向

- ・生涯にわたる教育や学習に対するニーズと課題に対応する現場を重視した体制づくり
- ・学・社・民の融合による教育の推進と学びのセーフティネットの構築
- ・地域の特色を磨き、伸ばす、学びと育ちへの支援

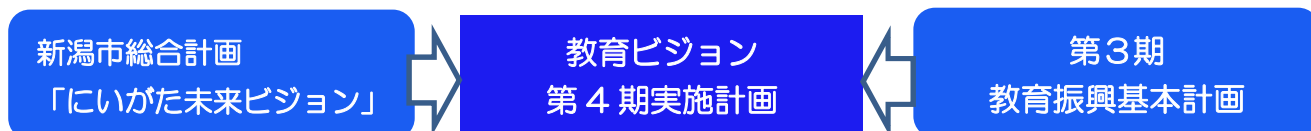
IV 基本構想の構造図



V 基本計画

1 中心的な考え方

第4期実施計画の策定に当たっては、^{※1}第3期実施計画の成果と課題を踏まえ、取組の精選や重点化を図りました。また、その際には、国の第3期教育振興基本計画を十分に参酌するとともに、本市の総合計画「にいがた未来ビジョン」の内容とも調整を図りました。



《中心的な考え方のテーマ》

これからの社会をたくましく生き抜く力の育成
～学・社・民の融合による人づくり，地域づくり，学校づくり～

「これからの社会」とは、人口減少や高齢化、グローバル化の進展に伴う外国人とのかわりの増加、超スマート社会の実現など、これまで誰も経験したことのない社会です。本市においても、^{※2}若者の県外流出等による人口減少や高齢化により、地域の活性化とそれを推し進める人材の確保や育成が必要となってきます。

学びを活かしたり、他者と協働したりしながら、課題解決や自己実現に向けて、様々なことに挑戦し続けるなど、これからの社会を「たくましく生き抜く力」を育てることで、主体的に物事を成し遂げることができる人材を学・社・民が一体となって育成していきます。

■本市が考える「たくましく生き抜く力」とは

学校教育においては、目標に向かって自らの学びを活かしたり、他者と協働したりしながら、様々なことに挑戦し続ける力、また、その過程で自分を振り返り、自分の成長を見出す力。

生涯学習においては、いくつになっても、何度でも学びに向かおうとする意欲をもち、新たな自分を発見したり、生きがいを見つけたりする力、また、自分の学習成果を更なる活動に活かそうとする力。

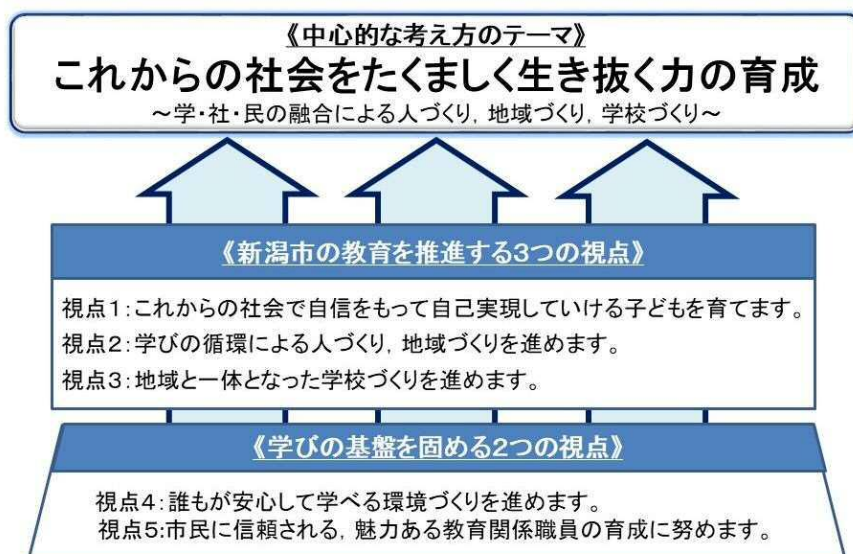
《5つの視点》 第4期実施計画では、次の視点から重点的な取組を行います。

新潟市の教育を推進する3つの視点

- 【視点1】 これからの社会で自信をもって自己実現していける子どもを育てます。
- 【視点2】 学びの循環による人づくり，地域づくりを進めます。
- 【視点3】 地域と一体となった学校づくりを進めます。

学びの基盤を固める2つの視点

- 【視点4】 誰もが安心して学べる環境づくりを進めます。
- 【視点5】 市民に信頼される、魅力ある教育関係職員の育成に努めます。



これからの社会をたくましく生き抜く力を育てていくためには、生まれ育った環境に左右されず、誰もが安心して学ぶことができるよう「学びの基盤を固める2つの視点」の取組を着実に実施することが基本となります。その上で、「新潟市の教育を推進する3つの視点」の取組を以下のように推進します。

《新潟市の教育を推進する3つの視点》

【視点1】 これからの社会で自信をもって自己実現していける子どもを育てます。

主体的に物事を成し遂げようとするためには、自分で自分の価値を認め、自分を大切にしようとする気持ち、すなわち自己肯定感が重要です。学校教育においては、これまで、子どもの学習活動の中で、認め合いを重視し、子どもの自己肯定感を高めるように努めてきました。

※³新潟市生活・学習意識調査によると、本市の小中学生は、大人や友達に認められる経験をしていると回答する割合が、学年の別なく高い水準にあります。一方で、学年が進むにつれ、自分に良いところがあると回答する割合が低くなる傾向が見られます。そこで、他者から認められることに加え、自分の取組を振り返り、成長を実感させることを大切にします。子どもが目標に向かって、失敗からの学びも糧とし、挑戦し続ける体験を通して子どもの自己肯定感を高めていきます。

また、人とのかかわりの中で自己実現していくために、互いに考えを伝え合い、合意形成したり課題を解決したりするコミュニケーション能力は、これからの社会では、ますます必要な力となります。幼稚園教育要領・学習指導要領の趣旨を踏まえた着実な実

践により、言葉を用いたコミュニケーションだけでなく、道具としてスマートフォンやパソコンを用いたり、行動を通して思いを伝えたりするなど、柔軟にコミュニケーションすることができる力を高めることを通じて、人とのかかわりの中で自己実現していける子どもを育てていきます。

このような取組は、子どもたちが互いに認め合い、助け合い、期待をかけ合い、高め合う温かい学校・学級の支持的風土を醸成することにより、一層の成果が期待されます。学校生活の様々な場面で学校・学級の支持的風土づくりを推進します。

【視点2】 学びの循環による人づくり，地域づくりを進めます。

生涯学習においては、これまでも、市民のニーズに応じて様々な学びの場を提供してきました。^{※4}人生100年時代の到来を見据え、「ともに学び、育ち、創る」生涯学習社会の一層の充実が求められています。社会教育や生涯学習活動で一人一人の興味・関心を深め、そこで培った能力や知識・経験を活かし、ボランティア活動、社会活動等に取り組み、それらを通してさらに学びを深め、新たな学習活動に進むなど、学習成果をさらなる活動に活かすことが大切です。そのために、誰もが、いくつになっても、何度でも学ぶことができ、新たな自分を発見したり、生きがいを見つけたりすることができる場を提供していきます。また、自ら学んだ成果を地域で活かし、学びを継承していくことで、新たなつながりを広げ、地域課題の解決や地域の活性化を推し進める人材の育成を進めることができます。

学習成果を人づくりや地域づくりに活かす循環型生涯学習の推進に一層力を入れていきます。

【視点3】 地域と一体となった学校づくりを進めます。

^{※5}本市においては、「学・社・民の融合による人づくり，地域づくり，学校づくり」の取組の推進によって、地域の力を活かした教育活動が行われてきました。児童生徒の学びの充実だけでなく、安心安全や学校経営に対する評価など、様々な場面で地域と学校が深くかかわっています。

本市では、その取組で得られた成果を最大限に活かし、地域と学校が目標を共有し、一体となった取組を進めることで、より多くの人材が学校づくりに参画できるようにし、子どもの学習活動をますます豊かなものにしていきます。

《学びの基盤を固める2つの視点》

【視点4】 誰もが安心して学べる環境づくりを進めます。

前向きな気持ちで充実した学びを実現していくためには、安心して学びに向かうことができる環境が整っていることが大切です。そのためには、経済的な支援や就学支援、特別支援教育の推進、安心安全な学びの場づくり、健康づくりの支援、学びの機会の提

供など、ソフト面とハード面の両面から、一人一人の困り感や意欲に応じた取組や学びに向かう土台づくりが必要です。

多様なニーズを踏まえた幅広い施策を、継続的に、着実に実施することで、これからの社会をたくましく生き抜く力を育むための環境を整えていきます。

【視点5】 市民に信頼される、魅力ある教育関係職員の育成に努めます。

これからの社会をたくましく生き抜く力を育成していくためには、教育関係職員が、市民に信頼され、魅力ある職員であることが大切です。社会の変化や職員のキャリアを踏まえた研修を実施し、一人一人の資質・能力を高めるとともに、教育関係職員の働き方改革を進め、一人一人がその力を十分発揮できるようにします。

***注 釈**

※1：学識経験者、小中学校長等からなる教育ビジョン推進委員会では、教育委員会全所属による評価を受け、実施計画とその進捗状況に対して意見を述べたり助言をしたりしている。また、その結果をホームページで公開している。

※2：職業を理由にした転出者数では、20～24歳の県外転出が顕著であり、魅力ある産業・雇用の場の確保が課題になっている。また、15～19歳の世代における学業を理由とした県外転出が顕著である。本市で誇りをもって学ぶことができる環境づくりが課題となる。(にいがた未来ビジョン)

※3：本市の小中学生を対象とした新潟市生活・学習意識調査によれば、「やっていることを先生や友達に認められて、うれしいと感じることがよくあります」に「あてはまる」と回答した子どもは、どの学年でもおおむね50%台で、学年ごとの大きな違いは見られない。(「ややあてはまる」を含めると小学校1年生で87.8%、中学校3年生で87.0%) 認められた対象が地域の大人などの場合も同傾向である。一方、「自分にはよいところがあります」に「あてはまる」と回答した子どもの割合は、小学校1年生では67.2%で、学年が進むにつれて減少し、中学校3年生では31.4%になっている。(「ややあてはまる」を含めると小学校1年生で90%、中学校3年生で73.4%) 数字は平成30年度の調査による。例年同様の傾向が見られる。

※4：第31期新潟市社会教育委員会議・建議より。

※5：全ての小中学校に地域教育コーディネーターが配置され、地域の力を活かした教育活動が行われている。

2 12の基本施策と34の施策

基本目標及び中心的な考え方を実現するために、これまでの13の基本施策と54の施策を整理し、12の基本施策とそれに基づく34の施策を設定しています。

これからの社会をたくましく生き抜く力の育成 ～学・社・民の融合による人づくり，地域づくり，学校づくり～

基本施策(12)	施策(34)	重点施策
1. 確かな学力の向上	1-1 資質・能力を育む授業づくりの推進	視点1
	1-2 学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進	視点1
	1-3 実感を伴って学ぶアグリ・スタディ・プログラムの推進	
	1-4 読書活動の推進と新聞活用の充実	
2. 豊かな心と健やかな身体の育成	2-1 いのちの教育・心の教育の推進	視点4
	2-2 自立を促す生徒指導の推進	視点4
	2-3 体験活動の充実	
	2-4 体力づくりの推進	
	2-5 健康づくり・食育の推進	視点4
	2-6 青少年の健全育成の推進	
3. 創造性に富み，世界と共に生きる力の育成	3-1 地域学習の充実	
	3-2 外国語教育・国際理解教育の充実	視点1
	3-3 情報教育の充実とICTを活用した教育の推進	視点1
	3-4 社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進	
	3-5 帰国・外国人園児児童生徒への教育の推進	
4. 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進	4-1 子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進	視点4
5. 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり	5-1 就学前から義務教育修了までの一貫した教育の推進	
6. 人権を守り共に支え合う社会の推進	6-1 人権教育・同和教育の推進，男女平等教育の推進	
7. 家庭教育の充実と子育て支援	7-1 家庭教育・子育て支援の充実	視点2
	7-2 乳幼児期からの読書活動推進	視点2
8. 人生100年時代を見据えた循環型生涯学習の推進	8-1 学び育つ各世代への支援	視点2
	8-2 学習成果を活かす活動への支援	視点2
9. 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進	9-1 地域と共にある学校づくりの推進	視点3
	9-2 広報広聴活動の推進	
	9-3 地域人材や高等教育機関，企業等との連携の推進	
10. 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進	10-1 保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進	視点4
	10-2 教育の機会均等を図るための取組の推進	視点4
11. 学校教育・生涯学習環境の基盤づくり	11-1 学校施設の整備	
	11-2 市民の多様な学習に応じた学習環境の整備	視点4
	11-3 学校適正配置に向けた取組	
	11-4 市立幼稚園の再編に向けた取組	

12. 市民に信頼される教育関係 職員の育成	12-1 教育関係職員の研修プログラムの充実	視点5
	12-2 教職員への支援体制の充実	
	12-3 信頼される教職員の採用・登用・配置	

3 これからの社会をたくましく生き抜く力を育成する5つの視点と 重点施策

(1) 新潟市の教育を推進する3つの視点

【視点1】 これからの社会で自信をもって自己実現していける子どもを育てます。

学校・学級の支持的風土の中で、日常の様々な教育活動を通じて(1-1)子どもの自己肯定感を高めます。その上で、キャリア教育(1-2)、外国語教育(3-2)、情報教育(3-3)によって、これからの社会で自己実現していく力を高めます。



- 1-1 資質・能力を育む授業づくりの推進
- 1-2 学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進
- 3-2 外国語教育・国際理解教育の充実
- 3-3 情報教育の充実とICTを活用した教育の推進

【視点2】 学びの循環による人づくり、地域づくりを進めます。

市民が興味・関心や課題意識に応じて学ぶことのできる場を用意し(8-1)、充実した学びができるよう支援します(8-2)。また、学びが地域の課題解決や人材育成につながるようにします(8-2)。乳幼児期から生涯学習の基礎をつくる(7-2)とともに、子育て世代も安心して学べるようにします(7-1)。



- 7-1 家庭教育・子育て支援の充実
- 7-2 乳幼児期からの読書活動推進
- 8-1 学び育つ各世代への支援
- 8-2 学習成果を活かす活動への支援

【視点3】 地域と一体となった学校づくりを進めます。

これまでの新潟市の取組を踏まえて学校運営協議会制度を導入することにより、地域と学校の連携・協働を充実させます(9-1)。



- 9-1 地域と共にある学校づくりの推進

(2) 学びの基盤を固める2つの視点

【視点4】 誰もが安心して学べる環境づくりを進めます。

幅広い施策により、一人一人のニーズに応え、誰もが安心して学びに向かえるようにします (2-1)(2-2) (2-5) (4-1)(10-1)(10-2) (11-2)。



- 2-1 いのちの教育・心の教育の推進
- 2-2 自立を促す生徒指導の推進
- 2-5 健康づくり・食育の推進
- 4-1 子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進
- 10-1 保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進
- 10-2 教育の機会均等を図るための取組の推進
- 11-2 市民の多様な学習に応じた学習環境の整備

【視点5】 市民に信頼される、魅力ある教育関係職員の育成に努めます。

社会の変化や職員のキャリアを踏まえた研修を充実させ、教育関係職員の資質・能力を高めます (12-1)。

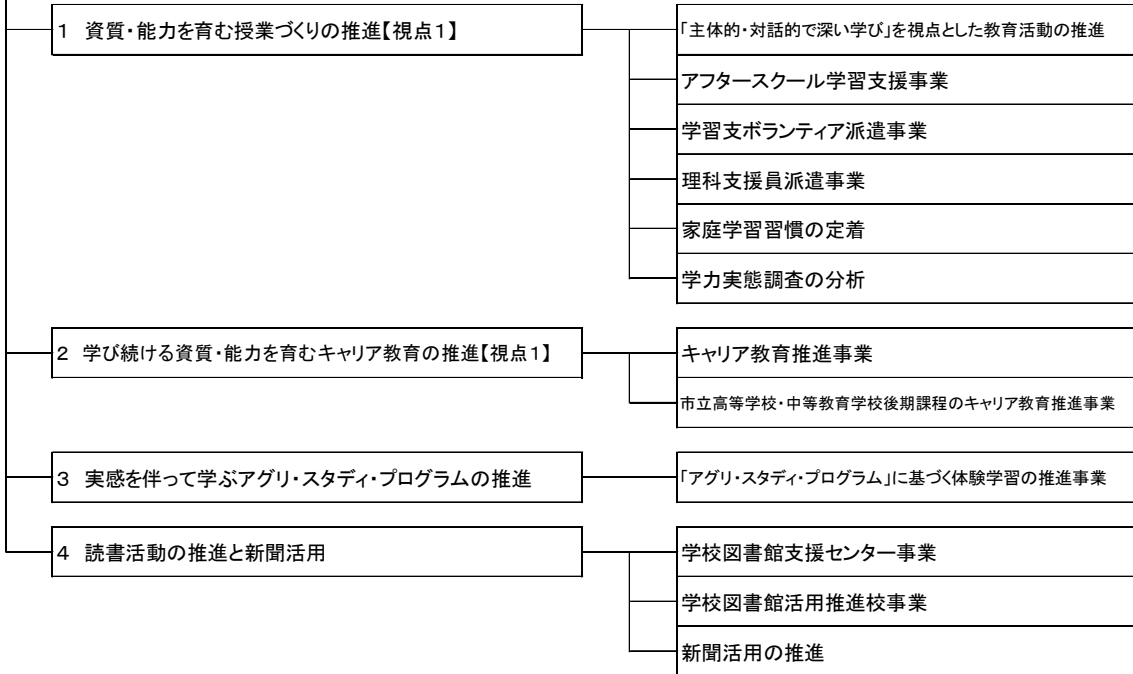


- 12-1 教育関係職員の研修プログラムの充実

Ⅵ 実施計画

1 第4期実施計画体系図

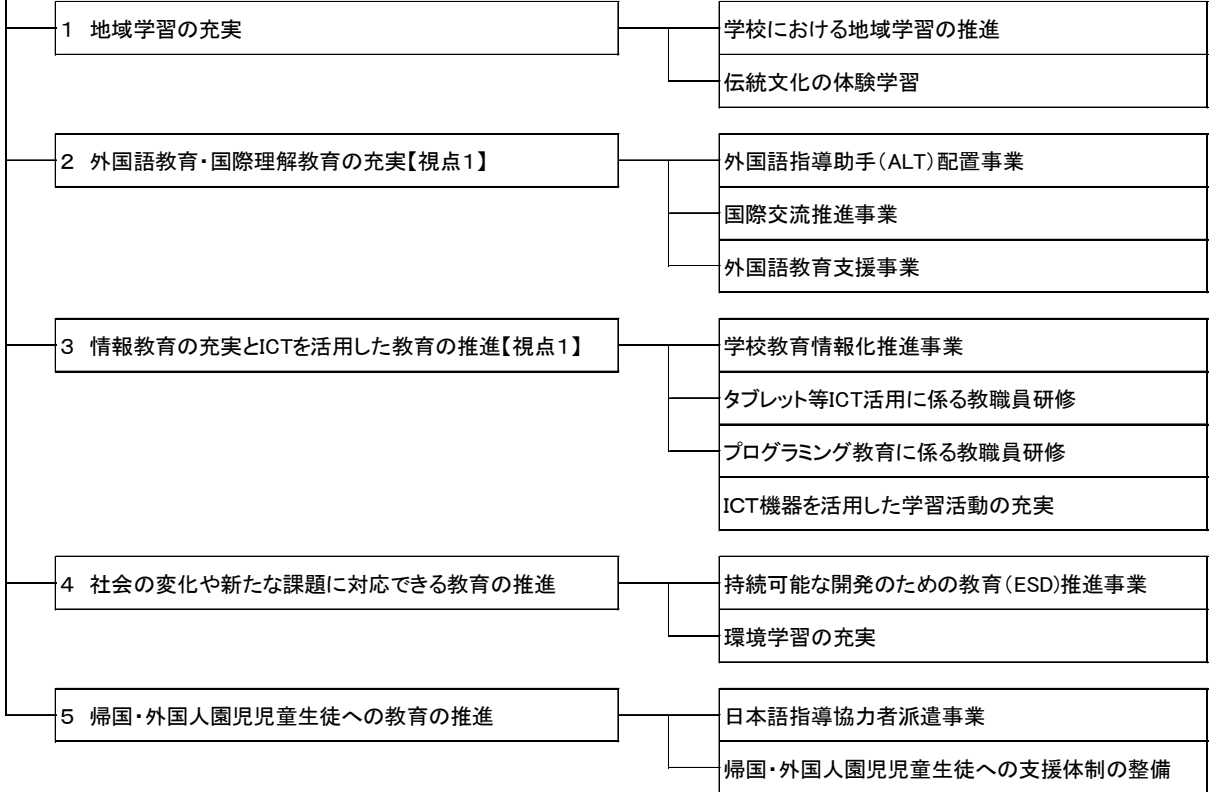
1 確かな学力の向上



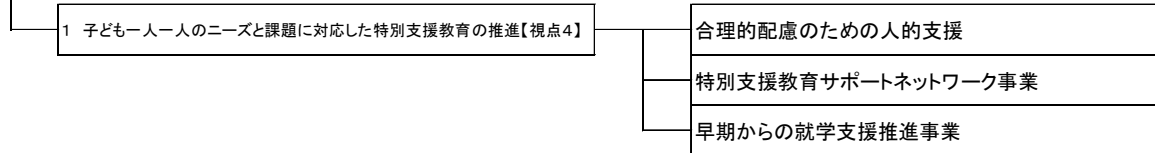
2 豊かな心と健やかな身体の育成



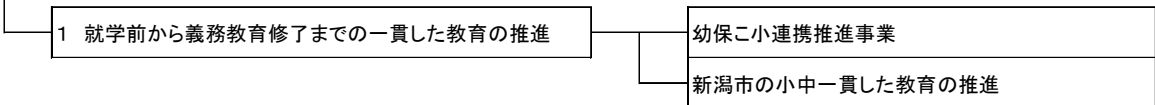
3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成



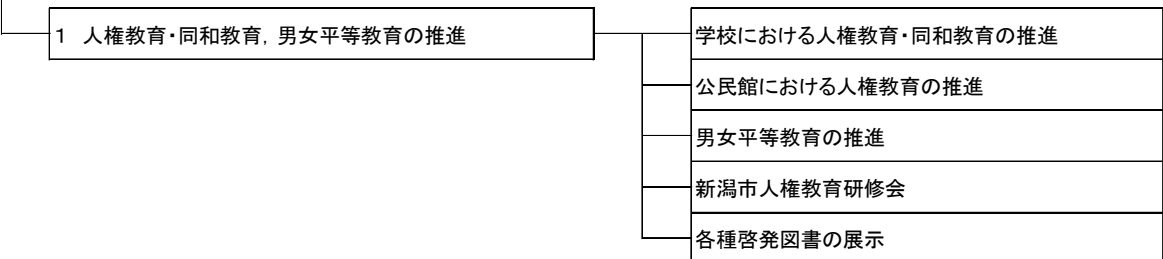
4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進



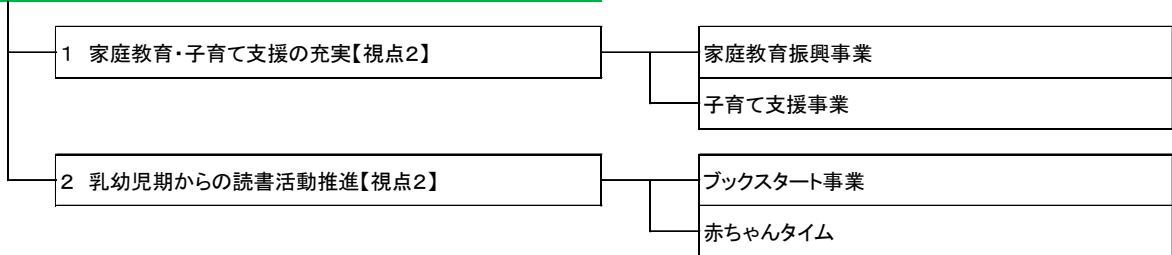
5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり



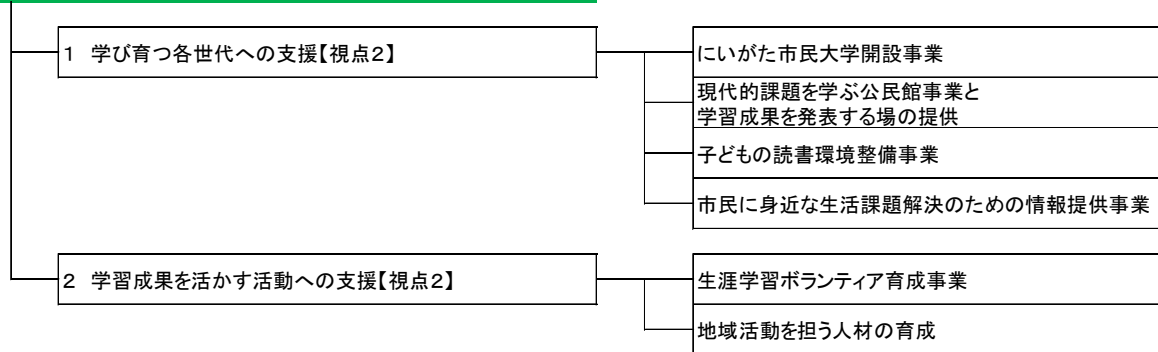
6 人権を守り共に支え合う社会の推進



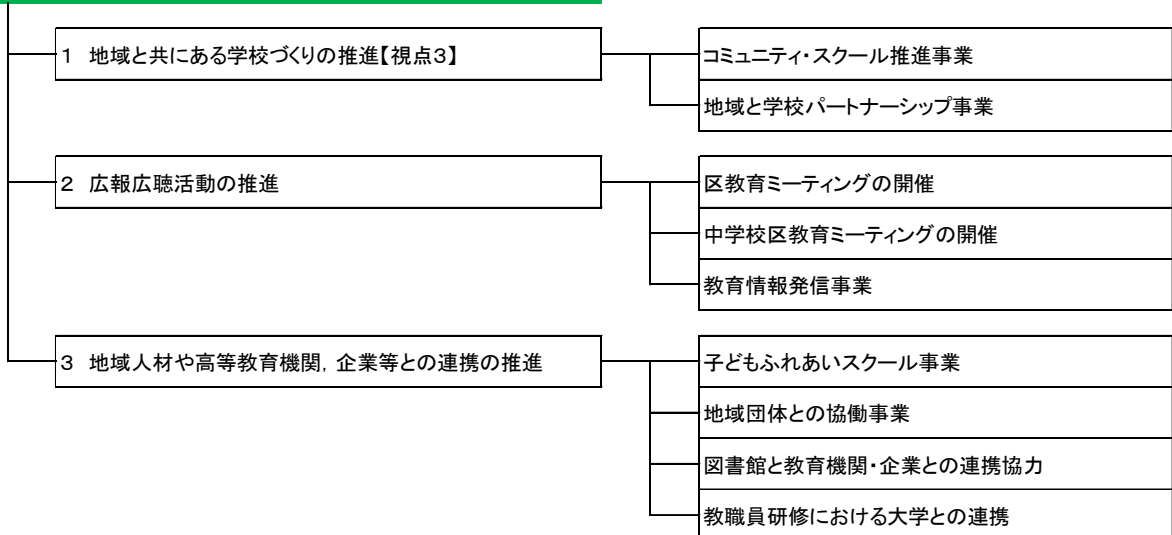
7 家庭教育の充実と子育て支援



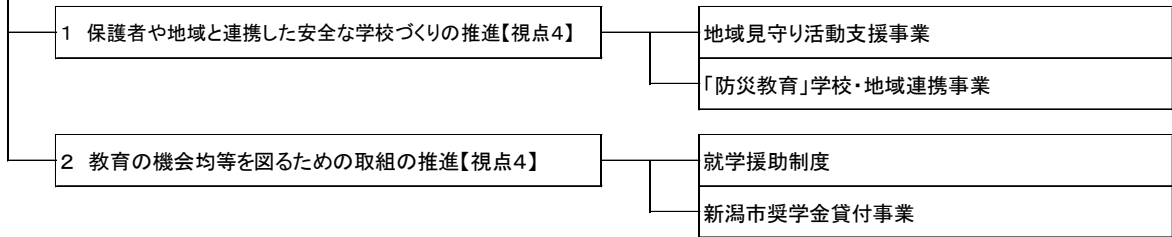
8 人生100年時代を見据えた循環型生涯学習の推進



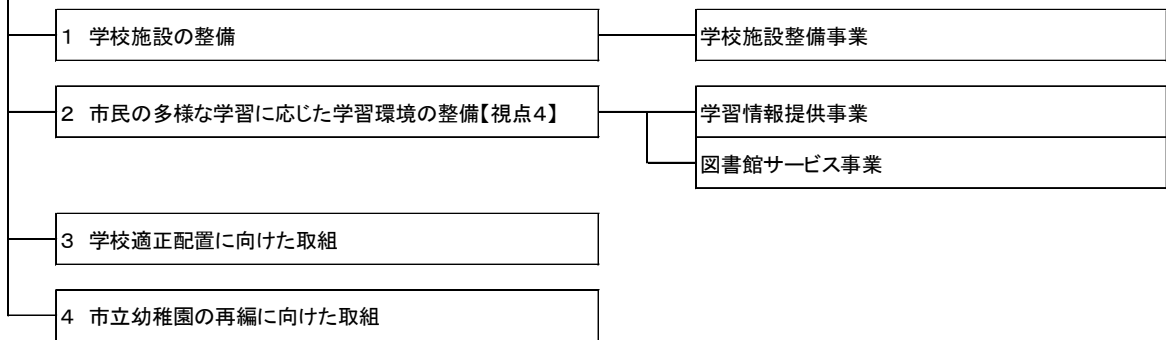
9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進



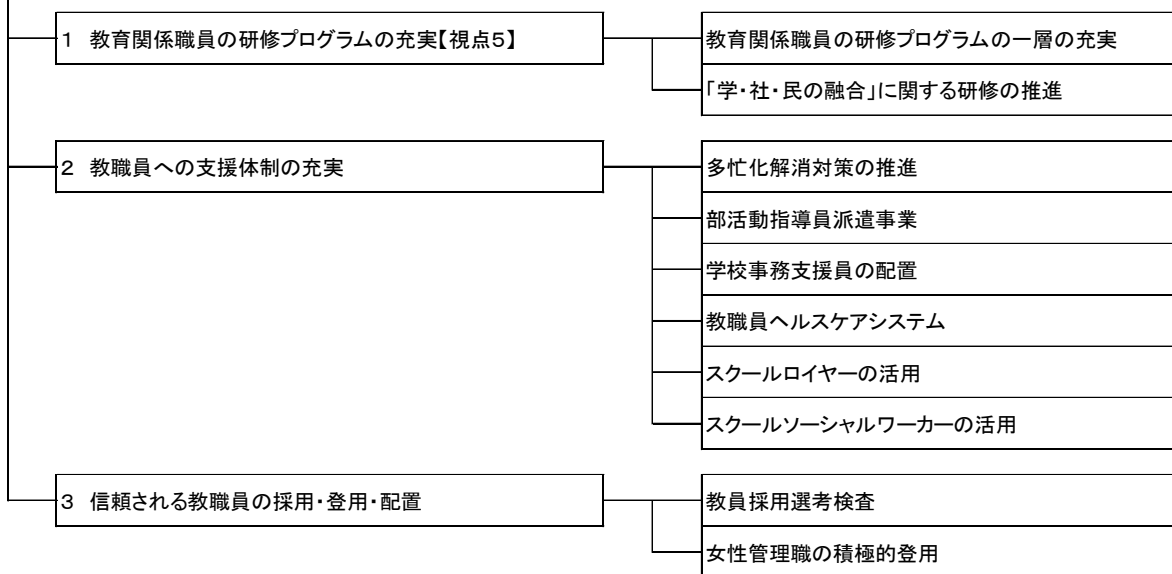
10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進



11 学校教育・生涯学習環境の基盤づくり



12 市民に信頼される教育関係職員の育成



2 施策別計画

「教育ビジョン」では、12の基本施策を展開します。

施策別計画は、この12の基本施策を実現するために、計画期間に取り組む事業を34の施策別に、施策体系、施策推進の方向性、事業名及び事業のねらいと概要、指標を掲載しています。

【施策別計画の見方】

基本施策1 確かな学力の向上

施策体系

確かな学力の向上

- (1) 資質・能力を育む授業づくりの推進【視点1】
- (2) 学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進【視点1】
- (3) 実感を伴って学ぶアグリ・スタディ・プログラムの推進
- (4) 読書活動の推進と新聞活用の充実

第4期実施計画の重点
《5つの視点》
の該当項目を明示

施策の計画

(2) 学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進【視点1】

学校の特色や地域の実情を踏まえつつ、児童生徒の発達段階にふさわしいキャリア教育を推進し、児童生徒が将来、社会的・職業的に自立し、集団や社会で様々な人とかかわり、自分の役割を果たしながら自分らしく生きる資質・能力を育てていきます。

施策推進の方向性

●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要					
キャリア教育推進事業	学校の特色や地域の実情を踏まえつつ、児童生徒の発達段階にふさわしいキャリア教育を推進し、児童生徒が将来、社会的・職業的に自立し、集団や社会で様々な人とかかわり、自分の役割を果たしながら自分らしく生きる資質・能力を育てていきます。					
指標の説明	現状	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全国学力・学習状況調査の質問紙「将来の夢や目標を持っていますか」で肯定的に回答する児童(小6)の割合(%)	84.9 指標	85	85	86	86	86
全国学力・学習状況調査の質問紙「将来の夢や目標を持っていますか」で肯定的に回答する生徒(中3)の割合(%)	71.8 指標	72	72	73	73	74
キャリアパスポート、キャリアノートを活用した取組を実施している学校の割合(%)	指標	アンケート実施 指標設定	前年度以上	----->	----->	100

事業指標について

- ・事業指標は、その事業がねらいに沿って確実に実施されているかどうかを判断するためのものです。
 - ・(可能な限り) 目指す市民や子どもの姿を想定して設定しています。
 - ・数値目標として設定することがむずかしい場合は、文章で表記している場合もあります。
- ※指標には、経年で伸ばしていく指標と、年度内に伸ばしていく指標(毎年度同一数値が並び)があります。各種研修のように、対象者や内容が年度ごとに変わるものは、年度ごとに一定レベルの達成値を目指します。
- ※本市が様々な取組を通して施策のねらいに迫っていることをお伝えするために、指標なしで記載した事業があります。このような事業については、定性的な評価を行います。

基本施策 1 確かな学力の向上

施策体系

確かな学力の向上

- (1) 資質・能力を育む授業づくりの推進【視点1】
- (2) 学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進【視点1】
- (3) 実感を伴って学ぶアグリ・スタディ・プログラムの推進
- (4) 読書活動の推進と新聞活用の充実

施策の計画

(1) 資質・能力を育む授業づくりの推進【視点1】

子どもが社会や生活の中で、自ら目的や課題を見付け、主体的に判断しながら多様な他者と協働して生きていくことができるよう、学校では、子どもの目的意識や課題意識を大切にしながら、「主体的・対話的で深い学び」による授業改善により、資質・能力（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性）を育む教育を推進します。

●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
「主体的・対話的で深い学び」を視点とした教育活動の推進	「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業やその他の教育活動を展開するため、指導方法の研修や実践例の紹介などの支援を行います。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
研修会参加者の理解度(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度を上回る	-----	----->	90
アンケートで「今後活かすことができる」と回答した参加者の割合(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度を上回る	-----	----->	90

※最低でも2年に1度、すべての市立小中高等学校・特別支援学校を訪問し、直接指導を実施します。

●事業2(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
アフタースクール学習支援事業	放課後の時間を活用した学習支援の環境を整備し、基礎・基本の定着を図ります。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
生徒アンケートで「参加して理解が深まった」と回答した生徒の割合(%)	45	指標	60	65	70	70	70

●事業3(学校支援課)

事業名		事業のねらいと概要					
学習支援ボランティア派遣事業		教員志望の大学生や一般市民による学習支援ボランティアを学校に派遣し、授業補助や個別指導など児童生徒の基礎・基本の定着に向けた学習支援を行います。					
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
学習支援ボランティアの派遣が「児童生徒の基礎・基本の定着に効果的」と肯定的に回答した学校の割合(%) (派遣校中)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度を上回る	-----	----->	90
学習支援ボランティア派遣人数	175	指標	180	180	180	190	190

●事業4(学校支援課)

事業名		事業のねらいと概要					
理科支援員派遣事業		科学的に問題解決をしていく資質・能力を育成するための観察・実験等が充実した理科授業を行うために、理科支援員を配置します。					
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
配置校の理科授業における「授業への効果」に肯定的に回答した学校の割合(%)	99	指標	100	100	100	100	100

※該当する学校や支援員が変わっても、毎年確実な成果が上がる取組となることを目指します。

●事業5(学校支援課)

事業名		事業のねらいと概要					
家庭学習習慣の定着		家庭学習習慣を定着させ、意欲と目的をもって学習に取り組む子どもを育むため、支援体制の充実を図ります。					
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
新潟市生活・学習意識調査(小4)で、市の目安とする家庭学習時間(40分)を達成した児童の割合(%)	87	指標	前年度を上回る	-----	-----	----->	90
新潟市生活・学習意識調査(小6)で、市の目安とする家庭学習時間(60分)を達成した児童の割合(%)	76	指標	前年度を上回る	-----	-----	----->	80
新潟市生活・学習意識調査(中3)で、市の目安とする家庭学習時間(120分)を達成した生徒の割合(%)	30	指標	前年度を上回る	-----	-----	----->	60

●事業6(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要
学力実態調査の分析	各学校が自校の学力実態を的確に把握し、きめ細かな指導を行ったり、指導方法を工夫・改善したりすることにより、児童生徒の学力の向上を図ります。

指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全国学力・学習状況調査(小6国語)で、全国の平均正答率に対する新潟市の平均正答率の差(ポイント)	+5.0	指標	+5.2	+5.4	+5.6	+5.8	+6.0
全国学力・学習状況調査(小6算数)で、全国の平均正答率に対する新潟市の平均正答率の差(ポイント)	+0.6	指標	+1.0	+1.4	+1.8	+2.4	+3.0
全国学力・学習状況調査(中3国語)で、全国の平均正答率に対する新潟市の平均正答率の差(ポイント)	+1.6	指標	+2.0	+2.5	+3.0	+3.5	+4.0
全国学力・学習状況調査(中3数学)で、全国の平均正答率に対する新潟市の平均正答率の差(ポイント)	+1.7	指標	+2.0	+2.5	+3.0	+3.5	+4.0
全国学力・学習状況調査(中3英語)で、全国の平均正答率に対する新潟市の平均正答率の差(ポイント)	+0.3	指標			+3.0		
全国学力・学習状況調査(中3理科)で、全国の平均正答率に対する新潟市の平均正答率の差(ポイント)	H30 +1.0	指標		+2.0			+3.0
全国学力・学習状況調査児童質問紙の質問項目「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)	83.8	指標	84.0	85.0	86.0	87.5	90.0
全国学力・学習状況調査生徒質問紙の質問項目「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」で、肯定的な回答をした児童(中3)の割合(%)	82.8	指標	83.0	84.0	85.0	87.0	90.0

※全国学力調査の英語と理科は、3年に1度の実施であるため、実施した年のみの評価とします。

(2) 学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進【視点1】

学校の特色や地域の実情を踏まえつつ、児童生徒の発達段階にふさわしいキャリア教育を推進し、児童生徒が将来、社会的・職業的に自立し、集団や社会で様々な人とかわかり、自分の役割を果たしながら自分らしく生きる資質・能力を育みます。

●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
キャリア教育推進事業	児童生徒に育てたい資質・能力を明確にしたキャリア教育の年間指導計画の改善を支援します。また、児童生徒が見通しをもち、振り返ることで新たな学びへの意欲を高めることができるキャリア・ノートやキャリア・パスポートの活用を支援します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全国学力・学習状況調査の質問紙「将来の夢や目標を持っていますか」で肯定的に回答する児童(小6)の割合(%)	84.9	指標	85	85	86	86	86
全国学力・学習状況調査の質問紙「将来の夢や目標を持っていますか」で肯定的に回答する生徒(中3)の割合(%)	71.8	指標	72	72	73	73	74
キャリアパスポート、キャリアノートを活用した取組を実施している学校の割合(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度以上	----->	----->	100

●事業2(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
市立高等学校・中等教育学校後期課程のキャリア教育推進事業	生徒の多様な能力・適性、興味・関心に応じて、社会参画の視点からキャリア教育の充実を図ります。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
高等教育機関・産業界・地域の各機関と連携した教育活動によって、キャリア発達に資する思考力・判断力・表現力が育まれたと回答した生徒の割合(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度以上	----->	----->	85

(3) 実感を伴って学ぶアグリ・スタディ・プログラムの推進

実感を伴った確かな学びを実現していくために、「アグリ・スタディ・プログラム」を推進します。これにより、持続可能な社会の実現に向け、よりよく問題を解決するとともに、豊かな食の恵みに感謝し、いのちや人の絆を大切にする児童生徒を育みます。また、農業の素晴らしさに気付き、ふるさと新潟を愛し、誇りに思う心も育みます。

●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進事業	持続可能な社会の実現に向け、よりよく問題を解決する子ども、豊かな食の恵みに感謝し、いのちや人の絆を大切にする子ども、農業の素晴らしさに気付き、ふるさと新潟を愛し、誇りに思う子どもを育成するため、「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を推進します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
「アグリ・スタディ・プログラム」を自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度以上	----->	----->	100

(4) 読書活動の推進と新聞活用の充実

児童生徒の学力や表現力、創造力の基礎となる読書習慣の定着を図るために、学校と家庭との連携を進めながら、発達段階に応じた手だてや環境を整えます。

学校図書館が読書の楽しさを提供する「読書センター」の役割と、児童生徒が意欲と目的をもって学習に取り組むための「学習センター」「情報センター」の役割を担っていくことができるよう、各学校の取組を支援します。

また、児童生徒が活字に親しみ、学ぶ意欲や思考力、表現力を育むため、新聞活用の条件整備を進めます。

●事業1(中央図書館)

事業名	事業のねらいと概要						
学校図書館支援センター事業	・学校図書館支援センターで学校図書館訪問や相談対応及び学校司書実務研修等を通して、学校の実情に合った支援を行います。 ・学校貸出セット「オレンジBOX」の整備や学校貸出図書搬送システムを活用した資料提供を通して、学校図書館の利活用を支援します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
支援センターによる支援が各学校の役に立っているとする割合(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度以上	-----	----->	90

●事業2(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
学校図書館活用推進校事業	学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能をより一層高めることを目的として実施します。これによって、豊かな人間性、課題設定能力、情報活用能力、表現力等の資質・能力の育成を目指します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
学校図書館を活用した授業を「月に数回程度」行った小学校の割合(%)	年度末に確定 ※H30 75.5	指標	前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	-----	-----	----->	80
学校図書館を活用した授業を「学期(前後期)に数回程度」行った中学校の割合(%)	年度末に確定 ※H30 70.2	指標	前年度の実績を踏まえて 毎年度設定	-----	-----	----->	75

●事業3(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
新聞活用の推進	児童生徒が新聞を読むきっかけを作り、学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力を育むため、新聞設備とNIEの実践についての情報提供を行います。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
新聞を活用した授業を行った小学校の割合(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度を上回る	-----	----->	75
新聞を活用した授業を行った中学校の割合(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度を上回る	-----	----->	70

基本施策2 豊かな心と健やかな身体の育成

施策体系

豊かな心と健やかな身体の育成

- (1) いのちの教育・心の教育の推進【視点4】
- (2) 自立を促す生徒指導の推進【視点4】
- (3) 体験活動の充実
- (4) 体力づくりの推進
- (5) 健康づくり・食育の推進【視点4】
- (6) 青少年の健全育成の推進

施策の計画

(1) いのちの教育・心の教育の推進【視点4】

自他を尊重する心や豊かな人間性・社会性を身に付けるとともに、善悪の判断などの社会のルールを守り、自信と誇りをもって生きることができる児童生徒を育む教育を進めます。

●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
道徳教育の充実,福祉教育の充実	生命を大切にする心や他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等の社会性、人間性を育むために、問題解決的、体験的な学習や家庭・地域と連携した学習等、多様な道徳科の授業を推進します。また、自他のよさや、互いに支え合い、共に生きることの大切さに気付くことのできる児童生徒を育むために、体験的な学びを重視した福祉教育を推進します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
新潟市生活・学習意識調査で、「自分にはよいところがあります」と回答した児童(小6)の割合(%)	80	指標	81	前年度以上	----->		85
新潟市生活・学習意識調査で、「自分にはよいところがあります」と回答した生徒(中3)の割合(%)	74.4	指標	75	前年度以上	----->		85
新潟市生活・学習意識調査で、「友達のよいところを見つけたり、友達が落ちこんでいるとき、はげましたりしています。」と回答した児童(小6)の割合(%)	89.9	指標	90	前年度以上	----->		95
新潟市生活・学習意識調査で、「友達のよいところを見つけたり、友達が落ちこんでいるとき、はげましたりしています。」と回答した生徒(中3)の割合(%)	90.6	指標	91	前年度以上	----->		95
全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童(小6)の割合(%)	98	指標	100	100	100	100	100
全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)	96.1	指標	100	100	100	100	100

(2) 自立を促す生徒指導の推進【視点4】

児童生徒一人一人が社会の一員であることを自覚し、他者との望ましい関係を築き、高みを求めて自立する姿を目指します。そのために、めあてをもち、自己決定し、自主的に行動する「自律性」と、互いに認め合い、支え合い、高め合う「社会性」の育成を図ります。また、いじめや不登校等において、子どもの気になる変化を見逃さない予防的な指導や、悩みや問題を抱える子ども一人一人に対応する課題解決的な指導に組織的に取り組みます。

●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
自律性と社会性を育む生徒指導の推進事業	・「自律性と社会性を育む生徒指導」の推進に向けて、教職員への研修を実施します。 ・授業や特別活動において「自律性」と「社会性」の育成を推進するためにリーフレット「新潟市の生徒指導」やガイドブック「授業づくりと生徒指導の一体化を目指して」の活用を促進します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
新潟市生活・学習調査の質問「地域の大人とあいさつしたり、言葉がかわしたりしています」の肯定的な回答の割合(%)	85.2	指標	86	86	87	87	88
新潟市生活・学習調査の質問「学校生活は楽しい」の肯定的な回答の割合(%)	91.3	指標	92	92	93	93	94
新潟市生活・学習調査の質問「友達のよいところを見つけたり、友達が落ち込んでいるとき、はげましたりしています」の肯定的な回答の割合(%)	89.1	指標	90	90	91	91	92
新潟市生活・学習調査の質問「学校生活で、友達と力を合わせて学習したり、活動したりしています」の肯定的な回答の割合(%)	91.9	指標	92	92	93	93	94
新潟市生活・学習調査の質問「地域のこと(自然・歴史・産業など)にふれたり、調べたりする学習は好きです」の肯定的な回答の割合(%)	72.3	指標	73	73	74	74	75
新潟市生活・学習調査の質問「地域の大人から話やアドバイスを聞いて、分かったり、できたりすることがよくあります」の肯定的な回答の割合(%)	68.5	指標	69	69	70	70	71

※対象は、小学校3年生から中学校3年生までの児童生徒。

●事業2(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
いじめ・不登校対応への支援 ・カウンセラー等活用事業	・いじめや不登校等において、子どもの気になる変化を見逃さない予防的な指導を推進するために、「いじめ・不登校初期対応ガイドブック」の活用促進や「スクールカウンセラー」の積極的な活用を図ります。 ・いじめや不登校等において、課題解決的な指導が必要な対応では、各区教育支援センターや教育相談センターを中核とする各区教育相談室との連携により、組織的にいじめ・不登校の対応を図ります。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
いじめの解消率(%)	95.6	指標	97	97	97	97	97
不登校発生率(小学校)(%)	0.69	指標	前年度を下回る	-----	-----	-----	----->
不登校発生率(中学校)(%)	3.63	指標	前年度を下回る	-----	-----	-----	----->
スクールカウンセラーが配置されたことで効果がみられたと回答した学校の割合(%)	98	指標	100	100	100	100	100

※いじめの解消率は、いじめと認知した中で解消したと判断した割合で、一定の解消が見られてから3か月経過した段階で判断します。いじめの解消率を算出する時点において、認知したいじめが、いじめの解消と判断できる相当期間(3か月)に満たない場合があるため、指標が100%になっていません。

※不登校発生率は、病気や経済的な理由等による欠席を除いて、30日以上欠席した児童生徒の割合です。

※スクールカウンセラーを活用を図り、一つ一つの事案の確実な改善を図ります。

(3) 体験活動の充実

自然体験や文化・芸術活動などの体験活動を通して、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育みます。

●事業1(中央公民館)

事業名	事業のねらいと概要						
子ども体験活動の実施	多くの子どもが様々な自然や文化・芸術に触れることができるよう、土日や長期休業の期間を中心に、自然体験活動やものづくり等の体験型事業を継続して実施します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
参加者の事業に対する肯定的な回答の割合(%)	94	指標	95	95	95	95	95

※体験内容が変わっても、参加した多くの子どもたちにとって有意義な体験になることを目指します。

●事業2(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要
優れた音楽・芸術に触れる機会の提供	優れた音楽や文化・芸術に触れる機会を提供し、体験を通して、豊かな心を育みます。

(4) 体力づくりの推進

学校と家庭・地域・大学などが連携し、運動の大切さを知り、楽しさを味わうことのできる環境を整え、児童生徒の健やかな身体を育みます。

●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
「体力向上ジャンプアップ」推進事業	小中学校は、体カテスト結果等から体力実態を明らかにし、体力向上の取組を行います。この取組を集約し、情報提供を行います。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全国体力・運動能力調査で全国平均値を上回った項目の割合(%)	85	指標	85	85	85	85	85

※年度により対象となる子どもが変わるため、5年間を見通した指標ではなく、単年度毎に事業の到達状況を示す指標とします。
 ※子どもが体を動かす機会が減る中で、各学年とも全国上位の水準を維持していきます。(学年ごとに8種目中7種目以上で全国平均を上回ると85%)

●事業2(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
運動大好きプロジェクト	児童生徒の体力向上指導者養成研修(教員研修センター主催)等へ体育教員を派遣します。新潟市体育指導者講習会で同様の研修を行い、教員の資質向上を図り、児童生徒がより運動好きになるように努めます。また、全国運動習慣調査の結果を分析し、情報提供します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全国運動習慣等調査中2生徒の「運動が好きですか」の肯定的評価の割合(%)	85	指標	85	85	85	85	85

※年度により対象となる子どもが変わるため、5年間を見通した指標ではなく、単年度毎に事業の到達状況を示す指標とします。
 ※子どもが体を動かす機会が減る中で、全国上位の水準を維持していきます。

(5) 健康づくり・食育の推進【視点4】

子どもが生涯にわたって心身ともに健康に生き抜く力を育むために、自らの健康に関心をもち、健康の増進、病気の予防など、健やかに生きるための主体的な健康づくりができるよう支援します。

また、子どもが、バランスのよい食事や正しいマナー、食べ物の大切さなどを理解し、望ましい食習慣を身に付けられるよう、家庭と連携した食に関する指導を推進します。

●事業1(保健給食課)

事業名	事業のねらいと概要						
児童生徒の生活習慣病予防対策事業	児童生徒が、自らの健康や生活習慣病予防に対する意識を高め、子どもの頃から望ましい生活習慣を築くことにより、生涯にわたり健康な生活を送ることができるよう、定期健康診断に加え、小学校4年生と中学校1年生の希望者に生活習慣病健診を実施し、健康教育の一層の充実を図ります。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
肥満傾向の児童生徒の割合(%)	7.32	指標	7.32	7.32	7.32	7.01	7.01
痩身傾向の児童生徒の割合(%)	2.43	指標	2.43	2.43	2.43	2.41	2.41

●事業2(保健給食課)

事業名	事業のねらいと概要						
児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業	小中学生のむし歯・歯周疾患を予防する対策を実施します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
中学1年生一人平均むし歯(う歯)本数	0.38	指標	0.37	0.36	0.35	0.34	0.33

●事業3(保健給食課)

事業名	事業のねらいと概要						
食育推進事業	学校給食に関する研究を行う「研究推進校」を指定し、学校給食への理解を深め、家庭や地域と連携しながら食に関する指導を推進します。また、スクールランチ実施校には、栄養士資格保有者を派遣し、食育指導を行います。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
食育指導者の派遣校数	16	指標	19	21	23	25	27
児童生徒の朝食欠食率(%)	1.93	指標	1.90	1.85	1.80	1.75	1.70

●事業4(保健給食課)

事業名	事業のねらいと概要						
学校給食の充実	学校給食においては、ご飯を基本とし、地域の食材を使った栄養バランスのよい日本型の食事を推進します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
地場産農林水産物の使用率(%)	16.9	指標	17.0	17.1	17.2	17.3	17.4

(6) 青少年の健全育成の推進

子ども・若者に関する相談及び助言、支援事業などを実施し、自立に向けた取組を行います。また、街頭育成活動や青少年関係団体の活動への支援を行うとともに、公民館で、引き続き青少年が安全で自由に過ごすことができる場を確保し、青少年のための健全な環境づくりを進めます。

●事業1(地域教育推進課)

事業名	事業のねらいと概要						
若者支援事業	新潟市若者支援センターで、若者の社会的自立・職業的自立に向け、若者が自分に自信を持ち社会性を身に付け、夢や目標に向かって動き出すことを支援する。また、若者支援センター及び地域で活躍できる若者支援者を養成する。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
継続支援終了者の割合(%)	35	指標	38	41	44	47	50
若者支援者養成研修会参加者数	84	指標	前年度を上回る	-----	-----	-----	166

●事業2(地域教育推進課)

事業名	事業のねらいと概要						
青少年健全育成事業	新潟市繁華街を中心とした街頭育成活動や非行防止キャンペーン活動などを通して、青少年の非行・被害の未然防止に取り組みます。また、各地区青少年育成団体等の活動支援や「わたしの主張大会」の取組を推進し、青少年の健全な成長を支える地域力の活性化を図ります。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
街頭育成活動における1回当たりの声掛け数(回)	4.6	指標	4.9	5.2	5.5	5.8	6.0
わたしの主張大会応募学校数・団体数	25	指標	26	27	28	29	30

※声掛けを積極的に行うことで、非行等の未然防止につなげます。

※学校や育成協からの応募数を増やすことにより、より多くの子どもの参加を促し、学校内や地域での取組を活性化します。

●事業3(中央公民館・中央図書館)

事業名	事業のねらいと概要						
青少年の居場所づくり事業	子どもたちが安全で自由に過ごすことができるよう、公民館の一室または共有スペースを「子どもの居場所」として開放します。また、各図書館で青少年向けの図書を集めた「ティーンズコーナー」と学習や読書に利用できる席を設置します。						

基本施策3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成

施策体系

創造性に富み、世界と共に生きる力の育成

- (1) 地域学習の充実
- (2) 外国語教育・国際理解教育の充実【視点1】
- (3) 情報教育の充実とICTを活用した教育の推進【視点1】
- (4) 社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進
- (5) 帰国・外国人児童生徒への教育の推進

施策の計画

(1) 地域学習の充実

未来の新潟を担う子どもたちが、自分たちの住む郷土新潟を広く知り、深く愛せる人になるよう、学校において地域学習を推進するとともに、公民館においても地域の文化や伝統を体感できる活動を推進します。

●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要
学校における地域学習の推進	学校において、地域の特色を調べたり、発信したりするなどの活動を行い、地域に対する誇りや地域を愛する心を育みます。

●事業2(中央公民館)

事業名	事業のねらいと概要
伝統文化の体験学習	子どもたちが、地域や日本の伝統文化を体験するための学習の機会を設けます。

指標の説明	現状	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
伝統文化の体験学習事業の参加者数(人)	6,293 指標	前年度以上	-----	-----	-----→	6,400

(2) 外国語教育・国際理解教育の充実【視点1】

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う取組を実施します。

我が国の歴史や文化、伝統などに対する理解を深めるとともに、広い視野をもって諸外国の人々と互いの文化、習慣、価値観などを理解し合い、信頼関係を築きながら共に生きていく資質・能力を育成します。

●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
外国語指導助手(ALT)配置事業	「英語を用いて何ができるようになるのか」という観点から、コミュニケーションの場面、状況や目的を明確に設定した言語活動を通して、コミュニケーション能力を育成します。外国語指導助手(ALT)を全ての市立小中学校、市立高等学校に配置することで、英語でコミュニケーションを図る必然性をもたせます。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
イングリッシュセミナーにおける参加生徒の振り返りにおける満足度(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度を上回る	-----	----->	90
市雇用ALT受入報告書における学校の満足度(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度を上回る	-----	----->	80

●事業2(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
国際交流推進事業	言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う取組を実施します。 地域の歴史や文化、伝統などに対する理解を深めるとともに、積極的に海外に目を向け、広い視野をもって諸外国の人々と互いの文化、習慣、価値観などを理解し合い、信頼関係を築きながら共に生きていく資質・能力を育成します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
海外訪問に参加した児童生徒のうち、「訪問の経験を今後活かすことができる」と回答した児童生徒の割合(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度を上回る	-----	----->	100
国際子どもフォーラムに参加した児童生徒のうち、「今後も諸外国の人々と積極的にかかわりたい」と回答した児童生徒の割合(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度を上回る	-----	----->	100

●事業3(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
外国語教育支援事業	小学校3年生から高等学校3年生までの10年間の外国語教育についての研修等を実施し、コミュニケーションを図る目的、場面、状況を明確に設定した言語活動を取り入れた「児童生徒にとって分かる・できる授業」を推進します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
各種研修(外国語教育マネジメント研修等)における参加者の満足度(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度を上回る	-----	----->	85
児童の外国語の学習が分かるという肯定的評価の割合(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度を上回る	-----	----->	80
生徒の外国語の学習が分かるという肯定的評価の割合(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度を上回る	-----	----->	80

(3) 情報教育の充実とICTを活用した教育の推進【視点1】

グローバルな視点を踏まえた持続可能な社会を築くための実践力を育成するために、ICT機器の積極的な活用をはじめとする指導方法・指導体制の工夫改善を図り、共に学び、互いに伝え合う授業を推進します。また、プログラミング的思考を育む授業づくりを推進します。

●事業1-①(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
学校教育情報化推進事業	児童生徒が、学びやコミュニケーションのツールとしてICT機器を活用できるよう、学校の指針となる計画を作成して普及を図るとともに、必要な環境の整備を図ります。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
新潟市学校教育情報化推進委員会(仮称)の活動		指標	組織立ち上げ 計画作成	計画の 周知浸透 環境整備	計画の 周知浸透 環境整備	計画の 周知浸透 環境整備	計画の 周知浸透 環境整備

※文部科学省のGIGAスクール実現事業の動向に合わせて指標を見直します。

●事業1-②(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
タブレット等ICT活用に係る教職員研修	タブレット等のICT機器を適切に活用した学習活動の充実と情報活用能力の育成を目指し、授業における活用方法等についての研修会を実施します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
アンケートで「今後に活かすことができる」と回答した参加者の割合(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度を上回る	-----	----->	90

※文部科学省のGIGAスクール実現事業の動向に合わせて指標を見直します。

●事業1-③(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
プログラミング教育に係る教職員研修	プログラミング的思考を育むための学習活動の充実のために、実践例や指導方法についての研修会を実施します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
アンケートで「今後に活かすことができる」と回答した参加者の割合(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度を上回る	-----	----->	90

●事業1-④(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
ICT機器を活用した学習活動の充実	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを活用した学習活動の充実を図ることを通して、「学習の基盤となる資質・能力」である情報活用能力等を育成します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
「新潟市の学校教育」実践状況調査において、「児童生徒が情報活用能力を育むために、ICTを活用した授業を実践していますか」の項目について、肯定的な回答をした小中学校の割合(%)	年度末に記入 (H30 95.7%)	指標	96	96.5	97	98	100
「新潟市の学校教育」実践状況調査において、「児童生徒の情報モラルが向上する授業を実践していますか」の項目について、肯定的な回答をした小中学校の割合(%)	年度末に記入 (H30 95.7%)	指標	96	96.5	97	98	100
全国学力・学習状況調査児童質問紙の質問項目「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか(週1回以上)」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)	22.9 (全国30.6)	指標	前年度を上回る	----->		70	90
全国学力・学習状況調査児童質問紙の質問項目「1・2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか(週1回以上)」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)	22.3 (全国30.6)	指標	前年度を上回る	----->		70	90

※文部科学省のGIGAスクール実現事業の動向に合わせて指標を見直します。

(4) 社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進

社会の変化や新たな課題に適切に対応できる力を育むために、持続可能な開発目標(SDGs)達成を目指した、持続可能な開発のための教育(ESD: Education for Sustainable Development)を推進し、様々な問題について考え、立ち向かい、解決するための学びを推進します。環境教育、国際理解教育等の持続可能な発展に関わる諸問題に対応する個別の分野にとどまらず、環境、経済、社会の各側面から総合的に取り組む教育活動の一層の充実を図ります。

●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業	現代社会における様々な問題を、自らの問題としてとらえ、身近なところから取り組むことで、持続可能な社会づくりに必要な価値観や資質・能力を育成するため、ESDの推進を行います。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
ESDを自校の教育計画に位置付けている学校の割合(%)	90	指標	90	前年度を上回る	----->	----->	100

●事業2(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
環境学習の充実	児童生徒が身近な社会や生活の中で、目的や課題を設定し、問題解決を行っていく中で、多様な他者と協働して生きていく力を育成するため、環境学習の充実を図ります。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
「地域の特色を活かした環境学習支援事業」を推進する学校数	年9校	指標	年9校	-----	-----	-----	----->
「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」を推進する学校数	年8校	指標	年8校	-----	-----	-----	----->

※指標には、毎年新規校を含みます。

(5) 帰国・外国人園児児童生徒への教育の推進

帰国・外国人園児児童生徒の受入体制の整備に努め、それらの園児児童生徒と共に学び、高め合う教育を進めます。

日本語指導が必要な帰国・外国人園児児童生徒などに、日本語指導協力者による個別指導を行い、日本語使用能力や日本での生活への適応力を高めます。

●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
日本語指導協力者派遣事業 帰国・外国人園児児童生徒への支援体制の整備	・帰国・外国人園児児童生徒の日本語使用能力や日本での生活への適応力を高めるため、該当園児児童生徒が在籍する市立学校に日本語指導協力者を派遣します。 ・日本語の指導を要する園児児童生徒の在籍校やその地域における環境整備を含めた効果的な日本語指導及び支援のあり方を探ります。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
日本語指導協力者の指導により、日本語能力が向上した帰国・外国人園児児童生徒の割合(%)	85	指標	85	85	90	90	90

共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進

基本施策4

施策体系

共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進

(1) 子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進【視点4】

施策の計画

(1) 子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進【視点4】

就学時から卒業まで切れ目のない支援を充実するため、相談と研修を行い、子ども一人一人の障がいの特性について保護者、教職員、子どもの理解を深め、共に認め合い、高め合うインクルーシブ教育システムを構築します。就学先の決定に際しては、子ども本人・保護者の意向に寄り添って必要な支援を決定するとともに、障がいのある子ども一人一人のニーズを把握し、「合理的配慮」の提供に努めます。

●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要
合理的配慮の提供	障がいのある子どもについて、個別の教育支援計画作成を通して個々のニーズを把握していくことにより、人的支援等「合理的配慮」の提供に努めます。

●事業2(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要
特別支援教育サポートネットワーク事業	特別支援教育サポートセンター、区教育支援センター、地区特別支援教育コーディネーター、市立特別支援学校を核としたサポートネットワークの一層の活用に向けて、管理職及び特別支援担当者等の研修に努めます。

指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
研修会参加者の理解度(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度を上回る	-----	-----	90
アンケートで「今後に活かすことができる」と回答した参加者の割合(%)		指標	アンケート実施 指標設定	前年度を上回る	-----	-----	90

●事業3(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要
早期からの就学支援推進事業	区教育支援センターや特別支援教育サポートセンターの相談窓口を充実させ、就学相談会や就学ガイダンスを通じ、早期からの継続的な就学相談・支援に努めます。また、就学前の療育、保育、福祉、医療諸機関と連携して、保護者への情報共有を行います。

指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
特別支援学級在籍児童の入学支援ファイル提出率(%)	97	指標	98	100	100	100	100

校種間・学校間連携を活かした特色ある 学校・園づくり

基本施策5

施策体系

校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり

(1) 就学前から義務教育修了までの一貫した教育の推進

施策の計画

(1) 就学前から義務教育修了までの一貫した教育の推進

教育は、将来の社会的自立に至る長期的な視野のもとで行うことが重要であるという視点に立ち、幼児教育から中学校教育までの教育の連続性を高めます。各校種間において、子どもの良さを共有し、認め、伸ばしていくことで自己肯定感を育てます。幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携を充実させることで、子どもがそれまでの学びを活かし、かかわる力や主体性を発揮させながら学びに向かう姿勢を育みます。また、各中学校区において、学校課題や地域特性、教育環境を踏まえた小中一貫した教育を推進することで、各小中学校の教育活動を一層充実させます。

●事業1(教育総務課)

事業名	事業のねらいと概要					
幼保こ小連携推進事業	入学前の幼児の実態を把握し、幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえた円滑な接続ができるように、幼稚園、保育所、認定こども園と小学校との職員同士の交流、研修等を通して、新潟市共通幼小接続期カリキュラムの周知・浸透を図ります。					
指標の説明	現状	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
新潟市共通アプローチ・カリキュラムを自園のカリキュラムに取り入れた園の割合(%)	30 指標	前年度を上回る	----->	----->	----->	95
接続を見通したスタートカリキュラムの編成・実施が行われている小学校の割合(%)	31 指標	前年度を上回る	----->	----->	----->	100

●事業2(教育総務課)

事業名	事業のねらいと概要					
新潟市の小中一貫した教育の推進	・中学校区を単位とした小中学校間において、子どもたちの学習や学校生活への適応に関する課題の解消を図ります。子どもたちの良さを共有し、褒めたり励ましたりする機会を増やすことで、子どもたちの自己肯定感を高め、各小中学校の教育活動を充実させます。 ・「目指す子どもの姿」を設定することにより、小中一貫した教育の柱をつくります。そして「共通プログラム」を策定し実践することで、「目指す子どもの姿」の達成を図り、各小中学校の教育活動の接続を進めます。さらに、これまで実践してきた小中合同の教育活動などは「独自プログラム」として継続し、できる活動は「目指す子どもの姿」の達成を図る教育活動として実践を進めます。					
指標の説明	現状	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
「目指す子どもの姿」の設定が完了した中学校区数	26 指標	56	/	/	/	/
「共通プログラム」及び「独自プログラム」を策定し、実践した中学校区数	8 指標	/	20	30	42	56

※2020年度までにすべての中学校区で「目指す子どもの姿」の設定を完了する予定です。

※「共通プログラム」と「独自プログラム」は、「目指す子どもの姿」の設定が完了した後に策定する予定です。

基本施策6 人権を守り共に支え合う社会の推進

施策体系

人権を守り共に支え合う社会の推進

- (1) 人権教育・同和教育の推進，男女平等教育の推進

施策の計画

(1) 人権教育・同和教育の推進，男女平等教育の推進

日常生活の中で市民一人一人の人権が尊重され、偏見や差別を生み出さない社会を実現するための人権教育，同和教育，男女平等教育を進めます。

職員一人一人が人権問題や同和問題に関心を持ち、理解と認識を深め、市民の良き相談役・パートナーとしての資質を高めるとともに、公民館では、女性セミナーや人権講座、家庭教育学級などの事業を通して、市民に人権意識を啓発します。また、人権問題や同和問題について、教職員が差別の現実を正しく認識し、子どもへの教育を推進します。

●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
学校における人権教育・同和教育の推進	人権教育，同和教育の推進のために，校内研修などが全ての教職員に確実に実施されるように支援します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
人権教育，同和教育に関する校内研修を実施した学校の割合(%)	100	指標	100	100	100	100	100

●事業2(中央公民館)

事業名	事業のねらいと概要						
公民館における人権教育の推進	人権意識の啓発を図るため，女性や子ども，障がい者や外国籍の人たちの人権を学ぶ講座などを実施・継続します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
公民館の人権教育事業の参加者数	3,225	指標	前年度以上	-----	-----	-----	3,300

●事業3(生涯学習センター)

事業名	事業のねらいと概要						
新潟市人権教育研修会	行政職員(市長部局，教育委員会)や学校教職員等を対象に，人権教育研修会を開催し，職員一人一人が人権問題や同和問題に関心を持ち，理解と認識を深め，市民の良き相談相手役・パートナーとしての資質を高めます。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
アンケートで「人権問題・同和問題への理解が深まった」と回答した職員の割合(%)	94	指標	100	100	100	100	100

※年度により研修に参加する職員が変わっても，全ての職員が確実に理解できるような研修を目指します。

●事業4(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要
男女平等教育の推進	児童生徒が自分らしさを大切にして、個性や能力を発揮し、固定的な性別的役割分担意識にとられずに主体的に進路や職業を選択できるよう、キャリア形成に係る学びを充実させることを目指して実施します。各校に改訂版学習資料及び指導の手引を配付するとともに、男女平等教育推進研究会を開催し、指導内容の改善を図ります。

●事業5(中央図書館)

事業名	事業のねらいと概要
各種啓発図書の展示	人権啓発や男女共同参画等を推進するために、関係課と連携協力し図書を集めた展示を実施し、学校での授業や学校図書館の展示に必要な図書を提供します。

基本施策7 家庭教育の充実と子育て支援

施策体系

家庭教育の充実と子育て支援

- (1) 家庭教育・子育て支援の充実【視点2】
- (2) 乳幼児期からの読書活動推進【視点2】

施策の計画

(1) 家庭教育・子育て支援の充実【視点2】

家庭の教育力の向上に向け、学校と家庭及び地域と家庭の連携の推進、家庭教育に関する不安や疑問などに対応する学習機会や相談体制の充実に取り組みます。子育て中の保護者が安心して学習できる機会や家庭教育に関する情報を提供するとともに、子育ての悩み等を共有できる仲間づくりを進めるなど、学びを活かす取組も支援します。

●事業1(中央公民館)

事業名	事業のねらいと概要					
家庭教育振興事業	子どもの成長期に合わせて、子育てに関する知識や親としてのかかわりなど必要な情報を提供します。また、学校などと連携・協力しながら、家庭教育の啓発を図ります。					
指標の説明	現状	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
家庭教育学級でのアンケートで「今後に活かすことができる」と回答した参加者の割合(%)	指標	アンケート実施 指標設定	----->	----->	----->	90
保護者を対象とした家庭教育にかかわる講座等を実施した小中学校の割合(%)	アンケート実施 指標設定	指標	----->	----->	----->	100

●事業2(中央公民館)

事業名	事業のねらいと概要
子育て支援事業	子育て中の保護者に家庭教育の知識や情報を提供します。また、子育てフリースペース事業では公民館に乳幼児期等の親子が自由に入出りできる場所を設けたイベントを実施したりして、親同士の交流を促進します。

(2) 乳幼児期からの読書活動推進【視点2】

子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をよりよく生きる力を身に付けていく上で欠くことのできない読書活動を推進するとともに、読書を通して親子のきずなを深めるために、保護者を対象とした取組を行います。

また、乳幼児と一緒に図書館を利用しやすいように環境を整備します。

●事業1(中央図書館)

事業名	事業のねらいと概要						
ブックスタート事業	乳幼児期からの読書習慣の形成を目指すために、1歳誕生歯科健診会場で、ボランティアが親子一組ずつに、絵本を通した親子のふれあいや読み聞かせの意義などの説明と絵本の読み聞かせを行い、希望する絵本を1冊手渡して、絵本を通した親子のふれあいや読み聞かせの大切さを伝えます。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
ブックスタートアンケートにおいて家庭で読み聞かせをしていると回答した割合(%)	81.4	指標		83		85	

※3歳児保護者対象の「ブックスタートアンケート」(隔年実施)で調査します。

●事業2(中央図書館)

事業名	事業のねらいと概要						
赤ちゃんタイム	乳幼児連れの保護者のための時間を設けるとともに、一般の利用者への周知と理解をはかることで、乳幼児を連れた保護者が図書館を利用しやすい環境づくりをする。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
中央図書館及び各区中心図書館において週2回以上実施した館数	週2回実施2館 ・週1回実施5館	指標	前年度の実績を踏まえて毎年度設定	-----	-----	-----	全7館で週2回以上実施

人生 100 年時代を見据えた循環型 生涯学習の推進

基本施策 8

施策体系

人生 100 年時代を見据えた循環型生涯学習の推進

- (1) 学び育つ各世代への支援【視点 2】
- (2) 学習成果を活かす活動への支援【視点 2】

施策の計画

(1) 学び育つ各世代への支援【視点 2】

あらゆる世代の市民の主体的な学習活動を推進するため、高等教育機関及び企業と連携しながら、時代や社会の変化並びに市民の学習ニーズに応じた多様な学習機会の提供を効果的に進めていきます。また、市民一人一人の学習活動や、市民が学びに出会い、学びを深めていく場を支援するため、広く学習情報や資料を提供していきます。また、生涯にわたる学びの基礎となる読書習慣の定着を図るため、子どもの読書環境を整備します。

●事業1(生涯学習センター)

事業名	事業のねらいと概要						
にいがた市民大学開設事業	現代的な課題など専門性の高い講座や、時代や社会の変化並びに市民の学習ニーズに対応した講座を通して、より豊かな市民生活に資するため、高等教育機関等と連携しながらにいがた市民大学を開設します。受講後は学習で得た知識や経験等が地域活動や教育活動で活かされるよう、受講生による自主グループ化の支援に努めます。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
受講者の満足度(前期・後期講座、特別講座)(%)	82	指標	前年度以上	-----	-----	----->	90
受講者主体による自主グループ数	14	指標	15	16	17	18	19

●事業2(中央公民館)

事業名	事業のねらいと概要						
現代的課題を学ぶ公民館事業と学習成果を発表する場の提供	市民の自発的な学習活動を支援するために、青年期から高齢期までの各世代の課題やニーズに応じた様々な公民館事業を展開します。また、文化祭などを開催し、市民に学習成果を発表する場を提供します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
現代的課題を学ぶ講座等に参加した人の満足度(%)	95	指標	95	95	95	95	95

※課題やニーズに応じた公民館事業を展開し、参加者の満足度を維持していきます。

●事業3(中央図書館)

事業名	事業のねらいと概要						
子どもの読書環境整備事業	子どもが読書習慣をつけるために、子どもと親子を対象とした事業の実施やうちどく(家読)推進のために各種事業を実施し、子どもの読書環境整備を進めます。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
市立図書館の児童書貸出冊数	算出中 H30参考 1,181,182	指標	前年度以上	-----	-----	----->	1,185,000

●事業4(中央図書館)

事業名	事業のねらいと概要						
市民に身近な生活課題解決のための情報提供事業	市民の生活課題や地域課題の解決に役立つよう、資料や情報を提供するとともに様々な講座を開催します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
情報提供を受けた人と講座に参加した人の満足度(%)	80	指標	前年度以上	-----	-----	-----	90

(2) 学習成果を活かす活動への支援【視点2】

市民が学んだ知識や成果を教育活動や地域に活かすために、生涯学習ボランティアなどを育成するとともに、学校や地域などと連携しながら、その活動の場を支援します。また、地域課題学習を通して地域活動を担う人材を育成し、コミュニティ協議会などの地域団体の地域課題解決を支援します。

●事業1(生涯学習センター)

事業名	事業のねらいと概要						
生涯学習ボランティア育成事業	市民一人一人が自らの学習で培った知識や経験を地域活動や教育活動等に活かすとともに、その活動が新たな自分を発見したり、生きがいを見つけたりすることにつながるよう、人材の育成と活動を支援します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
生涯学習ボランティアバンク登録者数	1,367	指標	1,390	1,410	1,430	1,450	1,470
生涯学習ボランティア活動件数	550	指標	560	570	580	590	600

●事業2(中央公民館)

事業名	事業のねらいと概要						
地域活動を担う人材の育成	市民の主体的な地域課題学習を支援するために、地域コミュニティ協議会などの地域団体と連携しながら、地域活動を担う人材を育成します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業で学んだ成果を今後に活かしたいと回答した割合(%)	80	指標	82	84	86	88	90

地域と学校・社会教育施設が協働する 教育の推進

基本施策 9

施策体系

地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進

- (1) 地域と共にある学校づくりの推進【視点3】
- (2) 広報広聴活動の推進
- (3) 地域人材や高等教育機関、企業等との連携の推進

施策の計画

(1) 地域と共にある学校づくりの推進【視点3】

「地域とともにある学校」を目指し、学校と地域が共通の目標をもって、学校と社会教育施設、家庭、地域をつなぐネットワークづくりをさらに進め、協働事業を一層推進します。

●事業1(教育総務課)

事業名	事業のねらいと概要						
コミュニティ・スクール推進事業	学校運営協議会を設置し、保護者、地域、学校が一体となって子どもの成長を支える体制を築き、「これからの社会をたくましく生き抜く力の育成」を目指した学校づくりを進めます。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
学校運営協議会の設置中学校区数 ※()内は学校数		指標	4	8	56 (165)	56 (165)	56 (165)
制度が機能していると回答した協議会の割合(%)		指標	80	80	80	85	90

●事業2(地域教育推進課)

事業名	事業のねらいと概要						
地域と学校パートナーシップ事業	学校教育活動のさらなる充実を図り、学・社・民の融合による教育の推進を目的として、学校と地域を結ぶ地域教育コーディネーターを配置し、以下の取組を行います。 ・学校と社会教育施設、地域活動を結ぶネットワークづくり ・学校の教育活動、課外活動における地域人材の参画と協働 ・学校における地域の学びの拠点づくり ・学校の教育活動の様子を地域に発信 ※「地域活動を結ぶネットワークづくり」や「地域人材の参画と協働」には、市立高等学校におけるインターンシップも含んでいます。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
1校あたりの学校支援ボランティア延べ人数	算出中 H30参考1,989	指標	2,050	2,080	2,110	2,140	2,170
市立高校生インターンシップ受け入れ企業数	22	指標	24	26	28	30	32

(2) 広報広聴活動の推進

地域と学校、行政などが一層連携した取組を行うために各々のニーズや課題、教育資源などについて理解し合い、協働できる取組を進めます。

学校の子どもたちや生涯学習にかかわる市民の様子をはじめ、関連する教育委員会の施策を、保護者・地域・学校に積極的に発信していきます。

●事業1(教育総務課)

事業名	事業のねらいと概要						
区教育ミーティングの開催	各区で年2回の教育ミーティングを開催し、全市的な教育情報の周知を図るとともに、地域の教育課題の把握に努めます。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
区教育ミーティングの参加者満足度(%)	令和元年度実績を受けて設定	指標	前年度を上回る	-----	-----	-----	80

●事業2(教育総務課)

事業名	事業のねらいと概要						
中学校区教育ミーティングの開催	中学校区ごとに教育ミーティングを開催し、中学校区における教育課題の把握と地域や学校関係者との意見交換を行います。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
中学校区教育ミーティングの参加者満足度(%)		指標	アンケート実施 指標設定	90			

※2022年度から全市立小中学校学校で導入するコミュニティ・スクールの計画において、小中合同会の中で中学校区教育ミーティングの開催内容を実施できるように検討します。

●事業3(教育総務課)

事業名	事業のねらいと概要						
教育情報発信事業	新潟市ホームページによる「にいがた共育通信」の発信を行い、全市的な教育情報を広報するとともに、学校教育や社会教育における特色のある活動を紹介していきます。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
「にいがた共育通信」への年間アクセス件数	18,000	指標	19,000	20,000	21,000	22,000	23,000

(3) 地域人材や高等教育機関、企業等との連携の推進

地域の専門的な技能や経験をもつ人材、企業等の協力により、平日の放課後や土曜日ならではの豊かな体験活動や多様な学習機会を児童に提供します。

地域コミュニティ協議会などの地域団体と連携・協働しながら、地域課題の解決を支援します。

大学との連携を推進し、大学の人的・物的資産を積極的に活用することにより、市民のニーズにより広く対応したり、教職員研修の質を高めたりします。

●事業1(地域教育推進課)

事業名	事業のねらいと概要						
子どもふれあいスクール事業	・小学校PTAと教育委員会の共催により、週1～3回平日の放課後や土曜日の午前中に小学校の体育館や余裕教室などで、児童の自由遊びを基本にした「子どもふれあいスクール」を開催し、体験活動など様々な活動を実施します。また、放課後児童クラブと連携した取組を進めます。 ・ふれあいスクールにおける体験活動や学習機会提供のための「ふれあいプログラム」を作成し、多様な活動を働き掛けます。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
子どもふれあいスクール平均児童参加率(%)	13.4	指標	13.5	13.6	13.7	13.8	13.9
ふれあいプログラム活用校数	35	指標	37	38	39	40	41

●事業2(中央公民館)

事業名	事業のねらいと概要						
地域団体との協働事業	毎年、様々な地域コミュニティ協議会と連携し、世代間交流や地域の絆づくりなどの協働事業を行うことによって、それぞれの地域課題の解決を支援していきます。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
公民館と連携事業を実施する地域コミュニティ協議会数	56	指標	57	58	59	60	61

●事業3(中央図書館)

事業名	事業のねらいと概要						
教育機関・企業との連携協力	教育機関や地域団体、地元企業等と連携・協力を進め、地域課題の解決や地域活動を担う人材を育成するための資料や情報を提供します。 ・教育・社会福祉施設のほか、地域活動団体や民間店舗等を含む団体への図書館資料の貸出(学校除く) ・新潟大学附属図書館・新潟県立図書館との配本ネットワークの実施						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
図書館から学校以外の団体への貸出冊数	77,573	指標	77,600	77,600	77,600	77,600	77,600

※デジタルメディアの普及に伴い、活字離れが進む中で、外部機関等との連携・協力により現状の貸出冊数を維持します。

●事業4(総合教育センター、学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
教職員研修における大学との連携	各種教職員研修に大学の教員を招聘することにより最新の知見を活かした質の高い研修を実施し、教職員の資質・能力の向上を図ります。						

学びのセーフティネットの構築に向けた 取組の推進

基本施策 10

施策体系

学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進

- (1) 保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進【視点4】
- (2) 教育の機会均等を図るための取組の推進【視点4】

施策の計画

(1) 保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進【視点4】

児童生徒の通学時の安全対策上の課題を組織的・定期的に検討し、交通事故防止や不審者対応などへの体制づくりを進め、その充実を図ります。また、災害時に危険を自ら察知し、率先して安全を確保するための行動ができるよう、自然災害の特徴や地域の自然環境・災害防災について発達段階に応じて学ぶ防災教育を充実させます。

●事業1(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要						
地域見守り活動支援事業	小学校区毎に、子どもの登下校の安全確保のための見守りを目的としたボランティア組織「子ども見守り隊」を設置し、時間や場所を明確にした見守り活動を行います。また、登下校時における防犯対策に関する「地域の連携の場」を開催し、継続して見守り活動の改善を行います。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
子ども見守り隊を組織し、見守り活動を行っている学校の割合(%)	100	指標	100	100	100	100	100
登下校時における防犯対策に関する「地域の連携の場」を開催した学校の割合(%)	100	指標	100	100	100	100	100

※確実に子どもの安全を確保するために、すべての小学校区において実施することを最低限の指標としました。

●事業2(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要
「防災教育」学校・地域連携事業	「防災教育」学校・地域連携事業を通じて自校化してきた各校の防災計画を、社会や自然の状況、学校区の状況に応じて地域と連携しながら改善を進めます。

(2) 教育の機会均等を図るための取組の推進【視点4】

経済的理由により就学の機会が失われることがないよう、また、誰もが安心して学習に取り組み、多様な進路選択ができるよう、教育機会の確保に向けた取組を進めます。

●事業1(学務課)

事業名	事業のねらいと概要
就学援助制度	経済的理由により就学困難な子どもの保護者へ学用品費などに係る経費を援助することで、義務教育における教育の機会均等を図ります。 制度を知らずに申請が漏れてしまう人がないよう、適切な周知方法を検討します。

●事業2(学務課)

事業名	事業のねらいと概要
新潟市奨学金貸付事業	大学等への修学のために経済的支援が必要な生徒、学生へ奨学金の無利子貸付を行うことで、高等教育における教育の機会均等を図ります。また、返還の不安を解消することで、在学中も安心して勉学に励めるよう、一定の条件に該当する奨学生には返還金の一部を免除します。

基本施策 11 学校教育・生涯学習環境の基盤づくり

施策体系

学校教育・生涯学習環境の基盤づくり

- (1) 学校施設の整備
- (2) 市民の多様な学習に応じた学習環境の整備【視点4】
- (3) 学校適正配置に向けた取組
- (4) 市立幼稚園の再編に向けた取組

施策の計画

(1) 学校施設の整備

学校の統合や児童生徒数の急増などに対応するほか、施設の長寿命化に向けた大規模改造などを行い、より安全で快適な教育環境の整備を進めます。

●事業1(施設課)

事業名	事業のねらいと概要						
学校施設整備事業	学校の統合や児童生徒数の急増等に対応した施設整備を行うとともに、老朽化した校舎の大規模改造やトイレ改修などを行うことにより、教育環境の改善を図ります。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
新增改築・大規模改造実施校数	8	指標	10	(10)	(10)	(10)	(10)
トイレ洋式化率(%) (学校に設置されている便器の内、洋式便器の割合)	59	指標	61	63	65	67	69

※指標については、新增改築・大規模改造の2021年度以降実施校数を2021年度実施の老朽度調査の結果を受けて見直したい(修正を前提としている)ことから括弧書きとしました。

※トイレ洋式化率は、過去実績に基づき毎年度2%上昇としています。昭和63年度までに整備されたトイレの改修は計画期間内に完了します。

(2) 市民の多様な学習に応じた学習環境の整備【視点4】

市民の生涯にわたる多様な学習活動や地域課題等の解決を支援するため、生涯学習センターや図書館の機能と様々な媒体を有効に活用しながら、情報を積極的に発信するとともに、情報や資料等の収集・提供と相談体制の充実を図ります。

●事業1(生涯学習センター)

事業名	事業のねらいと概要
学習情報提供事業	市民の生涯にわたる多様な学習活動や地域課題等の解決を支援するため、本市で実施する多様な講座や市民活動機会の情報を整理し、ホームページ等を通じて情報提供に努めます。

●事業2(中央図書館)

事業名	事業のねらいと概要					
図書館サービス事業	図書館情報システムやホームページを運用するとともに、配本車の運行により、図書館資料を効率的に市民に提供します。また、国立国会図書館の図書館向けデジタル資料送信サービスの提供や、新潟市のデジタルアーカイブ公開など、インターネットを活用した情報を提供します。					
指標の説明	現状	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
市民一人当たりの図書館資料(雑誌、AVを含む)貸出点数	5.4 指標	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4

※デジタルメディアの普及に伴い、活字離れが進む中、様々な情報に対するニーズに応えながら、現状の貸出点数を維持します。

(3) 学校適正配置に向けた取組

様々な個性をもつ児童生徒に、多様な考え方に触れさせ、豊かな心や集団性・社会性を育むとともに、お互いにかかわり合い、コミュニケーションを通じた学びにより資質・能力を育むことができるように、望ましい学校規模の実現に向けて地域との協議を進めます。

(4) 市立幼稚園の再編に向けた取組

「言語表現能力や集団とのかかわりの中で自己発揮する力の育成」を目指すとともに、幼児教育の良さを小学校教育に繋げる接続・連携のあり方や、障がいの有無にかかわらず、共に生活し学び育つ指導の在り方について研究・実践します。その成果を広く発信する幼児教育のセンター的役割を担うことができるように、教育環境の効果的な集中を行う「市立幼稚園再編」を進めます。

基本施策 12 市民に信頼される教育関係職員の育成

施策体系

市民に信頼される教育関係職員の育成

- (1) 教育関係職員の研修プログラムの充実【視点5】
- (2) 教職員への支援体制の充実
- (3) 信頼される教職員の採用・登用・配置

施策の計画

(1) 教育関係職員の研修プログラムの充実【視点5】

参加者のニーズや社会の動向を踏まえた工夫・改善を通して、教育関係職員が自ら学び続け、高い専門性と豊かな人間性を伸ばせるような研修プログラムを継続して実施します。

●事業1(総合教育センター)

事業名	事業のねらいと概要						
教育関係職員の研修プログラムの一層の充実	新潟市教職員の資質向上に関する指標に基づく資質・指導力の向上を目指し、教育の動向や学校現場のニーズ、それぞれの職員のキャリアステージに応じた研修体系を構築するとともに、マンツーマン指導を核とした参加型の研修講座を実施します。また、新潟市マイスターを活用して研修の一層の充実を図ります。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
各研修講座における参加者の満足度(%)	89	指標	90	90	90	90	90
各研修講座アンケートで「今後にかかすことができる」と回答した参加者の割合(%)	89	指標	90	90	90	90	90

※各研修講座における受講者の満足度と活用度は4段階評価のAを対象、この数値を維持していくことを目指します。

●事業2(地域教育推進課)

事業名	事業のねらいと概要						
「学・社・民の融合」に関する研修の推進	「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり」を一層推進するため、地域教育コーディネーターやふれあいスクール運営主任等の実践力を向上させるための研修や、生涯学習・社会教育関係職員の専門的知識と技術を高める研修を開催します。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
地域と学校パートナーシップ事業研修会参加者理解度(%)	95	指標	95	95	95	95	95
子どもふれあいスクール研修会参加者理解度(%)	98	指標	98	98	98	98	98

※現在、高評価を得ている研修を、今後も内容の工夫・改善をすることで維持します。

(2) 教職員への支援体制の充実

全ての教職員が生き生きと子どもたちと向き合うため、学校・園と教育委員会、保護者・地域が一体となった教職員の働き方改革を推進することにより、働きやすい職場づくりを目指すとともに、教職員の心身の健康の保持増進へのきめ細かな支援を充実させます。

●事業1(学校人事課)

事業名	事業のねらいと概要						
多忙化解消対策の推進	魅力ある教職員を育成し、質の高い教育活動を行うために、学校園と教育委員会、保護者・地域が一体となって教職員の長時間勤務の縮減を推進します。 ・一校一取組で働きやすい職場改革<組織としての挑戦> ・一人一取組で「自分時間」を創造<個の挑戦> 長時間勤務が常態化している中で、長時間にわたる時間外勤務をしている教職員を減らす取組を進めながら、全体の時間外勤務の縮減を図ります。						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
月当たり平均時間外勤務時間が45時間を超える教職員の割合(%)	36	指標	30	前年度以下	-----	-----	----->
年間14日以上有給休暇を取得する教職員の割合(%)	58	指標	70	前年度以上	-----	-----	----->

●事業2(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要
部活動指導員派遣事業	中学校の部活動に所属する生徒に対して、より専門的な指導を提供するとともに、部活動顧問の負担軽減を図ります。

●事業3(学校人事課)

事業名	事業のねらいと概要
学校事務支援員の配置	教職員の事務的な負担を軽減するため、印刷や資料の整理等を行う学校事務支援員を配置します。

●事業4(教育職員課・学校人事課)

事業名	事業のねらいと概要						
教職員ヘルスケアシステム	教職員の病気休暇・休職者の減少及び新規発生の防止に向け、教職員の心の健康保持増進、疾病の早期発見・早期治療を促進し、円滑な職場復帰及び復帰後の再発防止を目指します。 ・メンタルヘルス相談体制の充実 ・医師による面接指導の実施 ・職場復帰のための支援体制整備 ・職員研修の開催 ・健康管理委員会の運営						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
教職員のうち精神疾患による療養休暇取得者・休職者(30日以上)の人数	58	指標	前年度を下回る	-----	-----	-----	----->

※計画期間中に療養休暇取得者・休職者数を1割程度削減することを目指します。

●事業5(学校人事課)

事業名	事業のねらいと概要
スクールロイヤーの活用	学校現場における対応困難な問題を解決に導くとともに、教職員の時間的・精神的な負担を軽減するため、弁護士による相談や助言を行います。

●事業6(学校支援課)

事業名	事業のねらいと概要
スクールソーシャルワーカーの活用	学校だけでは対応困難な生徒指導上の諸問題について、専門的な見地から児童生徒、保護者、学校等に具体的な支援や働きかけを行うとともに、児童生徒、保護者の環境への働きかけを行い、問題の解決、解消を図ります。

(3) 信頼される教職員の採用・登用・配置

子どもの健やかな成長を支え、地域住民や保護者、子どもから信頼される教職員の採用や管理職の登用を進めるため、人材確保に向けた工夫・改善を行います。また、教育ビジョンを踏まえ、特色ある学校づくりが一層推進できるよう、教職員を適材適所に配置します。

●事業1(学校人事課)

事業名	事業のねらいと概要						
教員採用選考検査	公平・公正・透明性のより一層の向上を図りながら、人間力を重視した選考を行うとともに、人材確保のための工夫・改善を行います。 ・教員採用選考検査の実施 ・SNS等を活用した人材確保の取組 ・検査内容の精選や出願資格の見直し						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
教員採用選考検査の出願者数	512	指標	500	510	520	530	530

※採用見込みのピークである2023年度(176人)において、倍率3倍を維持できる人数を目標とします。

●事業2(学校人事課)

事業名	事業のねらいと概要						
女性管理職の積極的登用	学校運営における男女共同参画の向上を図るため、女性教職員が管理職を目指しやすい環境を整え、女性管理職等の割合を拡大させます。 ・女性教員の学校運営参画意識の啓発 ・教職員のワーク・ライフ・バランスの確立						
指標の説明	現状		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
市立学校園の女性管理職(校長・教頭)の割合(%)	18	指標	20	前年度以上	-----	-----	----->

※取組の成果は、次年度4月1日の発令をもって確定します。

資料（１） 語句説明

	語 句	解 説
あ	ICT	Information and Communication Technology の略で、情報の伝達や情報処理に関する技術を総称的に表す語。
あ	アグリ・スタディ ・プログラム	新潟市の学校・園で行う田園型政令市・新潟にふさわしい農業体験学習の総称（学校支援課）
い	インクルーシブ教育システム	共生社会の形成に向けて、障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に学ぶ仕組みであり、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられ、個人に必要な「合理的配慮」が提供されること。
が	学校運営協議会	保護者や地域住民等が一定の権限と責任をもって学校運営に参加することで、育てたい子ども像、目指すべき教育のビジョンを共有し、目標の実現に向けて協働する仕組み。学校運営協議会を設置した学校をコミュニティ・スクールと呼ぶ。
が	学校・学級の支持的風土	認め合い、助け合い、期待をかけ合い、高め合う温かい学校・学級の風土。
が	学校支援ボランティア 学習支援ボランティア	学校における教育活動、課外活動などを支援する保護者や地域住民等のこと。 特に、授業において個々の子どもの学習を支援する学生ボランティアを「学習支援ボランティア」と呼んでいる。
が	学・社・民の融合による教育	「学」は学校、「社」は公民館や図書館などの社会教育施設、「民」は地域住民、家庭、地域の団体や企業。それぞれが役割を果たし、一体となって推進する教育。
か	カリキュラム	一定の教育の目的に合わせて、考え出された教育内容とその決まった修業年限の間での教育と学習を総合的に計画したものをいう。一般に小学校から大学に至るまでの、各学年での時間割として知られるものも、カリキュラムの一部である。これは狭義のもので、教育課程とほぼ同じである。
き	キャリア教育	一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。
き	キャリアステージ	教職員一人一人のキャリアは多様であるとの前提の下、研修等を通じて教職員の資質の向上を図る際の目安として設定されたステージ。新潟市では、経験１～５年目の第１ステージ、経験６～１３年目の第２

	語 句	解 説
		ステージ、経験14年目以降の第3ステージの3つのステージに分けられている。
き	キャリア・ノート	児童生徒が、教育活動や日常生活における見通しや振り返りを記述して蓄積していくポートフォリオ的な教材。
き	キャリア・パスポート	キャリア・ノート3年間の記述から抜粋して転記するもので、下学年（1～3年生）用、上学年（4～6年生）用、中学校用、高等学校用があり、校種を超えて12年間引き継いで活用する教材。
き	キャリア発達	社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程のこと。
き	教育課程	学習指導要領等に基づき、各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間等について、学校教育の目的や目標を達成するために、教育内容を子どもの心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した各学校の教育計画。
き	教育関係職員と教職員	新潟市教育ビジョン第4期実施計画において、教育関係職員とは、学校や教育委員会事務局に勤務する新潟市の職員を指す。また、教職員は学校に勤務する新潟市の職員を指し、教育関係職員に含まれる。
き	教育支援センター	各区における教育に関する窓口と各種相談業務を担うとともに、指導主事の学校訪問など学校への支援を行う教育委員会の機関。
き	共生社会	障がいのある人の人格及び人権が尊重され、社会的障壁のない共に生きる社会。平成26年2月に、我が国においても「障害者の権利に関する条約」が効力を生じ、「共生社会」の形成に向けて、障がい者関連法の改正が行われた。
く	区教育ミーティング・ 中学校区教育ミーティング	各区を担当する教育委員が、各区の自治協議会委員、中学校区の保護者などと懇談・意見交換を行い、全市的な教育情報を伝えるとともに、地域における教育の実情などを把握することを目的として開催する会議。
こ	校種間連携	例えば、小学校と中学校との連携のように、幼稚園、小学校、中学校、高等学校など、違う学校種間での連携。
こ	合理的配慮	障がいのある子どもが他の子どもと平等に教育を受けることを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことであり、そのニーズに応じて個別に必要なとされるものであり、体制面、財政面において均衡を失した又は過度の負担を課さないも

	語 句	解 説
		の。
こ	子どもふれあいスクール	学校施設を地域に開放して、安心・安全な居場所を提供し、学校を核として子どもと地域の大人がふれあうことにより、心豊かな子どもたちを育むとともに、地域の教育力の向上を図ろうとする事業。地域型、子ども型がある。
こ	コミュニティ・スクール	学校運営協議会を設置した学校。 ※学校運営協議会の欄を参照
し	持続可能な開発のための教育（ESD）	ESDとは、地球温暖化・資源などの環境的視点、貧困削減・企業の社会的責任などの経済的視点、雇用・男女平等・平和・人権などの社会・文化的視点から、より質の高い生活を次世代も含むすべての人々にもたらすことのできる開発や発展を目指した教育であり、持続可能な未来や社会の構築のために行動できる人の育成を目的としている。
し	市長部局	保健福祉や都市整備など市長の権限で事務を行う市役所の担当組織をいう。条例の制定や予算の議決など自治体の意思決定を行う議会や、特定の事務について市長から一定の独立した権限をもつ教育委員会などの行政委員会及び水道局などの公営企業を除く。
し	持続可能な開発目標（SDGs）	2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で記載された2016年から2030年までの国際目標。政府は、SDGsに関する8つの優先課題を挙げており、その①「あらゆる人々の躍進の推進」では、「子供の貧困対策」や「次世代の教育振興」の取組が盛り込まれている。
し	社会教育施設	人々の学習活動の拠点となる施設であり、公民館をはじめ、図書館、博物館、青少年教育施設等がある。
じ	循環型生涯学習	自ら学んだ成果を地域で活かし、学びを継承していくことで、新たなつながりを広げ、地域課題の解決や地域の活性化を推し進める人材の育成（活動の場の支援）を進めること。
し	生涯学習ボランティア	自らの学習で培った知識や経験を地域活動や教育活動に活かしている人。
じ	情報モラル	ネットワーク上のルールやマナー、危険回避、個人情報・プライバシー、人権侵害、著作権等に対する対応や、コンピュータなどの情報機器の使用による健康とのかかわりなど、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方と態度。

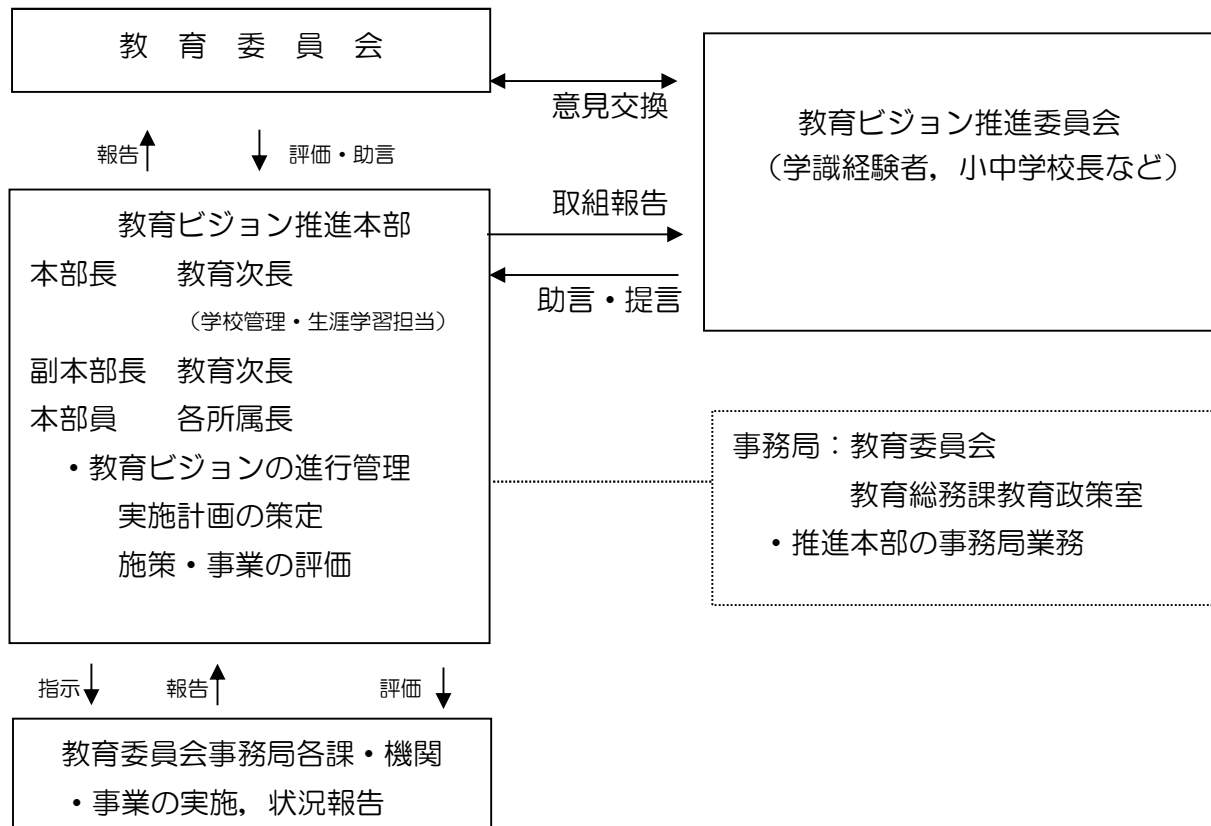
	語 句	解 説
し	食育	心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力や食物や自然、食物の生産などにかかわる人々への感謝の心、食生活のマナーや食事を通じた人間関係形成能力、各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史などを理解し、尊重する心などを総合的に育むという観点から食に関する指導を行うこと。
ち	地域教育コーディネーター	学校と地域活動や社会教育施設の間での調整役となり、地域の人材を発掘したり、学校を核とした地域ぐるみの教育活動を企画・運営したりするなどの役割を担う職員。
ち	地域と学校パートナーシップ事業	学校教育活動のさらなる充実を図るとともに、豊かなコミュニティづくりのため、地域に開かれ、地域と共に歩むことができるように、学校と社会教育施設、地域との様々な活動を結ぶネットワークづくりや協働事業等を推進し、学・社・民の融合による教育を進めることを目的とした事業。
ち	超スマート社会	ICTを最大限に活用し、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実世界）とを融合させた取組により、人々に豊かさをもたらす社会。（第5期科学技術基本計画）
て	デジタルアーカイブ	所蔵資料を電子化して保存・公開するシステム。文書・写真・映像などを対象とし、インターネットを通じて資料目録を検索したり、デジタル画像を閲覧したりできる。
ど	同和問題	日本社会の歴史的発展の過程で形づけられた身分階層構造に基づく差別により、日本国民の一部の人々が長い間、経済的、社会的、文化的に低位の状態を強いられ、今なお結婚を妨げられたり、就職で不公平に扱われたり、日常生活の上でいろいろな差別を受けるなどの我が国固有の重大な人権問題。
と	読書センター 学習センター 情報センター	学校図書館に期待されている役割。 ○読書センター 児童生徒の創造力を培い、学習に対する興味・関心等呼び起こし、豊かな心を育む、自由な読書活動や読書指導の場としての役割を果たす。 ○学習センター 児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりして、教育課程の展開に寄与する役割を果たす。 ○情報センター 児童生徒や教職員の情報ニーズに対応したり、情報の収集・選択・活

	語 句	解 説
		用能力を育成したりする役割を果たす。
と	特別支援教育	障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けて、一人一人の教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うこと。
と	特別支援教育サポートセンター	特別支援教育に関する業務を総合的に行う機関。保護者や学校に対する教育相談、各種専門的な検査の実施、特別支援教育に関する教員研修の企画・運営、特別支援教育に関する情報の収集や発信などを行っている。
ふ	深い学び	習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えをもとに創造したりすることに向かう学び。
ふ	部活動エキスパート 部活動サポーター	新潟市立中学校及び中等教育学校前期課程の部活動において、専門的技術指導のできる顧問や、顧問の指導補助がないために部活動の運営や指導に困難をきたしている学校が、地域の指導者を活用することにより、部活動の充実を図り、併せて地域の教育力を活かすことを目的とする。部活動エキスパートは謝金があり、年間活動回数が上限35回に決められている。一方、部活動サポーターは、謝金がなく、年間活動回数は学校と協議の上、決定している。
ふ	部活動指導員	中学校、高等学校等において、校長の監督を受け、部活動の技術指導や大会への引率等を行うことを職務とする部活動の外部指導者。2017年度に制度化された。
ふ	プログラミング的思考	自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組み合わせをどのように改善していけば意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていくこと。
ま	学びの循環	社会教育や生涯学習活動で一人一人の興味・関心を深め、そこで培った能力や知識・経験を活かしてボランティア活動や社会活動等に取り組み、それらを通してさらに学びを深めるために新たな学習活動に進むなど、学習成果をさらなる活動に活かすこと。

	語 句	解 説
ま	学びのセーフティネット	社会参加・自立に必要な知識・能力を一人一人が身に付けることができるよう、誰もが個性、能力、ライフステージ等に応じて教育にアクセスするための環境を整備すること。

(2) 新潟市教育ビジョン推進体制

R2.4.1 現在



1 教育ビジョン推進本部の所掌事務

- (1) 教育ビジョンの実施計画の策定に関すること。
- (2) 教育ビジョンの施策・事業の評価に関すること。
- (3) その他教育ビジョンの推進に関すること。

2 教育ビジョン推進委員会の所掌事務

- (1) 教育ビジョンの実施計画について意見を述べること。
- (2) 教育ビジョンの進捗状況について報告を受け, 助言を行うこと。
- (3) その他教育ビジョンの進行管理について助言を行うこと。

(3) 新潟市教育ビジョン推進本部設置要綱

(設置)

第1条 新潟市教育ビジョン(以下「教育ビジョン」という)に基づく施策・事業の評価を実施し、教育ビジョンの適切な進行管理を推進するため、教育委員会事務局に新潟市教育ビジョン推進本部(以下「本部」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 本部の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 教育ビジョンの実施計画の策定に関すること。
- (2) 教育ビジョンの施策・事業の評価に関すること。
- (3) その他教育ビジョンの推進に関すること。

(組織)

第3条 本部は、本部長、副本部長、及び本部員をもって構成する。

2 本部長は、教育次長(学校管理・生涯学習担当)をもって充て、副本部長は、他の教育次長をもって充てる。

3 本部員は、別表の職にある者をもって充てる。

(本部長及び副本部長)

第4条 本部長は、本部を総括する。

2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故のあるときは、その職務を代行する。

(会議)

第5条 本部会議は、本部長が必要に応じて招集する。

2 本部長が必要と認めたときは、本部構成員以外の者を本部会議に出席させ、説明を求め、又は意見の聴取をすることができる。

(庶務)

第6条 本部の庶務は、教育総務課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、本部の運営に関し必要な事項は、本部長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成18年5月1日から施行する。

(教育ビジョン策定委員会設置要綱等の廃止)

2 教育ビジョン策定委員会設置要綱及び教育ビジョン策定プロジェクトチーム設置要綱は廃止する。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成19年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

別表(第3条関係)

教育総務課長 学務課長 施設課長 保健 給食課長 地域教育推進課長 学校人事課 長 教育職員課長 総合教育センター所長 学校支援課長 教育相談センター所長 特 別支援教育サポートセンター所長 生涯学 習センター所長 中央公民館長 中央図書 館長
--

(4) 新潟市教育ビジョン推進委員会開催要綱

(目的)

第1条 新潟市教育ビジョン(以下「教育ビジョン」という。)の進行管理を行うため、新潟市教育ビジョン推進委員会(以下「委員会」という。)を開催する。

第2条 委員会は、次の事項を行う。

- (1) 教育ビジョンの実施計画について意見を述べること
- (2) 教育ビジョンの進捗状況について報告を受け、助言を行うこと
- (3) その他教育ビジョンの進行管理について助言を行うこと

(委員構成等)

第3条 委員会は、委員10人以内をもって構成する。

2 委員は、市民、識者及び小中学校の校長のうちから構成する。

3 委員のうち2人以内は公募により選任し、公募委員の選任方法は別に定める。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、通算の在任期間が6年を超えて再任することはできない。

2 任期中に委員が交代するときは、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長等)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は委員会の進行を行う。

3 委員長に事故があるとき又は欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する副委員長がその職務を代行する。

(会議)

第6条 委員会は、新潟市教育ビジョン推進本部設置要綱第3条で規定する本部長(以下「教育ビジョン推進本部長」という。)が招集する。

2 教育ビジョン推進本部長は、必要があると認めるときは、委員会の会議に委員以外の者を出席させ、意見を求めることができる。

(事務局)

第7条 委員会の事務局は、教育総務課内に置く。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育ビジョン推進本部長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成18年5月1日から施行する。

((仮称)新潟市教育ビジョン検討委員会設置要綱の廃止)

2 (仮称)新潟市教育ビジョン検討委員会設置要綱は、廃止する。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年3月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年3月1日から施行する。

新潟市教育ビジョン

第4期実施計画

「これからの社会をたくましく生き抜く力の育成」

～学・社・民の融合による人づくり，地域づくり，学校づくり～

令和2～6年度

編集・発行：新潟市教育委員会 教育総務課 教育政策室

〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1（令和2年5月6日まで）

TEL 025-226-3178 FAX 025-230-0401

〒951-8554 新潟市中央区古町通7番町1010番地（令和2年5月7日より）

TEL 025-226-3178 FAX 025-226-0030

E-mail somu.ed@city.niigata.lg.jp